



社協だより

ボランティア特集号
(福祉のまちづくり)



福祉には
ふれ愛
知り愛
助け愛



福祉のまちづくり
シンボルマーク

ふれあいひろば



九月二十日、井戸小学校グラウンドで第二回ボランティア ふれあいひろばが開催されました。当日は熊野市内外から、約八〇〇人が参加して青空の下、楽しい一日を過ごしました。

入場行進

紀南ひかり園鼓笛隊ブチ・ルミエールの演奏による堂々たる入場行進



★「朝早くから起きて、たくさんのはめり寿司を作るのは大変でしたが、早く売り切れてホットしました。こうして障害者やボランティアの人たちが一同に会しての催しは、気持ちがよくてとてもいいですね……」

★「盲人野球に参加して、久しぶりに運動ができ、日頃の運動不足が解消出来ました。綱引きや縄飛びなら視覚障害者も健常者と一緒楽しめるので、そんな競技もあればもつとよかったですね」

「ふれあい」に参加しよう

ふれあいゲートボール

老人クラブ会員さんのアドバイスでみんならくらくゲート通過？



風船割り

なかなか割れない悪戦苦闘のハラハラドキドキゲーム

第2回 ボランティア



夢いっせいで！
夢いっせいで！

ふれあいベースボール

ナイスバッティング/視覚障害者も
ボランティアも楽しみながらの真剣勝負！



婦人会の踊り

130名の方々が「ガンバレ」「熊野音頭」を披露

紅白玉入れ

紅玉が多いのかな？
白玉が多いのかな？



大玉転がし

玉が転がる、人も転がる？

高齢社会

地域福祉への挑戦

弱体化する家庭の介護力

表1で明らかかなように熊野市は一世帯あたりの世帯員数が大変少なくなっています。

これは、表2で見られるように「一人暮らし世帯」「高齢者夫婦世帯」が他と比べて多いのと同様に、

この数字は高齢者が生活する上でなんらかの助けが必要になったり、寝たきりになったとき、高齢者を介護するべき家庭の介護力が極めて弱いことを物語っています。

公的な責任において介護サービスが

これまでお年寄りの介護は、息子やその嫁の責任とされてきました。しかし、熊野市の現状は

表1 一世帯あたりの世帯員数の比較

熊野市	2.6人
過疎地域	3.24人
全国	3.01人

表2 一人暮らしの高齢者及び高齢者夫婦世帯数

	熊野市	過疎地域	全国
一人暮らしの高齢者世帯 a	1,052	185千世帯	1,623千世帯
高齢者夫婦世帯 b	1,282	159千世帯	1,369千世帯
全世帯 c	9,094	2,356千世帯	41,036千世帯
a / c	11.6%	7.9%	4.0%
a / c	14.1%	6.7%	3.3%

(注)1 過疎地域、全国の数字は国勢調査、熊野市の数字は平成3年社協調査
2 過疎地域は新過疎法によって公示された市町村
(出所)「平成3年度版過疎対策の現況」国土庁

若い人々が都会に流出し、残ったのはお年寄りばかり、といつても過言ではありません。そして、家庭の介護力が低下し、もはや、血縁による介護だけではどうしようもなくなるお年寄りが今後、増加します。

一日も早く、公的な責任において在宅介護の社会的サービスが作り出されねばなりません。

福祉は市町村の責任で

こうした中で、国も在宅福祉の充実をかねて「高齢者保健福祉十か

年戦略」で目指すべき目標を示しています。(表3)さらに、福祉関係の法律改正を行い、その実現のためには市町村が責任を持つべきとしました。

表3 「十カ年戦略の目標数値」

	項目	平成元年度	平成11年度
在宅福祉	ホームヘルパー	31,405人	10万人
	ショートステイ	4,274床	5万床
	デイ・サービス	1,080カ所	1万カ所
	在宅介護支援センター	0カ所	1万カ所
施設整備	特別養護老人ホーム	16万2,109人	24万人
	老人保健施設	2万7,811床	28万床
	ケアハウス	200人	10万人
	過疎高齢者生活福祉センター	0カ所	400カ所

誰でも、いつでも、どこでも、必要なサービスが受けられるシステムを

ますます高齢化が進む中で、お年寄りが長生きしていきよかたという社会を作るため、ホームヘルパーを増やし、デイサービスやシユウトステイを完備するなど、誰でも、いつでも、必要なサービスが受けられるようにすることが望まれます。

寝たきり0を目指して

熊野市にはほぼ百名前後の寝たきりのお年寄りがいる、といわれています。

「寝ている方が介護者は楽」

「手のかけすぎがお年寄りの自立の可能性を奪っている」

こんなケースは少なくありません。こうした寝たきりのお年寄りも、保健婦やリハビリの専門家等による適切な援助と、ホームヘルパー等の介護の支援があれば寝たきりにならなくてすむといわれています。

「寝たきり0」は決して夢ではありません。

新しいネットワークを

お年寄りが永年住みなれた地域で安心して暮らせるためには、保健、医療、福祉のサービスが一体となつて提供されることによつてはじめて可能になります。

そのためには、従来の夕テ割の行政を打ち破つた機構改革をふくむネットワークが必要です。

さらに地域において住民自身による見守り、助け合いの新しいネットワークが作られなければなりません。

第2期 ボランティア・スクール

受講生29名が修了

熊野市社会福祉協議会・ボランティア推進協議会では、昨年に引き続き第2期ボランティア・スクールを開講しました。

今年も昨年同様ボランティア活動に関心を持った方々が毎回熱心に受講され、この11月25日には全日程を終え



寸劇で熱演する保健婦さん



手話を勉強する受講生

た29名の方が修了されました。

〈第2期修了生〉

井本恵子、下地和子、蔵本世記子、尾崎かえ美、川口愛子、間部英美、井本美美子、片岡壽子、更屋順子、楠本奈寿美、竹本英美、浜中雄子、速水久代、横平洋子、久保チカエ、井奥つな子、棚田由美子、辻光世上平ナルエ、奥加代子、湯川和代、桑原チエ子、滝爪亮子、竹平禮子、富田三貴、池本洋子、大西いほ子、宮本充、平石修子（敬称略）

受講生の皆様ご苦勞様でした。今後は、いろいろなボランティア活動の場でご活躍ください。

社会福祉大会を開催

井戸小ら福祉活動発表

第九回熊野市社会福祉大会（熊野市・社会福祉協議会主催）が、11月20日、市民会館で開催されました。

大会では、市長と市社協会長による顕彰が行われ、福祉の発展に功績のあった個人並びに団体が表彰されました。

また、大会宣言（案）を満場一致で採択したあと、福祉活動に取り組んでいる井戸小学校をはじめ、福祉関係の四団体が様々な実践活動を発表しました。



市社協会長表彰をうけるみなさん

福祉の聲が高まる中で、この大会が開催されたことは、大変意義深いものがありました。

表彰を受けられた方は次のみなさんです。

- 【市長表彰】 亀井植好、片山田鶴子、三角田慎二、高本紀子
- 【市長感謝状】 株式会社第三銀行（取締役頭取 北田榮作）、熊野ライオンズクラブ、鬼ヶ城観光開発株式会社（取締役社長 栃尾九兵衛）
- 【市社協会長表彰】 辰本明、上地奈良子、長村千代子、森本すみ子、片岡武造、中村基次、寒作豊、畷内富一、川本英代、市社協遊木支部、市社協五郷支部、オレンジ、コスモス
- 【市社協会長感謝状】 三石生、中田安彦、寺尾延子、川村繁政、天理教南紀大教会（敬称略）



実践発表をする松田さん・今岡さん

福祉施策に反映

ねたきり老人
重度障害者 家庭を訪問

西地茂樹市長が、ホームヘルパーを派遣しているねたきりのお年寄りや重度の障害をもった方々を先月二回にわたり訪問しました。

福祉ニーズへの対応を図るため、福祉サービスを受けている家庭を直接訪問し、その実態を把握すると共に、今後の福祉施策に反映させていこうというものです。

訪問先では、ヘルパーの活動状況や介護をしている家族の悩み、

苦勞など、家族が直面している様々な現状を聞かれました。



市長と談笑する藤本さん

地域でささえあう明るいお正月

歳末たすけあい運動にご協力を

十二月一日から歳末たすけあい運動が始まりました。

歳末の時期にあたり要援護者およびその家族が明るいお正月を迎えられるよう少しでもお役に立てればと、市民の皆様温かいご浄財をお願いするものです。

共同募金会熊野支会では、皆様からお寄せいただいたご浄財を十二月下旬に配分委員会に諮り、その後、市内の要援護者(世帯)に

配分する予定となっております。

ご協力をお願いします



福祉資金貸付制度のご案内 — 修学資金 —

学校教育法に規程されている高等学校、高等専門学校、短大、大学に就学するのに必要な経費(修学費)の資金貸付けです。

- ・短大一月四万円以内
- ・大学一月四万一千円以内
- 〈据置期間〉
- ・卒業後、6カ月以内です。
- 〈償還期限〉
- ・二十年以内の償還です。
- 〈貸付利率〉
- ・無利率です。

〈借入れの相談及び申込み〉
地区担当の民生委員さんあるいは、市社会福祉協議会(電話九局三〇五三番)へおたずねください。
※前記の金額については、私立の一年を掲載しています。
また、必要な経費とは、授業料、教科書代、通学費などです。

車椅子やベッドなど 福祉機器の貸出し

社会福祉協議会では、市内に在住する方で、ねたきりのお年寄りや身体に障害をもっている方及び世帯に対し、福祉機器の貸出しを行っていますのでご利用下さい。

- ☆貸出しをしている福祉機器
 - ☆車椅子(無料)
 - ☆室内用簡易浴槽(一回百円)
 - ☆キヤッチベット(無料)
 - ☆室内用ポータブルトイレ(無料)
- 以上
ご利用される方は、社会福祉センター内(九局三〇五三番)に申し込んで下さい。

お知らせ

第二回ボランティアふれあいひろばのビデオができました。
無料にて貸出しをしますので、ご利用されます方は市社会福祉協議会にご連絡下さい。

社協だより

ボランティア特集号
(福祉のまちづくり)



助け合い

みんなの力で

ボランティア



福祉のまちづくり
シンボルマーク

——具体的には高齢者対策としてどのような施設をお考えでしょうか。熊野市はまだ、デイサービスが実施されてない等の指摘がありますが。——

ハード面、ソフト面共に遅れていることは率直に認めざるをえないと思います。

ハード面については平成7年着工としておった福祉センター（デイ・サービス）それと保健センター、これを平成6年度に着手したい。1年繰り上げる方向で、5年度には調査費をつけようと思っています。

場所についても現在いろいろ検討しておりますが、建物の機能が十分発揮できるような場所でないといけませんのでね。

運営については、社協へ委託す



ることになると思う。

また、デイサービスセンター、保健センターを接近して建てたいと思っております。それらはそれぞれが補完しあうものです。

現在の社協もセンターへ同時にはいつていただいて、今の社会福祉センターをどのように活用していくかという問題もありますが、まあ、いずれにしてももっと駐車場も十分取るなど、建物にふさわしい、例えば、給食、入浴、リハビリとか十分できるような、また保健センターとお互いが使えるようなスペースを広くとりたいと思っています。

——現在、神川のグリーンスクールを利用してデイサービスをという話がありますが、——

デイサービスセンターのプランのひとつとして考えている。センターの機能としては、全域をそのエリアとすることはむづかしい。現実問題として、中央センターだけで全市をカバーするのはむづかしいだろう。

それぞれの地域で運営費も相当のお金もかかるかもしれませんが、そういうことをやらざるをえんのかじゃないか。

プランチとセンターが連携をして、同じようなサービスが等しく受けられるような配慮をしていく必要があるのではないかと。

そういう意味では多少お金はかかるけど、それぞれのところにデイサービスセンターを整備していく必要があるのではないかと。

神川の場合もそういう位置づけのもとに、発足させないといけないと思っています。

福祉のソフト面についても、社協で一生懸命取り組んでいただいているのですが、できるだけ活動を活発にするように、あるいはマンパワーをもっと増やすとか、ボランティアをはじめとした、いろいろな方々に更に協力をお願いする必要がありますかというふうにも考えて



おります。

——最後に社協に対するご意見やご要望をお聞かせください。——

今後、社協というののもっともっと充実してやっていただくことが必要だと思います。

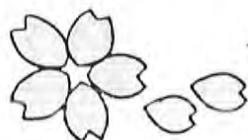
ただ、なんでもそうですが、スタッフが増えるとうとうして一種の官僚機構になりがちなんですけど、是非、そういうことのないようにできるだけ柔軟な考えかたのもとに運営していただきたいと思います。

関係団体がたくさんあるわけですから、そういう団体の意見をうまく調整してですね、最大限の機能を発揮するようにやってもらいたいし、我々も社協の充実ということについては、人員とか予算とかそういう面では配慮していかないとね、かそう思う。

社協に望むことはやっぱり役所のようになら直化しないということ、柔軟なフレキシブルな考えを絶えずもってもらいたい。

もっともって現実社会に機能する社協を目指してやっていただいて、皆さんの考えや知恵を出しあって、福祉熊野を推進する拠点として頑張りたい。

ボランティアの花開く



～ ボラントピア事業を振返って～



木原孝久先生による講演
 〈第1回ボランティアふれあいひろばより〉

平成三年には、市社会福祉センターで、第一回ボランティアひろばが開催されました。記念講演、福祉機器の展示、みかん・さんまの即売会などが行われ、たくさんの方が訪れました。

第二回ボランティアふれあいひろばは、「しあわせいっぱい夢いっぱい」をテーマにして、井戸小学校グラウンドで開催されました。車イス体験競技やチャリティーバザー、ドーナツ・ヨーヨーの無料サービスなどの盛りだくさんの内容でにぎわいました。

ボランティア広場



〈第2回ボランティアふれあいひろば〉



〈視覚障害者の介助を学ぶ〉



〈はじめての車イス体験〉

第一期と第二期のスクールを開催し、六十一名が修了しました。そして、修了生によるボランティアグループ「虹の会」が結成され地域での活動を行っています。

ボランティアスクール

八地区から十五地区に

一人暮らし老人等

食事サービス事業

友愛訪問を行いながら手作り弁当を届ける食事サービスも、以前は八地区でしたが、ボランティア事業により新たに五地区（日進、大泊、新鹿、久生屋、木本）が実施しました。さらにこの二月には、神川、有馬地区も実施し、現在、市内十五地区で食事サービスが行なわれています。



大 泊 地 区



木 本 地 区



新 鹿 地 区



日 進 地 区



ボランティア事業により、地域の中で、ボランティアの輪が大きくひろがりました。



久 生 屋 地 区

ボランティアが人命救助

先日、食事サービスボランティアが一人暮らしの老人宅に弁当を届けに行った際、自宅で倒れている老人を見つけました。幸い処置が早かったため、一命をとりとめました。このように、食事サービスは地域の人々を守る大きな役割も果たしています。

誰もが安心して

住み続けられる町に

在宅福祉の充実を

今は元気だが、もし身体が弱って来れば老人ホームへの入所を考えるとすれば、と思っっているお年寄り。

高齢者が高齢者を介護しなければならぬ、といったお年寄りの世帯が、この熊野にはたくさんあります。

高齢者や障害をもつ人々が、住み馴れた熊野で、安心して暮らし続けられるために、在宅福祉の充実が望まれています。

在宅を支える最も心強い味方、ホームヘルパー

今、熊野市では八名のヘルパーさんが毎日市内の隅から隅までかけめぐり、在宅の高齢者や障害者の生活を支えています。

掃除・洗濯といった家事の援助、寝たきりの人の入浴や洗髪等の介

護をはじめいろいろな相談にもります。

こうしたヘルパーさんの活動は今は昼間だけですが、今後休日や夜間の時間帯でも訪問できるようにすることが望まれています。

そのためにヘルパーさんの数をもっと増やすことが必要です。

ショートステイで介護者も一安心

寝たきりのお年寄りの介護は三六五日続きます。仕事にはお休みはあっても介護には休日はありません。

介護者がどうしても遠方に出かけなければならぬとき、介護者が病気をすることだっており、そんなとき短期間（一週間程度）お年寄りを老人ホームに預けられる制度です。

この地方では、たちはな園・宝寿園があります。

ただしこの制度も現実には介護者の急病等の緊急な対応は出来ません。そうした点での改善が必要となっています。

必要 デイサービスがどうしても

在宅で暮らし、多少手助けの必要な高齢者を、昼間預かって、食事や入浴のサービス、生活動作訓練をおこない、介護者の負担を少しでも軽くしようというのがこのデイサービスです。

ところが熊野市ではまだこのデイサービスが行なわれていません。

今まで家に閉じこもりきりだった高齢者がデイサービスを利用し、いろいろな人と接しリハビリをする中で、元気になった、といった話しがきかれます。

熊野市でも一日も早くデイサービスが実施されることが望まれています。

もつとみんなの手を借りて介護を

高齢者の介護は、とかく連れ合いや嫁の責任とされがちです。

そして、そうした介護にあたる人たちも献身的に頑張ります。

しかし、二十四時間続く介護にくたくたになった介護者に果たして良い介護が望めるでしょうか。精神的にも肉体的にも介護者が良い状態で介護に当たれるよう、他の手助けが必要です。

また、専門家の適切な指導、援助があれば寝たきりにならずにすむケースは少なくありません。

介護を個人の責任に押しつけることなく、公的なサービスをもつと利用し、介護に他人の手を借りること、そんな発想の転換が必要なのではないでしょうか。



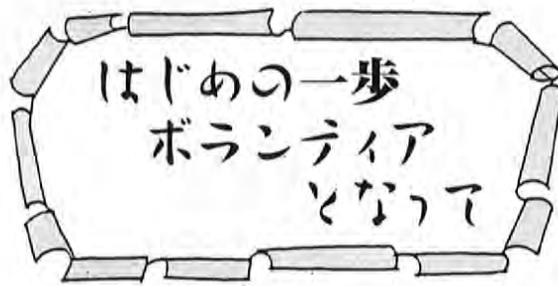
たちはな園での一コマ

ボランティアスクールに参加して

飛鳥町 竹 平 禮 子

最近、親戚の九十六歳のおばあさんが亡くなりました。病氣知らずで、眠るが如くの大往生だったようです。お参りさせてもらったところ、白南天の長寿箸をいただきました。早速、主人と使わせていただくことにしました。食事中「俺は九十六歳までも生きんでもいいけどな」とポツリといいました。「健康で身の回りのことが出来るならいいけどネ」と私。五十七歳と五十一歳の夫婦の会話なのです。

十年前に姑を、七年前に舅を看取り、話題はいつか自分達の老後のこととなります。寝たきりにならないよう、させないようによく言われています。私の場合、舅が痴呆症で徘徊している時期が一番大変だったように思います。寝たきりになった時「あ、もうこれでどこへも歩いていかない」と思った途端、私は熱を出して寝込んでしまいました。ですから、寝たきりの一年間の介護は楽なものでした。主人や子供達もよく協力し



うちに、人には得ることの出来ない何かを感じ取ったのではないかと思います。そして、舅は人間の生きざまのようなものを家族に残し、八十四歳で静かな生涯を終えました。

手さぐりで介護してきた私ですが、今回、スクールに参加して、老人福祉の現状や介護法など、いろいろ勉強させていただきました。ショートステイ、デイサービス、入浴サービスの制度のあることも知りました。

人はみな老人になり、いつ障害者となるかもわかりません。今、健康に恵まれた私は、介護経験と、今回学んだことを生かし、出来る範囲での活動を続けてゆきたいと思えます。



介助の仕方を学ぶスクール生



日進小学校六年 杉谷隼人

アメリカ旅行

ぼくは、昨年の夏、熊野市の六人の小学生といっしょに、アメリカに行きました。一番楽しかったことは、デイズニーワールドに行ったことです。

乗り物で一番迫力があり、おもしろかったのは、ビッグサンダーマウンテンとサンダーマウンテンでした。ビッグサンダーマウンテンというのは、箱に乗って六十キロぐらいの速さで鉄道の上を走るのです。そしてサンダーマウンテンというのは、宇宙空間で六十キロぐらいで走る乗り物です。まっくらで、走る鉄道が見えないので大変スリルがありました。友達も「ああこわかった。」と言っていました。

アメリカのデイズニーワールドは、東京のデイズニーランドの十倍ぐらいの広さがあると言っていました。

また、機会があったら、アメリカのいろいろな町で勉強したいと思いました。

ご利用ください 福祉ビデオテープ

ねたきり老人をかかえているご家庭やボランティア活動等に関心のある方に各種ビデオテープの貸出しを行っています。

（ビデオ名）

- 『家族に痴呆がおこった時』
- 『在宅介護をはじめのために』
- 『みんないきいき在宅介護』
- 『介護の手引（車イス編）』
- 『食事サービスとボランティア活動』
- 『やさしいまちが好き！』
- 『みんなのしあわせ』など

共同募金の結果

○一般募金 3,506,284円

戸別募金	2,747,797円
街頭募金	358,361円
大口募金	235,400円
その他	164,726円

※全額を県共同募金会へ送金した後、福祉施設の設備充実資金や、市社協へ福祉事業の資金として配分されます。

○歳末たすけあい募金 2,749,371円

生活困窮世帯へ	1,096,000円
在宅要援護者へ	479,000円
施設入居者へ	531,000円
その他	643,371円

※昨年の暮れに対象者・世帯などへ配分しました。

ご協力
ありがとう
ございました



貸出しするビデオテープ

ご利用される方は、社会福祉協議会（福祉センター内電話9局3053番）へお問い合わせください。料金は、無料です。

ヘルパー活動や 研修会などに活用

市へ多額の寄付を行い、市社協が購入したものです。



購入した軽自動車と単車

創業八十周年の（株）第三銀行から活動車（軽自動車二台）とテレビ・ビデオ、そして創業三十周年の鬼ヶ城観光開発（株）から活動車（バイク一台）とテレビの寄贈がありました。これは両社が記念事業として、社会福祉の向上のためにと

「ヘルパーの活動に」
活動車については、在宅福祉の一線で活躍するホームヘルパーの足となつて在宅の老人や障害者の訪問活動に活躍します。
これまでの活動車に加え、さらに充実したものになりました。
——研修会や会議に——
また、福祉センターの一階老人誤楽室にテレビ、二階会議室にテレビとビデオを据えつけて、各種福祉団体などの研修会や会議に活用してもらい、福祉の啓蒙に役立てていきます。

編集後記

「明日に向って」

今 何ができる」

ふくしのまちづくりをめざしてスタート、いろんな計画をたて実践につとめてまいりました。福祉は特別な限られた人の為にあるのではなく、お互いのものであることがわかってきました。誰もが歩く道をよりよくすることに共に気くばりして、よいまちづくりを続けたいと思います。一層の御協力をください。



福祉のまちづくり

スタートする ふれあいのまちづくり



ちづくり事業

ふれあいのまちづくり事業は、お年寄りや障害者がこのまちで暮し続けるために、保健・医療・福祉の関係機関が連携していろいろなサービスを提供し、それぞれの地域でさまざまな人が交流しながら支えあっていけるよう目指します。



ふれあい福祉 センターの設置

- ☆相談援助
- ☆各種情報の整理・収集
- ☆広報活動の実施
- ☆相談員の配置

福祉サービス事業

- ☆ボランティア活動の基盤づくり
- ☆在宅老人・障害者等に対する福祉サービス
- ☆社会活動参加事業



小地域福祉ネット ワークづくり事業

- ☆小地域で要援護者を日常的に支えるネットワークづくり。

福祉施設地域福祉 活動啓発事業

- ☆施設の各種サービスを提供
- ☆施設の情報の提供
- ☆地域活動への参加及び協力



ふれあいのま

たすけあいのネットワーク

訪問指導

入浴サービス



訪問看護



在宅要援護者



日常生活用具貸付

家事援助・介助



友愛訪問



デイサービス

熊野市の在宅福祉水準は？

熊野市の在宅福祉の水準はどの程度になっているのか？

まず在宅福祉の三本柱といわれているホームヘルパー・ショートステイ・デイサービスについて、三重県下の市町村と比較して見えます。

表1から3は「老人福祉マップ」(平成3年度末現在)にみたそれぞれの利用率です。利用率はいずれも、延べ利用者数÷65歳以上人口になっています。

表1 ヘルパー利用率

1位	紀勢町	407.8%
2位	大内山村	401.5%
3位	磯部町	304.2%
	：	
	：	
36位	久居市	56.1
37位	熊野市	53.3
	：	
	：	
	熊野市平均	49.5

ホームヘルパーは

ホームヘルパーは町村部の方が利用率は高く、熊野市は37位、市では久居について2位となっています。

ホームヘルパーの整備率はまたヘルパー一人当りに65歳以上のお年寄りが何人になるかで示されます。表4でみると大内山村がお寄り一九八人にたいしヘルパー一人と最も高くなっており、熊野市は七〇〇人、県平均の八六九人より少し上位にあります。

表4 ヘルパー一人当りの65歳以上老人数

1位	大内山村	198人
2位	紀勢町	214
	：	
	：	
20位	久居市	620
	：	
	：	
28位	熊野市	700
	：	
	：	
	熊野市平均	869

(65歳以上人口/ヘルパー数)

このホームヘルパー一人対65歳以上人口について全国の自治体について調査したものが表5です(痴呆性老人に関する全国自治体の保

健・福祉サービス実態調査」財団法人ほけ予防協会)。

これによれば、熊野市と同程度の人口規模の一〜五万人規模の人口の自治体では、ホームヘルパー一人対六十五歳以上人口が五百〜一千人というクラスが約五十%と最も多くなっている。

表5 人口規模ホームヘルパーの数

人口規模	人口規模						
	全体	1万人未満	1〜5万人	5〜10万人	10〜50万人	50万人以上	
合計	1688 100.0	677 40.1	650 38.5	173 10.2	167 9.9	21 1.2	
ホームヘルパー一人対65歳以上人口	200人未満	132 7.8	90 13.3	16 2.5	4 2.3	16 9.6	6 28.6
	200〜250人	67 4.0	45 6.6	9 1.4	6 3.5	5 3.0	2 9.5
	250〜500人	566 33.5	316 46.7	176 27.1	37 21.4	32 19.2	5 23.8
	500〜1000人	652 38.6	183 27.0	326 50.1	73 42.2	66 39.5	4 19.0
	1000人以上	262 15.5	36 5.3	122 18.8	52 30.0	48 28.7	4 19.0
	無回答	9 0.5	7 1.0	1 0.1	1 0.6	-	-

上段は自治体数、下段は各人口規模自治体に対する%

国の目標ではヘルパー一人に二二〇人のお年寄りに

しかし、国がゴールドプランで二二〇一年をめざして目標としているヘルパー一人当りの老人人口の数字は、ヘルパー一人に対し二一〇人となっています。この目標からいうとまだまだなのです。

ショートステイの整備率

表2 ショートステイ利用率

1位	二見町	66.7%
2位	小俣町	50.1
	：	
	：	
13位	津市	16.4
	：	
	：	
15位	名張市	14.1
16位	熊野市	13.2
	：	
	熊野市平均	9.3

ショートステイの利用率は二見町の六六・七%がトップ、熊野市は津市・名張市について十六位に位置しています。県平均の九・三%より少し低いところでしょうか。

デイサービスの整備率

表3 デイサービス利用率

1位	長島町	956.5%
2位	紀宝町	273.4
3位	木曾崎町	270.5
	：	
	：	
7位	四日市市	106.0
	：	
	：	
	熊野市	0.0
	熊野市平均	41.4

県下のデイサービスの利用率は表のようになっています。熊野市の場合は、デイサービス事業は行われていませんが、現在実施の方向で計画が進められています。

いま、地域の中で

— 金山支部 —

ミカンのまち金山町は、区を中心
に社協支部、婦人
会、老人クラブ、
生活改善グループ、
歌謡クラブなどで
構成される、「金
山健康を守る会」
を母体として、地
域ぐるみによるさ
まざまな取り組み
がされています。

こうした中で、社協金山支部は、
健康を守る会の参加と協力を得て、
啓発活動や福祉活動を活発に行っ
ています。

主なものとしては、食事サービ
スやお年寄りとのふれあい会食会、
施設慰問などは定期的の実施して

いるほか、ユニークなものとして
は、金山に昔から伝わる遊びや芸
能などを子供に継ぐための伝承活
動も実施しています。

さらに、十二月には、町民が持
ちよった農作物などで歳末バザー
を催し、その収益金を支部活動の
資金として運用しています。

島田弘男支部長は、「こうした
事業がスムーズに行なえるのも、
健康を守る会の存在が大きい」と
言っています。

また、「こうした事業により、
社協支部活動に住民の方々の理解
が高まってきていますが、何事も
家族の支援が得られることが大事。
今以上に福祉活動を充実させてい
きたい。」と語ってくれました。

ヘルパー実践記

No. 1

「私でもできるかな……」

そんな軽い思いでヘルパーとして
勤めるようになって六年になると
いう小久保栄子さん。

ヘルパーさんの中ではもうベテ
ランである。

「自分が経験していないことを
いろいろ勉強させていたが、いま
す」と謙虚に話してくれるが実際
はなかなか悩みが付きにくいよう。

「介護される老親と介護する人
との人間関係がいつもうまくいく
とはかぎりません。介護をするな
かで、もつとこんなところにも気
を使ってもらえたらと思うのです
が。もちろんそれまでのいろんな
いきさつや経過があつてそうなる

のでしょうけど、介護する方とさ
れる方の人間関係がうまくいって
いないと、ヘルパーとしてはそれ
以上押しつけることはできないし
……」

お年寄りにとって在宅で暮らし
続けることの大切な意味は、従来
の人間関係を維持しつつ、そうし
た人間や地域とのふれあいの中で
暮らすことができるということに
あるといわれている。しかし、い
ったん人間関係がうまくいかなく
なった場合は、それを引きずった
まま介護をしなければならぬとい
う、施設での介護と違う在宅で
の介護の難しさを、小久保ヘルパ
ーさんの話しか感じた。

「いろいろ訪問させていただく
中でもつとシヨウトステイがたく
さんあれば介護に当たっている人
が少しは楽になることができ、も
つと優しい介護ができるのに」と
語ってくれた。

しかし現実には利用したくても
まわりの目を気にして言い出せな
い人や、自分が元気なうちは、と
頑張り過ぎてしまい、結果として
介護する方もされる方も辛い思い
をしている人も少なくないよう
である。



ボランティアスクールご案内

ボランティア活動に関心のあるかたの参加をお待ちしています。

- 【定員】 30名
- 【申し込みメ切】 7月20日（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 【申し込み先】 井戸町 熊野市社会福祉センター
☎9-3053
- 【申し込み方法】 葉書、電話で上記まで申し込んでください

回	日時	会場	テーマ
第1回	7月27日 PM1:30~	市社会福祉センター	ボランティアって？
第2回	8月6日 PM1:30~	市社会福祉センター	在宅介護を学ぼう！
第3回	8月9日 PM1:30~	市社会福祉センター	在宅介護を学ぼう！
第4回	9月6日 PM1:30~	市社会福祉センター	手話を学ぼう！
第5回	10月21日 PM1:30~	市社会福祉センター	福祉マップをつくろう！
第6回	11月16日 AM10:00~	紀南ひかり園 グリーンプラザ たちばな園	福祉施設の理解を深めよう！
第7回	12月10日 PM1:30~	市社会福祉センター	私たちにできるボランティア活動を考えよう！

高額療養費資金貸付制度のご利用を

高額な医療費のため支払いが困難な方に貸付け（立替え）をする制度です。

対象 国民健康保険に加入している熊野市在住の方

貸付限度額 一カ月 三〇万円以内

償還方法 国民健康保険から高額療養費が支給されたときに貸付

費を償還していただきます。

なお、手続きなどの詳しいことは、市役所保健衛生課（国民健康保険係）か社会福祉協議会（9局3053番）にお問い合わせください。

福祉に関する写真を募集

熊野市社会福祉協議会では、熊野市内で撮影した福祉に関する写真を募集します。

○応募資格 熊野市、南牟婁郡に住する者

○サイズ カラー、白黒四つ切り判とし、一人3点までとする。

○締切日 平成5年10月20日まで

○入選 5点程度

（入選者には、賞状と賞品を贈呈）
※入選作品は、社協だよりに随時、使用します。

○発表 社協だよりに掲載
○応募先 熊野市井戸町七五〇―熊野市社会福祉協議会

○注意事項 応募作品には、裏面に応募票をセロハンテープにて貼付し、題名、住所、氏名、職業、撮影地を記入してください。

○その他 応募者全員に記念品を差し上げます。

応募作品は、返却しません。

新職員紹介



ホームヘルパー 井谷真子
訪問先の皆さんが笑顔で迎えてくれるのがとても仕事の励みになります。訪問先や熊野市中に笑顔を絶やささないようにするのが私の仕事だと思って毎日ハッスルしています。



ホームヘルパー 九鬼真弓
祭が好きで、花火が好きで、自然が大好きな気のある私ですが、今後も訪問先の方々からいろいろな事を教わりながら頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願ひします！

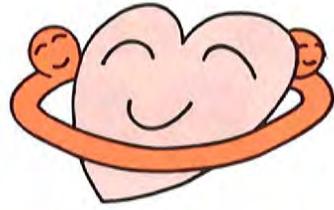
お知らせ

平成5年3月14日（日）開催の第十一回「友愛のつどい」の写真ができました。ご希望の方は社会福祉センターまでご連絡下さい。
1枚30円でプリント致します。

編集後記

社協だよりは「ボランティア特集号」から「スタートふれあいの福祉のまちづくり」と改め取り組むことになりました。共生共育の心ゆたかなふれあいの街を目指し頑張る編集に取り組んで更にいい内容の社協だよりにしたいと思ひます。皆さんからの寄稿をお待ちしています。共に編集に加わったお気持ちでお寄せ下さい。

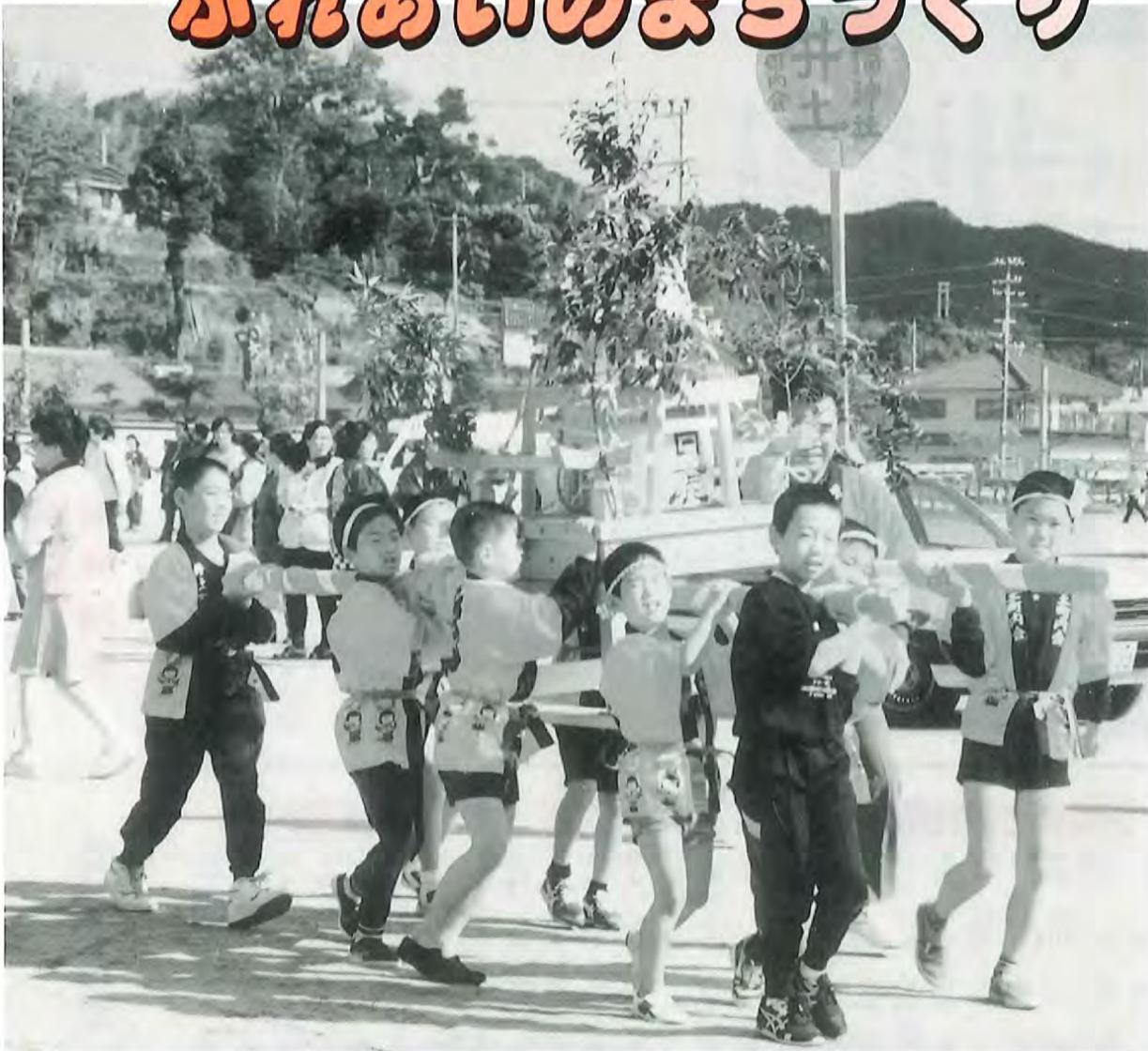
編集室より



ふれあいネットワーク

出会いたいせつ

ふれあいのまちづくり



今、あたたかさが息づいている

ふれあいのまちづくり

—— 本年度の主な事業 ——



啓発部会

- ◆ 社協だよりの発行 (年4回)
- ◆ 福祉協力校への啓発
 - ・ 神上中学校
 - ・ 育生中学校
 - ・ 新鹿中学校
- ◆ 福祉講演会の開催
- ◆ 啓発用パンフレットの作成
- ◆ ボランティアアひろばの開催など



事業推進部会

- ◆ 各種相談事業の推進
- ◆ ボランティアスクールの開催
- ◆ ボランティアリーダー研修会の開催
- ◆ 介護者の集いの開催
- ◆ 福祉施設と事業の連携
- ◆ 給食サービス実施地区の拡大 (育生、甫母、波田須)



ネットワーク推進部会

- ◆ 社協支部の育成・強化
- ◆ 地区福祉懇談会の開催
- ◆ 民生委員児童委員との交流会の開催
- ◆ 福祉コミュニティ事業の推進
- ◆ 小地域福祉ネットワークづくりなど

ネットワーク推進部会

川口 実 倉屋 功
 畑中 侑 森本 房子
 井本 昭作 中村 益郎
 西 昭司 島田 弘男
 田中 幹造 平井 武
 大岡 甲吉 根引 正俊
 富田 啓暢 鳴崎喜代治
 田辺 純 中森 邦夫

事業推進部会

片岡 悦子 杉本 祐廣
 土口 妙 瀬戸美知子
 小瀬川忠興 九鬼 禮作
 牧戸 博 久保 力
 横平 常雄 和田 深志
 大西 健二 原田 英子
 松田 美賀 矢賀 敬三
 中島 清 宇衛 秋子

啓発部会

榎本奈良一郎 坪井 平二
 大西 一弘 大川 妙子
 前川 光正 沢村かめの
 中村 照子 松本 卓治
 森本 泰 津田 鈴子
 谷川 充人 長村千代子
 久保 寛二 田岡 豊子

委員の紹介

この秋、新しい出会いを

第3回ボランティアひろば



とき 10月3日(日) 10時～14時(雨天中止のときは、10月9日(土) 10時～14時)

ところ 井戸小学校グラウンド(晴天時) (雨天のとき、井戸小学校体育館)

内容 チャリティーバザー、福祉機器の展示即売、ドーナツ、わた菓子・ヨーヨー釣りコーナー(無料)、椅子体験競技、風船割りなど、誰でも楽しみながら勉強できる催しものが用意されています。

市民のみならず、チャリティーバザーの出品にご協力下さい。9月24日まで社会福祉センターで受け付けています。



お役に立ちます困ったときに

相談事業を開始

熊野市社会福祉協議会では、10月からいろいろな相談事業を始めます。悩みごとをもって困っている方、自分一人で思い悩んでいないで専門相談員に相談してみませんか。



福祉なんでも相談
●月～金曜日(9時～16時)
福祉なんでも電話相談
●月～金曜日(9時～16時)

TEL 05978-913053

心配ごと相談
●毎週火曜日(10時～12時)

●法律相談 毎月1回、第2火曜日(1月のみ第3火曜日(13時～16時)専門相談員 堂前美佐子 弁護士)

●国民年金なんでも相談 毎月2回、第2、4水曜日(10時～12時)相談員 熊野市国民年金課職員

※いずれの相談も社会福祉センターで行います。

ネットワークってなに 新しい助け合いの輪をめざす

福祉講演会

とき 平成5年9月18日(土) 午後1時00分より
ところ 熊野市社会福祉センター2階会議室
講師 兵庫県小野市社会福祉協議会 課長 小倉 一幸氏
テーマ 「みんなで築こう助け合いの輪」

～兵庫県小野市社会福祉協議会の実践例～
内容 困っている人の悩みごとを見つけ出すための連絡網の作り方。日常的な悩みごとは、地区の住民の助け合いですぐ解決していく。その方法について関西弁でユーモラスに説明してくれます。国の在宅福祉施策のモデルとなった実践例を実際に本人から聴いてみませんか。

敬老月間をむかえ

お年寄りの生きがいをめくって考える

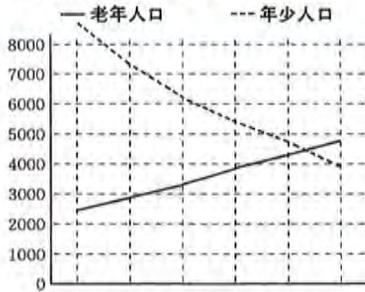
地域にお年寄りの

ための施設が

地域に暮らす人々の構成は近年大きく変わってきています。

左の表は0～14才までの年少人口と、65歳以上の老年人口の推移を五年ごとに見たものです。かつては老年人口の4倍近い数であった年少人口が今では逆転して少数となっています。

年少人口・老年人口の推移



	昭40	昭45	昭50	昭55	昭60	平2
老年人口	2436	2871	3282	3851	4282	4806
年少人口	8774	7321	6214	5455	4758	3937

保育所・児童数・職員数の推移

	昭40	昭45	昭50	昭55	昭60	平2
保育所数	9	12	13	15	15	15
保育所定員	560	810	940	860	875	845
保育所児童数	604	682	760	854	637	604
保育所職員数	36	49	66	89	87	89

かつて、街を走り抜けていた子供たちの姿がめっきり減り、それに替わって街角で立ち話をするお年寄りが目立つようになったのもこの数字を見れば納得出来ます。市内には左のように十五か所の保育所があり、これは明日を担う子供たちを育てていく上で重要な役割を果たしています。ところが地域にはお年寄りのた

めの施設として一体にながめるのでしょう。

地域に暮らす住民の構成が変わり、高齢社会といわれる中で、子供たちに保育所があるように、お年寄りが気軽に利用出来る、生き生きとした老後を支える施設が地域にあってもいいのではないのでしょうか。

減少する老人クラブ

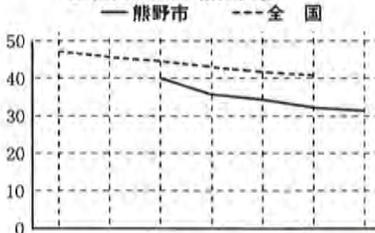
加入率

下の表は全国、熊野市の老人クラブの加入率の推移を表したものです。

昭和60年と平成2年とを比較すると熊野市で5・5ポイント、全国平均で6・7ポイント低下しています。

この数字から見るとお年寄

60歳以上人口の老人クラブ加入率の推移 全国および熊野市



	60年	61年	62年	63年	元年	2年	3年
熊野市	37.5	37.5	40.0	35.9	34.1	32.0	31.6
全国	47.1	45.7	44.4	42.8	41.7	40.4	40.4

出所「厚生省の指標 国民福祉の動向」1991年
厚生省老人保健福祉部及び熊野市福祉事務所調べ

りは増えているが、必ずしもそうしたお年寄りにとって老人クラブは魅力のあるものとはなっていないのではと考えられます。高齢社会のお年寄りは、単にサービスの対象者としてではなく、あるいは敬老の対象としていたわられるだけといったものではなく、お年寄り自身が社会とかかわり、そこでなくてはならない地域社会の一構成員として存在すること、逆にいえばお年寄りの知恵とその特性が生かされるような社会でなければなりません。そうした意味で老人クラブの役割はいよいよ重要となっています。老人クラブがそうしたお年寄りの願いに答えるものとして再生されることが望まれています。

今、地域の中で

社協両友支部

飛鳥町大又地区と小又地区が合
わさって組織された社協両友支部
を紹介します。

両友支部は、横平常雄支部長を
中心として、区、婦人会、ボラン
ティア、老人クラブ、民生委員な
どの全面的な協力のもと、地域ぐ
るみによる様々な福祉活動を行い、
実践の成果を上げています。

主な活動としては、食事サービ
ス事業を金山地区に次いで取組み、
そして、高齢者の誕生日には、祝
金と花束をもって訪問するなど、
これらの活動には、子供たちも参
加しているのが特徴です。

また、福祉講演会や会員研修会
を毎年実施して、福祉啓発に努め
るとともに、会員相互の親睦をも

深めています。
その他には、結成当時から環境
美化運動や青少年の健全育成など
にも力を注ぎ、地域ぐるみによる
活動につながっています。

横平支部長は、「福祉活動への
理解を拡げていくためには、何ご
ともリーダーとして、率先して誠
心誠意、尽くすことが大事。おか
げで、地域の方々のご協力をいた
だき、スムーズに支部の運営がで
てくれました。」と、話し

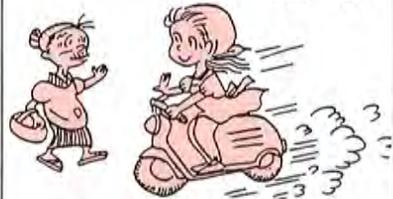


社会福祉協議会 支部長紹介

各地域で福祉活動のリーダー
として活躍していただいでい
ます。

- | | |
|-------|--------|
| (支部名) | (お名前) |
| 須野甫 | 吉博子 |
| 木島 | 甲 妙 |
| 二遊 | 岡戸川口 敬 |
| 新波 | 大牧大川 賀 |
| 磯 | 大牧大川 賀 |
| 大木 | 大牧大川 賀 |
| 井有 | 大牧大川 賀 |
| 久育 | 大牧大川 賀 |
| 神五 | 大牧大川 賀 |
| 日小 | 大牧大川 賀 |
| 両 | 大牧大川 賀 |

ヘルパーさん 走る



湊ヘルパーさんの場合

ヘルパーとしてどんなご苦労が
ありますか、という質問に対し湊
ヘルパーさんはしばらく考えた上
で、こんなもんかなあ、と思うと
あんまり苦労と感じたことはない
ですね、と答えてくれた。
それでも訪問先が変わると3か
月くらいはドット疲れるという。
調理する時もなるべくその人のな
じんできた味に合わせるよう何度
も味みしてもらい、おかずの切
り方一つでも自分のやり方ではな
く、聞きながらお年寄りのなれ親
しんできたやり方を尊重しながら
調理するという。ホームヘルパー
の仕事は、主婦なら誰でも出来る
家事の手伝いだという人もいるが、
湊ヘルパーさんの話から、そんな
簡単なものではないプロとしての
ホームヘルパーの心意気を感じ

させられた。

子供もいなく、生涯独りぼっち
というお年寄りに訪問した時、湊
さんがヘルパーとして訪問したの
が初めてだったであろう、大変喜
ばれたし、老婆は毎回の訪問を待
ちこがれていたという。湊さんは
そんなとき「このばあちゃんは今
これまで孤独な生活で他人から大事
にされたことがなかったんだらう
なあ」とつくづく感じたという。

そのおばあちゃんが亡くなった時
湊さんの夢の中に現われたそうで
ある。その辺はヘルパー冥利につ
きるといふべきものなのであらう
か。

そんな湊さんがヘルパーとして
なんとかして欲しいと願っている
ことがある。

お年寄りを病院に連れていって
あげたい時、買物にも一緒にいつ
て好きなものを自分で選べるよう
にしてあげたいと思う時、山間部
のお年寄りの場合、その足(車)
を確保することが大変困難なので
ある。そんなところではタクシー
があるわけではなく、公共交通機関
も：：なんとかならないものか。
是非なんとかしてあげられないも
のだろうか。

ふれあいの中で学ぶ



一日福祉体験教室

8月24日、紀南ひかり園で、小学生を対象とした紀州地区一日福祉体験教室が開催されました。熊野市からは、福祉協力校の育生、神上、新鹿中学校の生徒が参加して、炎天下の中、ひかり園生といっしょになって、ゲームなど

して交流を深めたあと、車イスの扱い方や目かくしをしての歩行を体験して、福祉への正しい理解とボランティア活動の意義を学びました。参加した児童・生徒らは、園生にあわせた動きに心くばりをしながらも、この貴重な体験学習を、きつと地域の中で、実となるよう育ててくれることでしょう。

障害者住宅整備資金貸付制度のご利用を

障害者又は障害者と同居している人が、障害者用の部屋などを増改築しようとする場合に資金の貸付けが受けられる制度です。貸付けの条件は次のとおりです。

- 【償還期間】十年以内
- 【償還方法】元利均等の半年賦償還
- 【受付期間】十月一日から十五日
- 【対象となる障害者】身障手帳の1～4級療育手帳のAに該当
- 【申請の受け付け及び問合せ先】熊野市社会福祉協議会
- (電話 九局三〇五三番)

福祉に関する写真を募集

〔応募資格〕熊野市、南牟婁郡に住所を有する者。
 〔サイズ〕カラー、白黒四つ切り判とし、一人3点までとする。
 〔内容〕熊野市内で撮影した、福祉に関する写真
 〔締切日〕平成五年十月二十日
 〔入選〕5点程度(入選者には賞状と賞品を贈呈)
 〔発表〕社協だよりに掲載
 〔応募先〕熊野市井戸町七五〇熊野市社会福祉協議会
 〔注意事項〕応募作品には、裏面に応募票を貼付し、題名、住所、氏名、職業、撮影地を記入のこと。

新職員紹介



事務職員
山村亮子

毎日／が勉強。いろいろな人の出会を大切に、一日も早く仕事をマスターすべく頑張っています。



ふれあいネットワーク

今、新しい出会いのはじまり



ボランティアから
ふれあいのまちづくりへ

ティアふれあい広場



天候なんてなんのその。
子供もお年寄りも体の不自由な人も
ボランティアもひとつになって大奮闘。



第3回 ポラン

10月3日

今年も井戸小学校グラウンドで開催された「第3回ボランティアふれあいひろば」は、途中から雨に見舞われるという結果となりましたが、会場にはたくさんの市民が詰めかけ、お年寄りや障害者、ボランティアなどとひとときのふれあいを楽しみました。



第3回ボランティアふれあいひろばに参加して大規模な催しに驚きました。消防車、地震体験車など色々な展示がありました。

体験車に乗っている人を見ると大きくゆれるので、あんなに大きな地震だったら怖いだろうなあと思いました。

私も風船割り競技や風船送り競技に参加しました。

風船送りでは皆さんが楽しく競い合いました。

私たちが身障者がボランティアの皆さん方と手を取り合って楽しく過せるように計画してくださった社会福祉協議会の皆さん方に心から感謝しています。

途中から雨が降って来たので全部終了できなかったのが残念でした。来年も必ず参加しようと楽しみにしています。

五郷町 倉本 繁雄

〈反省会での主な意見〉

- ☆開催時期について
 - 9月、10月は行事が多いため検討する必要がある。
 - 雨天決行型で室内でもできる体制をとるほうがよい。
 - ☆各コーナーのPRについて
 - もっと看板を増やし、PRしたほうがよい。
 - 地震体験車の展示・試乗をもっと活用すべきであった。
 - ☆進行について
 - 天候不順で、プログラムを大幅に変更し、迷惑をかけた。
 - ☆チャリティーバザーについて
 - 品物の値段をもう少し考えてはどうか。

障害者はいま

親なきあと……

「親の私が元気なうちはいい、私が先に逝った時のことを考えると……」という障害児をもった親のつぶやき。

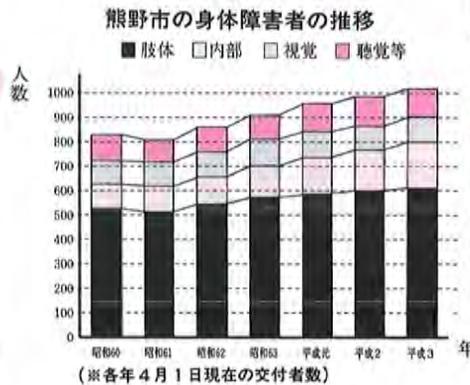
「福祉というと今は老人のことばかり、一生結婚も出来ず、人並みの楽しみを味わうこともない障害者のことをもっとなんとか考えて欲しい」と怒りにもた声も聞かれる。

確かに「ひかり園」ができ、又養護学校で学ぶことが出来るようになった、というこの間の大きな成果は確認しつつも、多くの障害者にとって「人並みの生活」はまだまだ程遠いといわなければならぬ。

増えている障害者

下のグラフは熊野市の身体障害者手帳の交付者数である。昭和六十年にくらべて平成三年には百九

十二人(23%)も増加している。また、精神薄弱者(児)は昭和五十八年の34人から平成二年には80人に、二・三倍に増加している。身体や、知的障害をもつ人は確実に増えているのである。



障害者にも進む高齢化

下の表は、平成三年社協が実施した調査による年齢別障害者数である。回答のあった六百六十九人のうち

約55%が65歳以上の高齢者なのである。

年齢別障害者数

7歳未満	0人
7歳以上～18歳未満	8人
18歳以上～50歳未満	92人
50歳以上～65歳未満	204人
65歳以上	365人
合計	669人

障害者にとって問題となるもうひとつの高齢化は、介護者の高齢化である。同調査によれば、主な介護者の第1位が「配偶者」(二百十九人)、第2位が親(三十九人)である。ここで浮かんでくるのが、

高齢化する障害者の介護にあたる配偶者もまた寄る年並にはさからえないのであり、障害をもつ子供を介護する親の高齢化である。

障害者の在宅生活を支える支援センターを

こうした障害者をめぐる状況の中、障害をもつ人でも安心して在宅で暮らしていける人々が、しかも、健常者と同じように、つまり「人並み」に暮らし続けられるために、もっぱら障害者の在宅福祉に関する総合的な相談・支援機能をもつセンターが望まれている。

ふれあいのまちづくり 福祉講演会を開催

9月18日、「みんなで築こう助け合いの輪」をテーマに兵庫県小野市社会福祉協議会小倉一幸課長による「福祉講演会」が開催されました。



会場に集まった福祉に興味のある方々は、国(厚生省)の在宅福祉施策(ふれあいのまちづくり事業)のモデルとなった小野市社協の実践例を聞きながら、

どのようにすれば住みよい福祉のまちづくりがおこなえるのか熱心に考えていました。

今、地域の中で

社協二木島支部

昭和63年から区、民生委員などのバックアップで食事サービス事業を始めた社協二木島支部（牧戸博支部長）では、お年寄りとのふれあいを大切にした、明るい福祉のまちづくりを目指し、活動に取り組んでいます。

中でも、毎月の手作り弁当の宅配や年一回、80歳以上の一人暮らしのお年寄りを囲んでの「ふれあい会食会」、新鹿温泉を利用したの敬老会など、工夫を凝らした事業を行っています。

また、支部活動の啓発や環境美化活動にも率先して取り組み、特に漁業の町として海を汚さないために看板やドラム缶を各所に設置して、住民に協力を呼びかけてい

ます。

牧戸支部長は、「現在、住民からの会費は徴収しておらず、今後は、福祉活動への参加意識を高めるためにも住民会費制にし、支部活動を充実させていきたい。

しかし今は、無医者地区のためお年寄りや病弱な方はたいへん困っていることと思う。一刻も早くお医者さんに来てもらいたい。」と、語ってくれました。



老人保健施設 オレンジロードむつみ苑がオープン!

紀州地区では初めての老人保健施設「オレンジロードむつみ苑」が、久生屋町に完成し、11月1日より本格的に運営を開始しました。

老人保健施設は、要介護老人を対象に医療と介護サービスを提供し、老人の家庭復帰と自立をめざすことを目的とした施設です。

入所ご希望の方は直接、むつみ苑（電話9局1904番）にお問い合わせください。

ヘルパーさん走る



山本ヘルパーさんの場合

一生懸命やると、必ず心は通じると思います、と山本ヘルパーさんは語った。

奥さんにも先立たれ、仕事先が倒産し職を失い、子供もいない一人暮らしのAさん。暮らしも思うにまかせない。その上、最近病気で医者から手術を進められている。人生の最終盤を迎え、まったく幸せの女神から見放されてしまったかのごとくのAさん。食べるものも食はず、死んだほうがまし：：と酒を飲んで荒れた生活を

している。そんなAさんではあるが、山本ヘルパーさんが訪問して、「みんな心配しているよ。Aさんも頑張らないと：：」とはげますとうれしそうなる顔をしてくれる。なにも食べてないと言われているが、ヘル

パーさんが訪問して食事を作るとおいしそうに食べてくれるという。きつと今のAさんにとって、ヘルパーさんの訪問は生きていく支えなのであろう。

ヘルパーとして大変なことは、という質問にたいし、しばらく間をおいて山本ヘルパーさんは、「やっぱり家族との関係が大変です」と答えてくれた。

子供たち夫婦が近所に居てもなかなか面倒をみてくれない、もう少し気にかけて。覗いてやって欲しいと思うケースもあるという。

また、なるべくお年寄りの立場にたって考えようとするヘルパーと、日々の介護で消耗している家族がお年寄りの介護をめぐって意見を異にすることは決して珍しいことではない。

しかし、ヘルパーとしてそれ以上家族の中に関係に立ち入ることはできない。

そんなもどかしさが、派遣先でのヘルパーさんたちの困難な問題のひとつなのかもしれない。





— お役に立ちます困ったときに —

日常生活の中で、悩みごとで困っている方や寝たきりのお年寄りをかかえ、家の改築・改修の費用、介護などについて困っている方、気軽にご相談下さい。どの事業も社会福祉協議会(社会福祉センター内 9局3053番)で行っています。

〔相談事業〕 (秘密厳守)

法律相談(無料)	毎月1回 第2火曜日 午後1時から午後4時まで (但し、1月のみ第3火曜日)	堂前美佐子弁護士
国民年金 なんでも相談	毎月2回 第2・第4水曜日 午従1時から午後4時まで	市役所国民年金係
心配ごと相談	毎週火曜日 午前10時から正午まで	山本一郎相談員
福祉なんでも 電話相談	月曜日から金曜日 午前10時から午後4時まで	電話 9局3053番 (社会福祉協議会内)

〔介護用品貸出し事業〕

貸出しする介護用品の種類	車椅子、ポータブルトイレ、ギャッチベッド、エアーマット、簡易浴槽、松葉杖
--------------	--------------------------------------

〔福祉資金貸付け事業〕

貸付けする福祉資金の種類	生活福祉資金、市助け合い金庫、高齢者住宅整備資金、障害者住宅整備資金
--------------	------------------------------------

〔在宅福祉サービス事業〕

サービス事業(一部有料)	入浴サービス事業、ホームヘルプサービス事業など
--------------	-------------------------

編集後記
編集委員の順番で後記を書こうということになり、一番バツターは委員最高齢の私となりました。社協だよりも回を重ねるたびに充実してきたような感じがします。本号は、去る10月3日に行われました、「ボランティアふれあいひろば」を主体としました。また、福祉の現状としてややもすれば老人福祉におされがちな障害者福祉の問題も取り上げました。今後とも福祉の向上に皆様方のご協力をお願いします。(大西)

※ 入場無料となっておりますので多数ご来場ください。

〔主な催しもの〕

- ・健康劇・健康体操
- ・青空市場・子供の広場
- ・健康づくりコーナー
- ・福祉介護用品展示コーナー
- ・環境保護コーナー

協議会

主催 熊野市・健康づくり推進

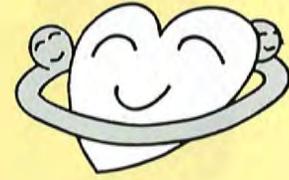
ところ 井戸小学校講堂

とき 11月21日(日)
午前10時～午後3時



社会福祉協議会も協力

社協だより



ふれあいネットワーク



生きがいのある

生活環境をめざそう

地域にひろがるボランティア

応援しあおう



特別養護老人ホーム エイジハウス

お年寄りの介護を経験したことのある人でも痴呆のお年寄りの介護がいかにも大変かを指摘する人は多い。そんな地域住民にとって、心強い施設が誕生した。神木の国道三十一号線沿いに建つ「エイジハウス」である。定員五十名というこの「エイジハウス」に入所しているお年寄りの多くがなんらかの痴呆症状を持っていてるそうである。しかし、入所する前まではほ



とんどしやべらなかつたという痴呆のお年寄りが、再び話すようになったり、痴呆のお年寄りでもこうした集団生活の中では進行が止まったり、安定するようになるという。直線で百メートルあるという長く、ゆったりとした廊下の一角で七十一歳になるといってお年寄りが話してくれた。

「3年間『みさき』（新宮市の

老人保健施設）を出たり入ったりしていたが9月ここに入ってからやっと安住の場所を見つけました。みんなは良い人やし、家に居るよりいいですよ。身体が自由に動かないのが辛いですが」といってお年寄りにとって「エイジハウス」は終の住家なのである。



老人保健施設 オレンジロードむつみ苑



入院治療するほどではないお年寄りの方が入所や短期入所、通所ができ、医療、看護、介護、リハビリなどのサービスを利用し、自立と家庭復帰を目指す「オレンジロードむつみ苑」がオープンしてはや3か月。

モダンな三階建ての施設に現在、30余名のお年寄りが入所している。また、短期入所や通所のサービスも利用されているお年寄りがも徐々に増えているとのこと。



一階は事務室や相談室、会議室、二階と三階は居室が中心で、それぞれの階に食堂と浴室があり、十分なスペースである。

介護する職員の方たちは、家庭的な雰囲気とぬくもりを大切にしてお年寄りのもとより、家族からも信頼される施設でありたいと、お年寄りの介護にあたっている。

- ※施設利用（入所、短期入所、通所）について詳しくお知りになりたい方は、直接、むつみ苑へお問い合わせください。
- 住所 熊野市久生屋町847の2
- 電話 9局1904番（代表）

あなたの老後



福祉活動への取り組み 福祉協力校連絡会議

1月24日、福祉センターにおいて福祉協力校連絡会議が開催されました。当日は新鹿中、育生中、神山中の先生方にお集りいただき、各学校の福祉教育についての取組みや福祉教育とはいかなるものかについて活動報告、意見交換がおこなわれました。

各学校とも地域のお年寄り宅などに花や手紙を持っていく活動を様々な活動を実践されているよう



(ふれあいを深めるゲートボール)

でした。

その結果、地域の人々との交流がより一層深まり、児童・生徒の老人・障害者に対する見方、考え

第3回ボランティアスクール 22名が全課程を修了

5年度の第3期ボランティアスクールは7月から11月の間、7回の講座を開き、22名の受講生のみなさんに榎本市社協会長から修了証が手渡されました。

「寝たきりの人や介護者の気持ち分かるようになった」「介護実習や目の不自由な人の体験が大変参考になった」などの感想が修了生から聞かれました。

ボランティアへの気運が高まる中で、これからの活動が期待されます。

- 【第3期修了生のみなさん】
- 坂田秀美 竹本初美 上坪まゆみ
 - 磯崎町子 奥地京子 竹内きみ代
 - 原田葉子 山村亮子 小山美智代
 - 松田一美 日比千江 水谷みずほ
 - 鈴木貴美 小出信実 岩本真知子
 - 下岡修子 陰地早苗 横平百合子



(ひかり園での福祉体験教室)

方が変わっていったようでした。さらに、いろいろな物事に対する見方、考え方にも変化が現れ、人間性をつちかうのに大いに効果をあげているようでした。

阪口令子 西 ゆり 西村志代子
柚木由美 (敬称略)



第7回ボランティアスクール

ことば の窓 デイサービス

デイケアという場合もありますが、在宅のお年寄りや障害者が通所して訓練や入浴、食事等の介護サービスを受けられる制度です。国ではこのデイサービスセンターを全国で1万箇所を増やそうとしており、各地で新しいデイサービスセンターが誕生しています。

この地域では、老人保健施設「むつみ苑」で行われています。熊野市でも平成8年開所に向けて準備しています。

ショートステイ

在宅で生活しているお年寄りや障害者を家庭での介護者に変わって、短期間特別養護老人ホームなどであずかる制度です。この地方でも、特別養護老人ホーム「たちばな園」「宝寿園」また老人保健施設「むつみ苑」等で実施されています。



今、地域の中で

女性パワーで福祉のまちを

社協遊木支部

今回は、社協18支部の中で唯一、女性で支部長をされている遊木支部の大川妙子さんに話をうかがいました。

遊木支部の特徴は

男の方たちは、ほとんどが漁師のため、事業を実施するにも女性を中心に準備などをしなければならぬことです。

主な支部活動は

昭和63年7月から始めた一人暮らし老人への食事サービス事業のほか、に支部負担で障害者や寝たきりのお年寄り世帯に配食していま



(お年寄りと手芸でふれあい)



(食事サービスを始めて6年目)

また、去年の9月に市の保健婦さんに来ていただいて、介護教室を開催しました。

これからの福祉活動は

高齢化社会に入り、若い人達に福祉活動のいろいろな面で学んでほしいと思います。

また、きめ細かな福祉のまちをつくりあげていくにも、もっと女性パワーを活用していく必要があると思います。

ヘルパーさん走る



林ヘルパーさんの場合

今回は、ホームヘルパーの林さへ子さんにお話していただきました。

ヘルパーになって何年になりますか

もう4年になります。最初にヘルパーとして仕事をさせていたいたときの、あの気持ちからすると最近では少しだけ変わっているかなあと思うんです。でも仕事はやりがいのある、誇りの持てる仕事だと思っています。

仕事を通じていろんなお年寄りや接しますが、その人の人生の終末とかかわれるということとはとてもすごいことだと感じています。それに今のお年寄りはみな、あの戦争を経験したいろいろな苦労をしてきているんだ、このおじいさんも家族のためにバリバリ働いたときがあるんだなあ……なんて考えるとやさしい気持ちで接することが出来ます。

い気持ちで接することが出来ます。

とても大切なことですね。それからもつとこんなところが改善出来たらと思うことがあれば。

そうですね、訪問して思うのですが、ヘルパーが訪問できるのはごくわずかな時間です。それ以外の時間、近所の人や、ボランティアスクールを出たボランティアの方も沢山地域にいらっしやいますし、そんな人々の協力が得られれば、そんな助け合いのネットワークが出来ればと思います。

ヘルパーさんは週にどのくらい訪問しているんですか

訪問は週に1、2回、3時間訪問しています。ただもう少し派遣時間についても、訪問先の実情に合わせて柔軟に対応出来ないかなあとみんなで考えています。

最後にホームヘルプってなんでしょう

「なんらかの手助けの必要な人の自立を支えていくこと」だといわれています。しかし現実には難しいですね、ときとして逆の場合もあつたりしますから。みんなを相談しながら、少しでもいいホームヘルプが出来よう頑張りたいと思っています。

社協だより



ふれあいネットワーク

(第27号)



おおぞらに

おおぞらに

「こい」というじをかいたら
どこからか かれのこえが

きこえてきました
かれはわたしになにか

はなしかけています
わたしもかれとたのしく

おしゃべりしたいのだけど
なぜかわたしのこえは

かれにはとどきません
おおぞらに

「ゆめ」というじをかいたら
しろいくもがばれーぼーの

かたちになりました
いつのひか

このぼーるをすばいくできたら
どんなにすばらしいことでしょう

でも
わたしのてがとどくまで

あのおおぞらにうかぶ
くものぼーるは

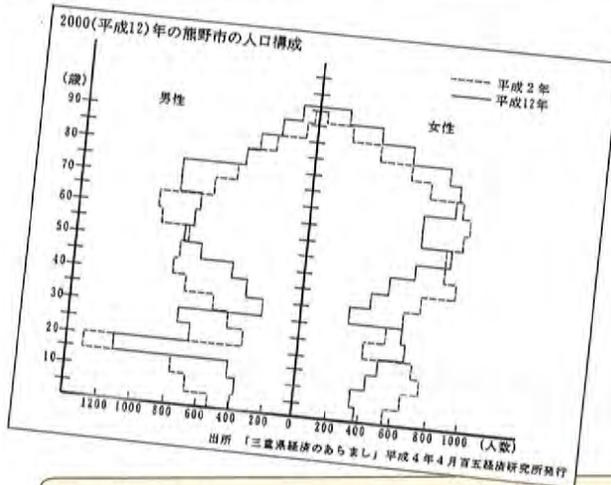
じつとまっついていてくれるかしら？

中村みち子
(詩集「秘密のガーベラ」より)

21世紀福祉のまちづくりをめざして

熊野市 地域福祉活動計画決まる！

三人に一人がお年寄りという、超高齢社会を目前にしています。熊野市社協では、こうした二十一世紀に向け、誰もが安心して暮らし続けられる福祉のまちづくりをめざして、「熊野市地域福祉活動計画」を策定しました。



超高齢社会の熊野市

計画では、その策定に当たってお年寄りや障害者のニーズ調査等を行い現状を分析しています。上記のグラフのように二千年の熊野市は六十五歳以上のお年寄りが30%を超え、三人に一人がお年寄りという超高齢社会を迎えることとなります。

さらに、下の地図のように、高齢化が進むといっても、地域によってすでに高齢化率が30%を超えている須野・磯崎・育生・神川それに比べ市の中心部にある井戸・久生屋・有馬といった比較的若い世代に多い地域に分けられます。

各町の高齢化の現状



望まれる新しい在宅福祉の枠組み

お年寄りが長生きできる社会といふのはとても素晴らしいことです。ところが、過疎とともに若い世代が都会に出て行き、子供がなくなり、核家族が進んでいます。そして家庭では、女性の職場へ進出が目立っています。

こうした家庭や地域の変化は、かつては家庭の中や地域での助け合いで行っていた、お年寄りや障害者の介護を困難にしています。そして今地域では

高齢者や障害者の介護は家族だけでは限界。地域社会のみんなの問題として、社会的サービスを支とする新しい助け合いのシステムづくりが必要となっています。

基本構想

誰でも、いつでも、どこでも必要なサービスが利用でき、すべての人が自立して住みながらまちで暮らし続けられる熊野市をめざして。

在宅福祉サービスの充実

保健福祉センターの建設

保健・医療・福祉が連携し、在宅福祉に関する窓口の一本化により、住民に利用しやすく、サービスの提供が統一的・系統的に行え、熊野市全体の地域福祉活動の拠点となるセンターの建設をめざします。

デイサービス

【中核となるデイサービスセンター】
保健福祉センター内にデイサービスセンターを設置

【山間部、海岸部の小規模デイサービスセンター】
山間部、海岸部に小規模デイサービスセンターを設置



健康福祉センター建設
予定地の旧井戸小跡地

ホームヘルプサービス
ホームヘルパーは在宅福祉の要です。ホームヘルパーの増員と派遣回数増とサービスの充実

ショートステイ

いつでも、必要なときに利用できるショートステイ制度の実現のために、既存の施設に加え、さらにショートステイ用のベッドの確保が望まれます。

介護支援センター

保健福祉センター内に、在宅福祉に関する統一的相談窓口と各種サービスの受付・調整・決定や介護に関する情報提供、介護機器の展示・紹介を行うことができる、介護支援センターの設置が望まれます。

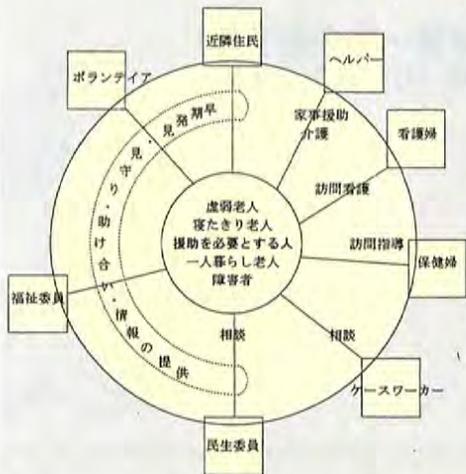
その他入浴サービスや給食サービス、介護補助用具・機器の整備、介護福祉手当の増額等福祉サービスの充実

訪問看護・訪問指導・機能訓練等の保健サービスの充実

地域福祉ネットワーク

地域福祉・在宅福祉の充実を図るためには、施設や各種サービスとともに、援助を必要としている人に対し、サービスがいかに有機的に、効率よく連携して届けられるか、というネットワークの課題が提起されています。

計画では、「高齢者サービス調整チーム」を中軸にした熊野市全体の地域福祉ネットワークの役割、その構成が示され、また、同時に社協支部を中心に各地域で「小地域助け合いネットワーク」(左の図)を作っていくことを提起しています。



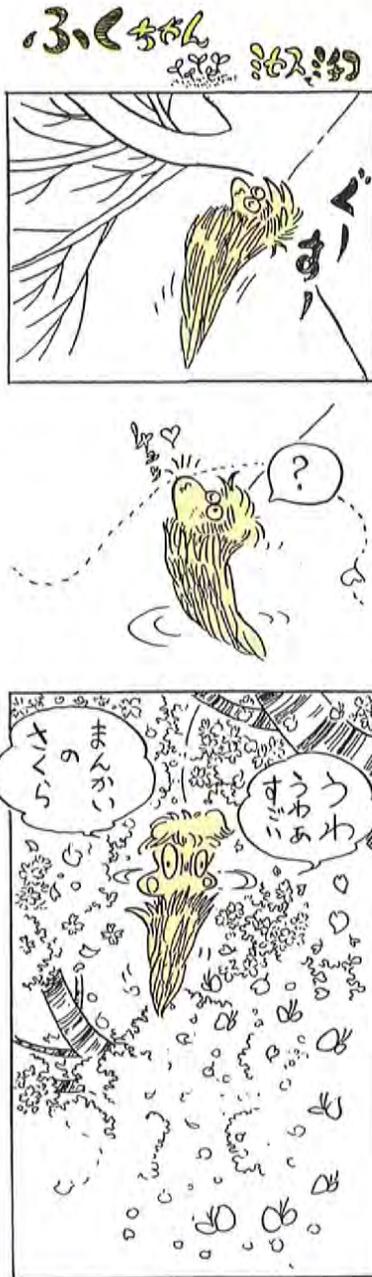
障害者・母子・児童福祉にも言及

この計画は、高齢者の問題のみでなく、「健康で生きがいのあるまちづくり」「障害者・母子・児童福祉」の充実のための課題とその方向にもふれているのが特徴です。

地域福祉活動推進の中核としての社協の強化

また計画では今後、在宅福祉サービスの実施主体としての社協の役割がいよいよ重要になってきているとして、「地域福祉活動推進の中核としての社協」の発展の方向を示しています。





6年度事業計画・予算決まる 一般会計予算初の1億円を突破

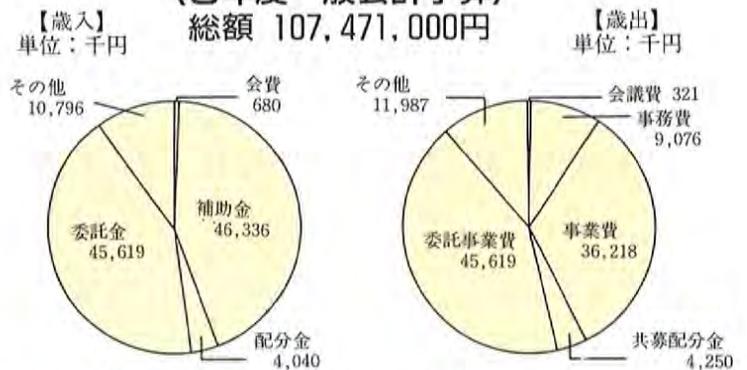
3月30日に社会福祉センターで評議員会を開催し、平成6年度の事業計画及び予算等についての審議を行いました。そして、全議案が満場一致で可決されました。

この中で、ホームヘルパー派遣事業、入浴サービス事業等の大幅な予算の増額に伴う事業の充実とふれあいのまちづくり推進事業（2年目）に積極的に取り組んでいきます。

【主な事業】

- ☆ふれあいのまちづくり推進事業
 - ・各種相談（法律・年金など）
 - ・社協だよりの発行（年6回）
 - ・第4回ボランティアふれあいひろばの開催
 - ・第4期ボランティアスクールの開催
 - ・地区懇談会の開催など
- ☆在宅福祉活動の推進
 - ・ホームヘルパー派遣事業
 - ・食事サービス・入浴サービス事業の実施など。
- ☆地域福祉活動計画の推進
- ☆ことぶき人材センターの運営
- ☆老人・障害者・母子等の福祉推進活動
- ☆各種大会の開催など

〈6年度一般会計予算〉 総額 107,471,000円



ホームヘルパーについてのご相談は最寄りの民生委員に。

高齢や心身の障害により日常生活に支障をきたすようになったお年寄りや障害者が、在宅で暮らし続けるための援助サービスです。その内容は、家庭にホームヘルパーを派遣し、食事の世話、洗濯、掃除などの家事援助と身の回りの世話、通院介助などの介護にあたります。さらには日常生活上の相談に応じることもその仕事です。現在熊野市には、11名のホームヘルパーがいて、毎日活躍しています。

ホームヘルプ サービス



今、地域の中で

自然保護にも活発に取り組む

社協大阪支部

社協活動を支えるボランティア

4月は大阪地区高齢者の会食会である。開始予定の1時間も前からお年寄りが集まってくる。同じ大阪に住むといっても、あまり出る機会が少ないお年寄りも、久しぶりに会ったなつかしい顔、ボランティアの手作りの料理を食べながら話しに花が咲く。

春の会食会、秋の敬老会、そして毎月の一人暮らしのお年寄りへの給食、こうした社協の活動を支えているのが六十名のボランティアである。

大又川の自然を守って

社協大阪支部の活動のもう一つの特徴は、大又川の自然を守る活動である。一見すればその流れは昔と変わらない清流に見える。し

かし、生活排水による川の汚染は年々進んでいる。そんな地域の声から始まったのが、小阪区・婦人会・小阪小学校PTA・社協支部でつくっている「大又川の自然を守る小阪区連絡会議」という新しい名前の会である。会ではこれまで講演会などの啓発活動、毎年の「水生生物調査」、先進地の視察等地道な活動を続けている。



ヘルパーさん走る



浜本ヘルパーさんの場合

今回は、ホームヘルパーの浜本早苗さんにお話していただきました。

ヘルパーになってまる三年になりますが、最近ようやくその活動の喜びと難しさをつくづく感じるようになってきました。

こんなことがありました、以前は歩いていたのに、段々と歩くことが困難になっていった障害者の方の所に訪問していましたが、その人が歩行器を使用してまっすぐ立たた時、そのスラックとした姿を見、「久しぶり立って」というあの一言を聞いた喜び、その人とともに喜び共感しあえることはすごいことだと思えました。

でも、なかにはヘルパーが訪問してもなかなかお年寄りに受け入れてもらえないときもあります。最初に訪問したときは「もう明日

は結構です」、という感じで、そんな状態が何回か続いたときもありました。そのお年寄りの場合、最初は「どうしようかと思いました」が、言葉かけをしながらなるべくそのお年寄りの痛みや、苦しみに寄り添って、完全にそのお年寄りと同じ立場には立てないにしても、そのお年寄りの気持ちに近くなればと思いついた訪問を続けました。そしてこのケースでは、最後に今まで曲がらなかつた足も曲がるようになっていくなかで、お年寄りとの信頼関係もきずけたのでは、と思っています。やっぱりヘルパーをやっているのは、どのようにならぬか、という

ことでしょうか。お年寄りでもその人生の最後になって、子供や家族に見守られながら幸せに終わる人もあり、一方では身体が不自由になりながらも、一人暮らしのため、自分の手の届く枕元に食べ物をずらつとならべ、ストープで調理をしながら、孤独な死をむかえざるを得ない人もいます。ヘルパーをやっていると、いろんなお年寄りの終末にかかわり、今までは考えもしなかつた様々なことを勉強させられます。

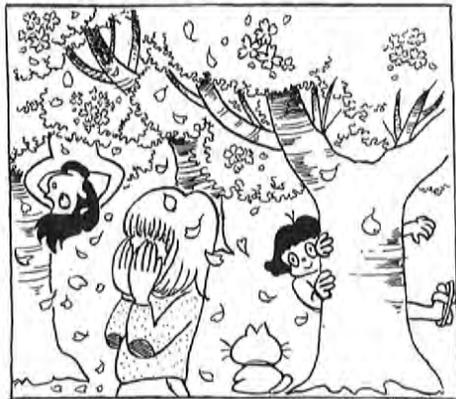
まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっているカ所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数と住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

正解者の中から抽選で10名様に粗品をプレゼントします。



お役に立ちます 困ったときに

日常生活の中で、心配ごとや悩みごとなどで困っている方、気軽にご相談ください。

専門相談員があなたの悩みの相談に応じます。

ご相談は、社会福祉協議会（社会福祉センター内 電話9局3053番）で、受付けています。

相談の種類	相談日	相談員
法律相談 (無料)	毎月1回 第2火曜日 (但し、4月は第3金曜日 7年1月は、第3火曜日) 午後1時から午後4時まで	堂前美佐子弁護士
国民年金 なんでも相談	毎月1回 第3水曜日 (但し、8月は第2水曜日) 午前10時から正午まで	市役所国民年金係
心配ごと相談	毎週火曜日 午前10時から午後4時まで	山本一郎相談員
福祉なんでも 電話相談	月曜日から金曜日まで (但し、祝祭日は除く) 午前10時から午後4時まで	社会福祉協議会内 電話9局3053番

新しい体験を
味わってみませんか

第4回ボランティア
ふれあいひろば

5月に開講予定

第4期ボランティア
スワール
7月に開講予定
受講者を募集しますので
ご応募下さい。

よろしくお祈りします



ホームヘルパー
屋敷桂子



ホームヘルパー
福林好子

新職員紹介

熊野市の人口 (平成6年3月1日現在)

- ☆世帯数 9,243世帯
- ☆人口 22,907人
- 男 10,829人
- 女 12,078人
- ☆65歳以上 5,199人(22.7%)
- 男 2,044人
- 女 3,155人
- ☆75歳以上 3,478人(15.2%)
- 男 1,244人
- 女 2,234人
- ☆自然増減(2月分)
- 出生率 10人
- 死亡率 23人
- ☆社会増減(2月分)
- 転入 43人
- 転出 51人

編集後記

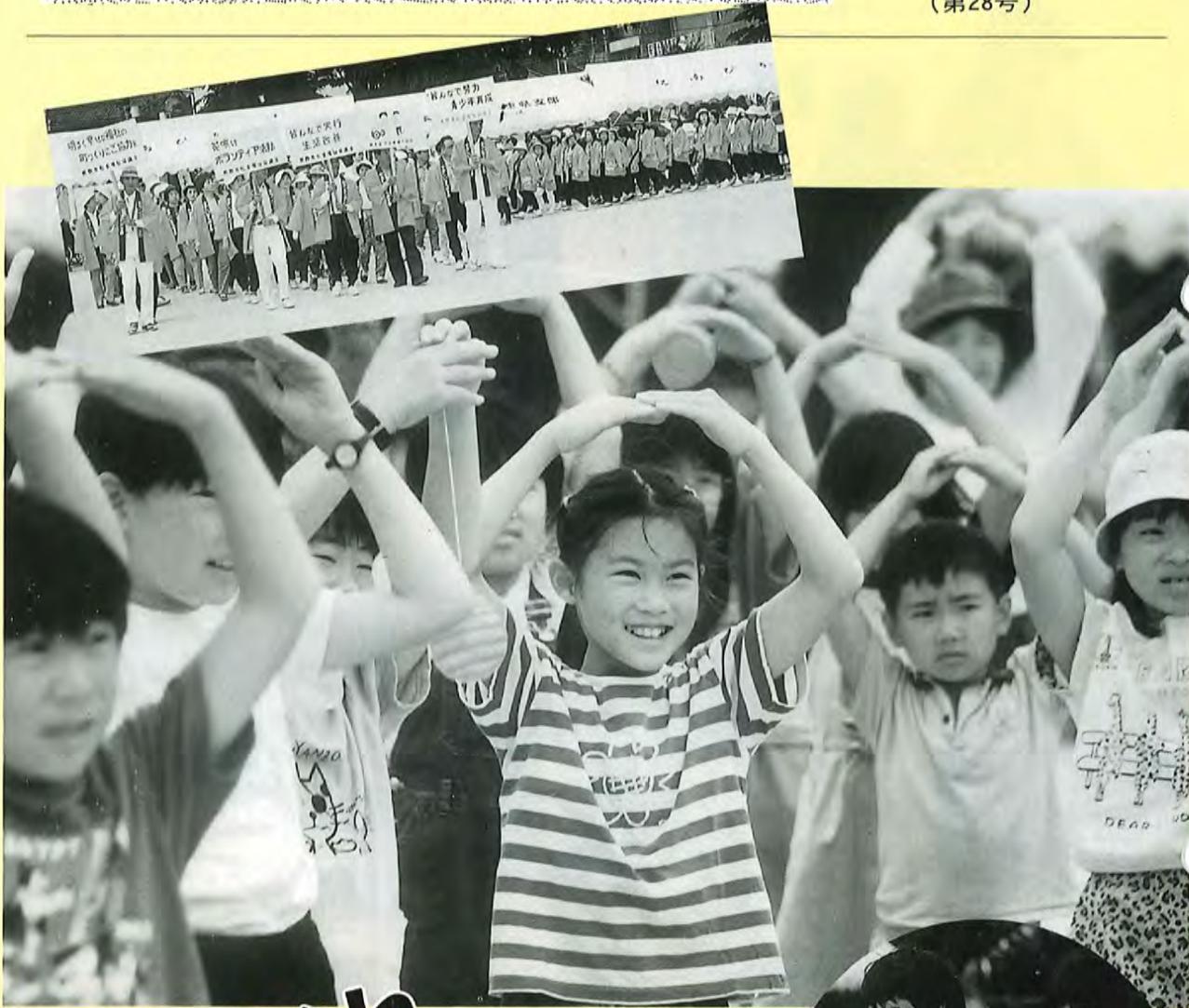
花の季節の訪れと、水温み、小川で子供の水遊びが、あちらこちらで見受けられます。社協だよりも四月から表紙の活字が一部変り、又、第一回発行よりの発行番号を入れ直した。紙面のマンガ、クイズを、どうぞ、ご期待下さい。(久保)

社協だより



ふれあいネットワーク

(第28号)



ひろがれ ふれあいの輪



ティア ひろば



どれどれ、入浴車の中はどうなってるのかなあ



ボラン



早くつくってえ！
おお忙しのわた菓子コーナー



私がひろば実行
委員長の中村です

5月22日、好天にめぐまれた木本小学校グラウンドで、第4回ボランテアふれあいひろばを開催しました。

当日は、市内のお年寄りや身体の不自由な方、ひかり園生、ボランティアなど800名が集い、楽しいふれあいのひとときを過ごしました。

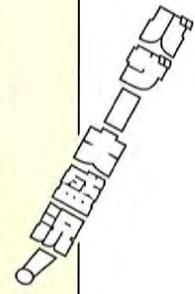


ヨイシヨ、コラシヨ
大玉にころがされて？

そろいのユニフォームで
かっこいいところを見せて
くれましたプチ・ルミエー
ルのみなさん



皆様の善意で提供いただいた
たくさん品物をチャリティバ
ザーで販売しました。
当日の収益金は、ボランテ
ア基金に積立て、ボランテ
ア活動の資金として活用します。
ありがとうございました。



今回の「熊野市高齢者保健福祉計画」は国のゴールドプランに基づき、平成11年度を目標に、高齢者保健・福祉全般にわたって、各種サービスとその具体的な数値目標を示しているものです。

ホームヘルパーを34名に

計画では、在宅での高齢者を支えるホームヘルパーを目標年度までに三十四名まで増やす予定にしています。

ヘルパーは三地区にわたることにより訪問先までの時間の短縮をはかり、それぞれチーフヘルパー1名を配置する、となっています。

デイサービスは4か所で

高齢者が昼間通所して、食事、リハビリ、入浴を行うデイサービスを実施する。

計画では、旧井戸小学校跡地を中心とするデイサービスセンター、すでにこの4月から実施している神川、育生地区、山間部、海岸部の四か所への整備が望ましい、とされています。

介護支援センターを設置

高齢者の生活圏に近いところで、迅速かつ適切なサービスを提供できるようにするため、保健・福祉の総合的窓口として先のセンターに併設して「在宅介護支援センター」を設置する計画です。



老人訪問看護の実施、機能訓練・訪問指導の充実

保健の面では、新たに訪問看護ステーションを設置し、かかりつけの医師との連携のもとに訪問看護を実施する。また保健婦等各種の専門職を配置

し、機能訓練、訪問指導、訪問腔口指導、訪問栄養指導を充実する計画となっています。

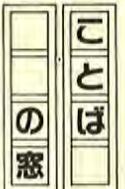
井戸町に保健福祉センターの建設

計画では、こうした保健福祉活動の拠点となる保健福祉センターを井戸町の旧井戸小学校跡地に平成6年、7年度をかけて建設することになっています。

計画のめざすサービスの目標水準

この計画が達成されたとき、寝たきりで日常生活に介助が必要なお年寄りの利用できるサービスを組合わせた一例が下の表です。

利用するサービス	日	月	火	水	木	金	土	備考
ホームヘルプサービス		○		○		○	○	週4回派遣、時間は2時間
デイサービス			○					週1回昼間通所
ショートステイ	年 6 週							
訪問看護		○			○			看護婦が週2回、2時間
機能訓練			○					
訪問指導	年 7 回							
訪問腔口指導	年 1 回							
訪問栄養指導	年 1 回							



ノーマライゼーション

障害者であれ、高齢者であれ、普通の市民と同じように地域で暮らすことができることをめざし、そうした社会こそがノーマルな社会である、という社会福祉に関する基本的な考え方。

またこの考え方は、障害を持つ人も、高齢になりながらの援助が必要になった人も、人間の尊厳が等しく保障されるべきであり、「同年齢の市民と同様の基本的権利を有する」という考えに立つものです。

もともとこの思想はデンマークで生まれ、障害者の福祉のあり方を示したものでしたが、その後北欧諸国から世界的に広がり、また単に障害者の福祉だけでなく、今日では、社会福祉の基本的な原理・思想となっています。

今、地域の中で

住民の協力で多彩な事業を展開

社協井戸支部

「支部を結成してから23年が経ち、私で5代目の支部長になるんですが、この町も福祉も環境が随分と変わってきて、今は住民の方々の協力をなくして何も事業ができませんね。」と、田中幹造支部長が支部活動について語ってくれました。

さんが、安心して暮らせるまちななるよう全力をあげて取り組んでいきたい。

井戸川を住民の憩いの場に

現在、県と市が井戸川の両岸を花木でいっぱいにならうというフラワーオアシス事業を計画しており、支部としても住民の憩いの場となるよう、この事業に協力していくことになっています。

この他、鯉の放流や、小学生の皆動生の奨励、給食サービス事業、慰問活動など、多彩な事業を実施しています。

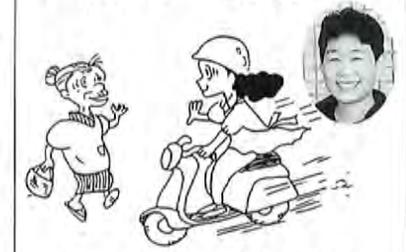
助け合いのネットワークづくり

市社協が取り組んでいる小地域助け合いネットワークづくりに全面的に協力して井戸支部として、何回か勉強会を開き、住民のみな

ふくちゃん



ヘルパーさん走る



矢谷ヘルパーさんの場合

「ヘルパーをさせていただいて、ああこれは人生勉強だなあ、と思うことがよくあります。私の倍以上の人生を生きてきたお年寄りの話しを聞き、その姿を見てみると、いろんなことを学ばせてもらいます」と矢谷ヘルパーさんは語ってくれた。

先日、訪問先の障害者から誕生

日のお祝いに「押しつけと、進めることはちがうのよ」という言葉を贈られたという。いろいろ考えてみると、こちらはよかれと思っていたものが、相手にとっては逆に負担になっていたのかと反省させられた。そして、そんな時、自分が相手をケアしているんではなく、相手から自分の心のケアをされているんだ、と思ったという。そうした矢谷さんの話しを聞いてみると、本人も「一つの信仰の世界かな、心の修業ですかね：：」というように真摯な求道者というイメージが重なってきた。身長？ センチの矢谷さんにとつての悩みは「わたしなんか小さいから：：：入浴のときはヘルパー二人でお風呂にいれるんですが、お年寄りの人が不安になりはしないかと、申し訳なくります。在宅での入浴はとて大変ですし、男性のヘルパーがあればいいなと思います」笑いながら話してくれた矢谷さんは、笑顔のとてもさわやかな二人の子供を持つお母さんヘルパーである。

第2回

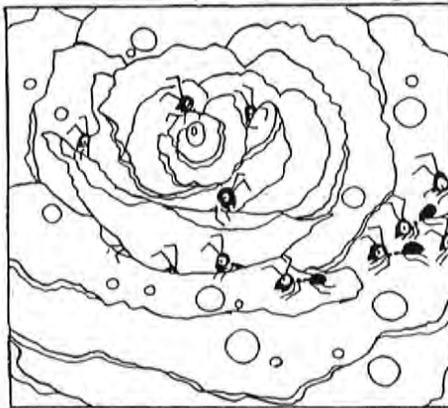
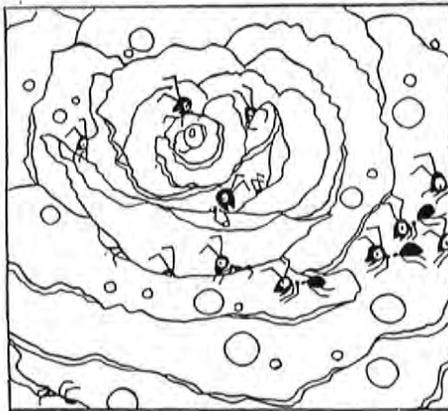
まちがいさがレクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっているカ所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数と住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

正解者の中から抽選で10名様に粗品をプレゼントします。



ボランティアスクール日程

Table with 3 columns: 回数 (No.), 日時 (Date/Time), テーマ (Theme). It lists 8 sessions from July 11th to February 7th, covering topics like 'Volunteer?', 'Home care', 'Hand talk', 'Nursing practice', and 'Understanding welfare facilities'.

ボランティア活動に関心のある方、やってみたい方ご応募ください。【定員】30名 【締切日】7月7日(定員になり次第、締切りさせていただきます) 【申込先】井戸町 熊野市社会福祉センター ☎9-3053 【申込方法】ハガキか電話で申し込んでください。

第4期ボランティアスクール 受講生募集!

福祉講演会を開催(ご来場ください)

日時 7月31日(日) 午後1時30分より
場所 井戸町赤坂 社会福祉センター 2階
主催 紀南視覚障害者福祉会 熊野市心身障害者連合会
後援 熊野市社会福祉協議会
講師 御本小一郎翁
演題 「光を求めつつ 愛に生きる」

☆長い人生経験の中で、障害を背負いながらも福祉活動に情熱を注ぎ、幾多の苦難をも乗り越えられてきた貴重な体験談が聴けるものと思います。市民の皆さん、福祉活動で活躍されているボランティアの皆さん、多数ご来場ください。

熊野市の人口

Table showing population statistics for Kumano City as of April 30, 1994. It includes total population (22,907), age distribution (65+ and 75+), and natural/social changes (births, deaths, migration).

編集後記

第4回ボランティアふれあいひろばが、風薫る5月に実施され、随分心配された天候の方も晴天に恵まれ協力一致。福祉の汗も、さわやかでした。今後とも、福祉活動への理解とご協力をお願いいたします。特産物もよく売れ、コーナーの係は、うれしい悲鳴。行事に晴天は最高ですネ。(大川)

第1回 まちがいさがレクイズ正解者 ☆正解 9か所 ☆応募者数 27名 ☆正解者数 8名 正解者のみなさんは、次の方々です。おめでとうございます。 中本 ヒトミ(有馬町) 中本 真知子(有馬町) 中本 輝良(有馬町) 中本 淳(有馬町) 中本 洋(有馬町) 中村 みち子(有馬町) 中森 登志代(有馬町) 土井 幸代(有馬町) ※敬称略

社協だより



ふれあいネットワーク

(第29号)



りの暮らしを支える

育生デイサービスセンター

7月初めのうだるような暑さの中、「神川育生デイサービス」を訪れました。
 場所は神川町神上、道路を隔てて斜め向いが神川の桜まつりの会場になるところ。電源開発の施設を借り受け改造して出発したのが、今年4月のことでした。



お迎えの車がセンターを出発したのが朝9時。神川・育生の山間を縫うようにして車は走る。途中、道端や家の軒先で待つお年寄りを乗せ、車は育生町粉所まで。



車が戻ったのが10時すぎ。既に集まっている近くの人も含め訓練室は、一気に賑やかとなります。ちようと、七夕を間近にしているころ、七夕飾りを作る人、やわらかいボールを使って指導員さんと運動する人、世間話に花を咲かすグループ、訓練室に集まった10数名のお年寄りの過ごし方は様々です。
 12時になると楽しみなお昼。三々五々食堂に集まってきました。今日のメニューはカレーライスとサラダ、それにスイカ。



一人暮らしの寂しい食事とちがい、おしゃべりをしながらのカレーはお年寄りにとって、ひとときわおいしく感じられるでしょう。
 さあ、2時からはお風呂の時間。元気で自分で歩ける人は、大きい普通のお風呂へ。車椅子や介助の必要なお年寄りは特殊浴槽に。

この特殊浴槽は、スウェーデン製の関西地方で3台しかない浴槽と聞きました。
 熊野市の他地域に先駆けてつくられた「神川・育生デイサービスセンター」、それを支えているのが戸田先生をはじめ、指導員3名運転手、そして調理員の5名のスタッフです。





この施設は、神川・育生両診療所で医療に携わっている戸田先生の献身的な努力と、地元住民の要望により実現したものです。
 戸田先生は、更に既存の施設を改造して、居住部分も少した調子の悪いお年寄りや一時的に介護が必要になったお年寄りに入ってもらう、そこではきちんとケアができ、また元気になれば自宅に帰って生活を続けられる、そういう居住施設があればお年寄りは安心して暮らし続けられますよ。ぜひ実現したいと思っています。

大又川の自然を守る

盛り上がる各地の活動



川の上流にある大又・小又地区では、社協両友支部を中心に古くからアマゴの放流を行ってきました。夏に3年前から子供たちに川の自然に対する理解を深めてもらおうと、飛鳥小学校の児童とともにこの活動を続けています。

熊野市を代表する清流、大又川の自然を守る活動が流域の各地で活発に行われています。
この7月には、飛鳥地区の社協が中心となり町内の各種団体を結集して「大又川の自然を守る飛鳥連絡会議」が結成されました。



毎年7月の第1日曜日は、大又川の流域住民あげての清掃活動です。

川の富栄養化で年々繁茂する葦に手をやりながら、捨てられた空きカンを拾い汗を流します。



小阪地区では、4年前から「大又川の自然を守る小阪地区連絡会議」を結成し、活発な川を守る活動を展開。

7月には、恒例となった水生生物の調査を小阪小学校の児童・父母を中心に行います。

先月17日の調査では、水質階級1・きれいな水でした。

大又川を中心とした行事
○飛鳥町神山地区
川原で住民あげての「あしのこまつり」
パーベキューやカラオケ、いかだ乗り
○五郷地区
「いさと会」が中心となって、子供
いかだ下りやアマゴのつかみ取り

ことは の窓

老人保健施設

老人ホームと病院
の中間的な施設

最近、久生屋町にできた「むつみ苑」、これが老人保健福祉施設（以下、老健施設）です。

老人ホームは、そこですと生活を続けていくための施設であるのに対し、老健施設は家庭・社会復帰を目指し、看護、リハビリ等を行う通過型の施設です。その意味で病状が安定しているが、しかし介護の必要のあるお年寄りの、在宅への架け橋といえます。

また、そうした症状の安定期にある要介護老人に対し、看護、介護・機能回復訓練を中心に、医療と福祉の両面からサービスが提供されます。ちょうど病院と老人ホームの中間的な役割を果たしますから、「中間施設」ともいわれています。

さらに、老健施設では2週間程度の短期の入所（ショートステイ）や昼間だけ通所して食事、入浴、機能訓練を受けるデイサービスも合わせて実施しています。

今、地域の中で 老人クラブを中心とした活動に ―社協磯崎支部―

今回は、熊野大花火の準備で忙しい、鳴崎喜代治支部長に磯崎支部の活動についてお話を伺いました。

―支部活動について―

この町は、昔から住民の連帯意識が強く、事業を遂行していく上で、区や老人クラブなどの連携もとれ、町ぐるみの活動ができ、大変うれしく思っています。

―支部活動で難しい点は―

やはり若い人たちが町を離れてしまい、みんなを引っ張って行ってくれる強力なリーダーがいなくてです。

また、家が急傾斜地に密集して

いるので昇り降りが大変で、お年寄りのお世話をするにしても、家の立地条件が難しくしています。

―活動の中で嬉しかったことは―
お年寄りの占める割合が39%を超えている中で、事業として食事サービスが実施できたことです。

―今後の支部活動の取り組みは―
この町もお年寄りが中心となってきました。区はもちろんのことで、老人クラブを中心とした活動を考えていかねばと思います。

最後に 鳴崎支部長は「子供の声が開けなくなってしまうことが寂しい。」と語ってくれました。

ヘルパーさん走る



北山ヘルパーさんの場合

「おはようー起きる時間ですよ」

の目覚ましの声に夢から現実。少し体力の衰えを感じながら、今日も又一日が始まるのです。

出勤までの2時間、そりやもう嵐の如くです。

8時、お弁当を積みこみ、今日も元気で出社です。

さあーこれからヘルパーの仕事

です。

私の取り柄は元気、一に元気、二に元気、三、四がなくて五に元気と、こんな調子です。ので失敗も数しれず、先日などは、田んぼに落ち、全身泥だらけ。訪問前から、「どろんこ美容」などやってしまったのです。

こんな私ですが、元気と笑いの促進剤となり訪問したいと思っております。

ヘルパーとなつて2年が過ぎ、主婦でいけば絶対味わえない素敵な出会いも肌で感じる事が出来ました。

しかし、悲しい別れもあり、仕事に慣れた感じもありました。ストレスの多いこの仕事も、職場が楽しいことで解消されますが、介護を必要とされる方のおられる家族は毎日が大変で、ストレスも悩みも多いと思います。

孤立させることなく、地域で、まちぐるみで応援できたら、明日も頑張れるでしょう。

やさしい、思いやりの一言をあなたからよ・ろ・しく。



第3回

まちがいさがしクイズ

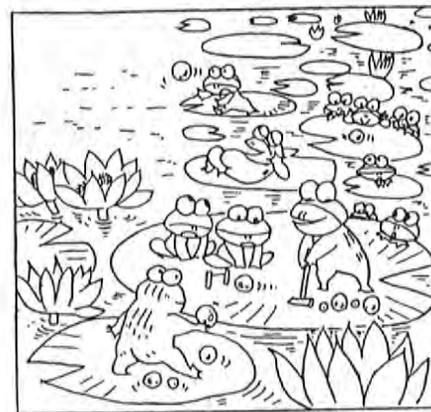
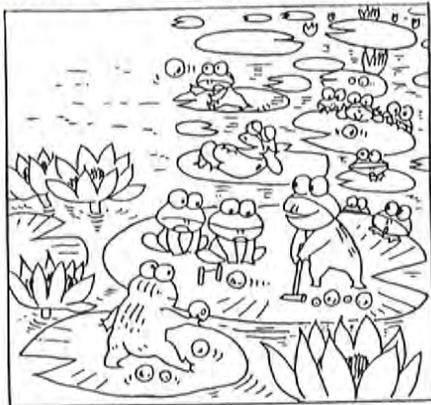
下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、8月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



福祉活動への第一歩

ひかり園で一日福祉体験教室

去る7月28日に平成6年度小中学生一日福祉体験教室が精神薄弱者更生施設 紀南ひかり園で開



催され、「ふれあいの中で学ぼう」をテーマに熊野市、南郡の児童・生徒・教師24名が参加して行われました。

交流活動では、ビンゴゲームや輪投げなどを通じ、園生とのふれあいを深め、楽しいひとときを過ごし、体験活動では、車椅子の扱い方や介助の仕方などを、目隠し歩行では、目の不自由な方の誘導の仕方などを学びました。

どれも実際に体験するのが始めての子供たちが多く、慣れないながらも、汗びっしょりになって頑張っていました。



施設生活については園生が那智黒石の加工について説明をしてくれる場面もあり、一生懸命に仕事をする園生の姿に感銘をうけたようでした。今日一日のふれあいの中で学んだこと、感じたこと、これからの一人一人の生活の中で活かし、福祉活動への第一歩として活躍してくれることを願います。

第2回 まちがいさがしクイズ正解者

☆正解者数 13箇所

☆正解者数 37名
抽選の結果、次のみなさんが当選しました。おめでとうございます。

- 植村 和広(五郷町桃崎)
- 椿本 剛志(有馬町)
- 土井 剛正(有馬町)
- 徳田 志げ子(五郷町寺谷)
- 瀬戸 栄子(飛鳥町佐渡)
- 松田 一郎(井戸町)
- 濱野 栄子(有馬町)
- 鳴崎 喜代治(磯崎町)
- 水上 次生(磯崎町)
- 水上 常樹(磯崎町)

熊野市の人口

(平成6年6月30日現在)

☆世帯数	9,249世帯
☆人口	22,869人
☆男	10,832人
☆女	12,037人
☆65歳以上	5,236人(22.9%)
☆75歳以上	2,064人(9.6%)
☆自然増減	1,391人(分)
出生	798人(分)
死亡	23人(分)
☆社会増減	53人(分)
転入	53人
転出	84人

編集後記

男性はもつと介護に参加すべきだと言われる。そうした考えの大きな障害になっているのが「おれは仕事をしているんだから」という男性の主張である。ところがこの秋から、公務員の介護休暇が実現される予定になっている。いよいよ男性も本格的に介護する時代が始まるのである。(富田)

社協だより



ふれあいネットワーク

(第30号)



がんばっているお年寄り



来年の3月には満百歳
 熊野市最高齢者の頼市翁。家の庭の草むしりが日課となっている。顔の艶もよく、足腰もしっかりしており、100歳とは思えないほどである。

三度の食事を欠かさず食べ、その日の新聞を読むことが、長寿の秘訣。



谷本頼市さん(99歳 五郷町)
 —明治28年3月10日生—



通信士から魚の行商に
 魚を売り歩いて30年。朝8時から買い出しに出て松原地区を中心に正午頃まで売りに歩く。愛用のリヤカーもこれまで4台も買い換えたという。

よく食べ、よく寝ることが一番の健康の素。



川口 愛さん(81歳 木本町)
 —大正2年6月6日生—



人生を医業一筋に
 「明治の子 意外の長寿 除夜の鐘」
 木本町に医院を開業して39年。以来、患者さんたちを診察し続けている。

若い看護婦(?)さんたちに囲まれ、その上、奥さんが常に側にいてくれることが健康の秘訣とか。



小林 進さん(91歳 木本町)
 —明治35年12月20日生—

と き 年齢を重ねて

明治から平成と多難な道を歩み、乗り越えて、「若いもんには負けんぞ」と、今も地域で活躍されている、元気はつらつ、おじいちゃん、おばあちゃんを紹介します。
注：年齢は平成6年9月30日現在です。

下地志うさん(86歳 磯崎町)

— 明治40年12月6日生 —



一石二鳥のわらぞうり作り

「10歳のころからわらぞうりを作っているんじゃない」カラフルなぞうりが倉庫に並ぶ。交通事故で足を骨折したが、手と足のリハビリに丁度ええし、健康を保つのにええし、と日々わらぞうり作りに励んでいる。



小山吉次さん(82歳 有馬町)

— 明治44年10月10日生 —



日本一のゲートボール場に

この藤の花を棚いっぱい咲かせることが一番の楽しみですわ。と、7年前から育て上げた藤も今年は、八百房の花を咲かせるほどに成長。ゲートボール場に来ては、藤などの植木の手入れをする毎日である。



小瀬川文子さん(80歳 井戸町)

— 大正2年11月17日生 —



行事には卒先して参加

ゲートボールで友達とわいわいしゃべりながら楽しむのが一番。と、ボールを打つ。早朝の散歩を毎日続け、具いっばいの味噌汁と卵、牛乳は欠かさず飲み、その日の日記を付けることが、日課となっている。



今、地域の中で

ひとりひとりのしあわせを

大切にできる地域づくり

社協五郷支部

今回は、五郷支部長の坪井平二さんに支部の状況などについてお話を伺いました。

支部活動の状況は

昭和61年 全戸会員制を発足し、地域住民の理解と協力により、おかげで小地域福祉のまちづくりが進んでいます。

特に、民生児童委員と女性ボランティア「ほほえみ」が中核となつて、市委託事業はじめ、地域で主体的に実践する在宅サービス、友愛訪問、環境美化などに、各団

体や児童ボランティアの協力を得ながら積極的に取り組んでいます

今後の支部活動の取り組みは

年毎に変わる地域の実態を確認しながら住民お互いが、智慧と力を寄せ合つて、楽しい生活ができる町づくりを一層進めていきたい。そのため、福祉研修会、介護勉強会、意見交換会などを開催したい。また、福祉ネットワークづくりを進めていきたい。

ヘルパーさん走る



井谷ヘルパーさんの場合

笑顔と元気がモットーです

ヘルパーとして勤めさせていだいてまだ一年半でかけだしですが、笑顔と元気が私のとりえかな。ヘルパーとして毎日頑張つておられるのですがいまの感想は……家族の人が大変だなあと、つくづく思います。

二十四時間、毎日毎日ですから、介護する人にとっては夜も眠れない

いし、自分の時間があつてないよ
うなものです。お年寄りの介護する
家族はほんとに大変だと思いま
す。

ヘルパーをやっている何が一番大
変ですか

大変なのは家族の中の人間関係
がうまくいってないときかな。介
護の期間が長くなるとどうしても
家族の人間関係がうまくいかなく
なるところもあります。そんなと
きヘルパーとしてどのようにかか
わればいいのか、どのように言葉
をかけたらいいいのか、ほんとに悩
みます。

また、入浴車で訪問して入浴を
してもらうんですけど、話しをし
ながらお年寄りのペースでやって
いると長いところでは一時間四十
分もかかるんですよ。そんな入浴
も何件にもなると大変です。男性
のヘルパーがいればいいなあと思
いますよ。

では、逆にヘルパーの仕事をして
よかつたことは

わたしはヘルパーになってまだ
一年半と未熟ですが、こんな私で
も、「待っていたのよ」と私が行
くのを待っていてくれる、そんな
時がうれしいですね。



第3回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、8月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



健康まつり来てネ!

～健康はあなたがつくる宝物～

子供から大人まで楽しめ、学べるイベントです。子供広場・健康食品試食などの健康に関する様々なコーナーがあります。また、毎日の介護負担の軽減を考えている方には、介護用品展示コーナーもおこないますのでぜひご来場ください。

<日 時>

平成6年11月13日(日) 10:00～15:00

<場 所>

井戸小学校 体育館

ご協力お願いします

赤い羽根共同募金

期間 十月一日から

十一月三十一日まで

歳末たすけあい募金

期間 十月一日から

十二月二十日まで

いずれも、熊野市社会福祉協議会(社会福祉センター内)で受け付けています。

皆様の温かい善意を

お待ちしております。

ことぶき人材センターより

募集!

60歳以上の方でまだまだ働いてみたい方を募集します。

仕事の内容：空き地の草刈り・草取り

家の修繕・ミカンの摘果など

賃 金：仕事の内容により異なります。

(一時間550円～1000円)

問い合わせ：ことぶき人材センター(社会福祉センター内)

<電話 9局 3053番 担当 島 田まで>

第3回

まちがいさがしクイズ正解者

☆応募者総数 21名

☆正 解 8箇所

抽選の結果、次のみなさんが当選しました。おめでとうございます。

椿本 さとみ(有馬町)

瀬戸 栄子(飛鳥町佐渡)

大森 睦(飛鳥町小阪)

津田 タズ子(新鹿町)

椿本 剛志(有馬町)

椿本 智志(有馬町)

熊野市の人口

(平成6年8月30日現在)

☆世帯数	9,237世帯
☆人 口	22,736人
男 子	10,743人
女 子	11,943人
☆65歳以上	5,277人 (23.0%)
男 子	2,094人
女 子	3,183人
☆75歳以上	2,187人 (9.6%)
男 子	799人
女 子	1,388人
☆自然増減	(8月分)
出生	20人
死亡	21人
☆社会増減	(8月分)
転入	48人
転出	51人

編集後記

野辺に彼岸花が咲き乱れ、さわやかな秋の季節を迎えることができました。

今後、21世紀に向け高齢化社会が一段と進み老人福祉の問題が大きな課題となります。

みんなで手を携えて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指したいものです。(浜上)

社協だより



収穫の

よろこび

度会養護学校熊野分校の子どもたち

暮らせる福祉の まちづくり



点字ブロックの修復を
中村 昭 義さん
(木本町)

木本町記念通りの横断歩道に敷設されている視覚障害者点字ブロックの何箇所かが、もう何年も前のことになりましたが、突然削り取られてしまいました。これは、恐らく地域社会のどなたかが「滑つたら危ない」と指摘し、施工者が削り取ったものと考えられます。私はこれについて何の意義も唱えるつもりはありません。たとえ障害者のために作られた施設であっても地域の皆さんに迷惑がかかるようでは何にもなりません。ただ、私はここで問題を提起し

たいのは、この点字ブロックが私たちのまったく知らない間に敷設され、そして削り取られていったという事実についてなのです。削り取られた点字ブロックは、今もなおそのままの状態になっております。関係当局におかれては、十分な調査の上、私たち視覚障害者の立場、気持ちを察していただき、一日も早い修復を希望して止みません。私たちは、この点字ブロックを福祉のまち熊野のシンボルとしてゆきたいのです。



デンマークに学ぼう
中村みち子さん
(有馬町)

自分の性格を一言で表現すると「外弁慶」。我が街で、身体的ハンデーと付き合いながら、こんな性格を活かし、発揮するためにはどうしたらいいか。市長選が終わり、来春には市議選も控えているが、一部の人のポジションが変わるだけではどうにもならないだろう。私自身を含め、みんなの考え方が変わらなければ…。私のような者が単独でいろんな場へ出て行くと、なぜか家族が悪者にされる傾向があり、当然家族はそれを恐れ、私たちもつい行動

しがたい心理へと追い込まれる。この夏、デンマークへ視察旅行に行った友達から、その街の様々な様子を聞かされるたびに、こんな事に縛られている自分自身が馬鹿らしく思える。どんなに重いハンデーがあろうと、国の全面的バックアップの下、独立し、平等に生活できる国が生みの彼方に存在する。今後、熊野市から一人でも多くの人をその国に送って、国民の広い豊かな心を吸収して来て欲しい。ここを第二のデンマークとするために…。

だれもが自立して

障害者福祉週間
12月9日～15日

知的障害者と共に

田辺 真弓さん

(有馬町)



グループホームは、地域の中で一人の人間として、当たり前のように生活するところである。

世話人(筆者)の家で五人の家族と共に生活をする四人の知的障害者をもつ人たちがいる。

11月13日、青く澄み渡った空の下、ここ奥有馬地区の運動会が浜で行われ、全員が参加した。山のように積まれた景品に皆、目の色も変わり、片っ端から種目に出た。

借り物競争のとき、字を読むこと、ことばを出すことの困難なYさんが出たが、近くに座っていた

男性が、素早く彼のもとに走り、助けて下さった。

三人四脚の時には彼らを助けるため、二人の男性が両端に行き、五人六脚状態で助けて下さった。大地が水をゆっくり含んでいくように、自然な受け入れと理解がことばでは、言い尽くせぬほど嬉しい。

管理・指導・保護の殻から出た彼らが、どの様な人生を歩いて行くのだろう。見守り続け、時には援助しよう……。

障害児の子と歩む

森 和子さん

(飛鳥町)



わが子は、紛れもない脳性麻痺による重度の肢体不自由児。

これは、隠す余地もありません。現在、度会養護学校に通学していますが、家に閉じこもっていた生活から抜け出て六年が経とうとしています。

学校に通うことにより子供を外に出すことに抵抗感がなくなっています。

ふと振り返ると、地元の記事、ましてや散歩すら出たことがなく家の敷地内ですます程度だったのです。

障害児を持つ親にとっては子供

を外に連れ出したとき、無視されること。相手は気づかってくれていないのかもわかりませんが、それが一番苦痛だと思います。

来年は亥年。目的に向かって突進できる年。私もそろそろ拘りを捨てて、わが子を地域の人の中に出してあげたいと思っっている今日です。

「えらかったね。よう来たね。」と自然と言葉をかけてくれる、そういうあたたかい町を期待したい。

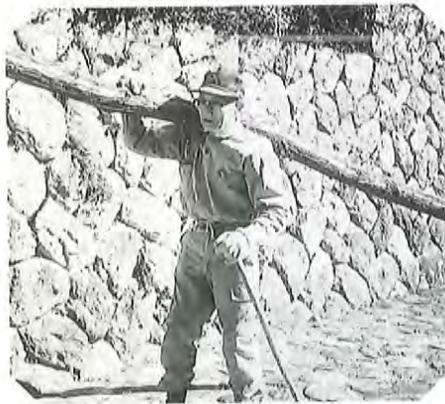


年齢を重ねて



福山むめ乃さん(91歳 飛鳥町)

今日も朝からクワを持って、自宅から二百ほど離れた畑に出ては耕し、自分で作った大根や白菜などを収穫する。
年齢を感じさせないほど、耕すクワに力が入る。四季折々の野菜を作ることが一番の楽しみである。



岡本種一さん(84歳 育生町)

朝から山に出かけ、風呂などの薪にと、間伐材を一人でかついでくる。小柄ではあるが足腰はしっかりしている。
16歳頃から書きはじめた日記は今でも書き続けているという。
くよくよせず生きるがモットー。



北岡泰樹さん(82歳 神川)

シズエさん(84歳)

結婚して60年。健康が財産とはじめたゲートボールの腕前もなかなかのもの。
たまには口げんかもするけどお互い仲良く、長生きできるようにと、身体を動かすことに心掛けている。

ことば
の窓

在宅介護支援
センター

デイサービスやホームヘルパーとともに、在宅生活する要介護者を支えるのがこの在宅介護支援センターです。

このセンターは、住民の身近なところで、高齢者等を抱える家族の相談にのり、介護用品等の展示をおこないます。また寄せられた相談に対しては、行政・社協等のサービスの適用を決め、提供する機関等の連絡調整をし、必要なサービスに結びつけていこうとするものです。

熊野市では、井戸小学校跡地に建設中の保健福祉センターと、海岸部、山間部に作る予定のデイサービスセンターに併設する予定になっています。
このセンターができれば、家庭で介護すべき人を抱える家族や本人にとって、大変心強い相談窓口になります。

今、地域の中で

住民と一致協力して福祉のまちづくり

社協日進支部

今回は、日進支部長の九鬼禮作さんに支部活動の状況についてお話を伺いました。

―支部活動の特徴について―

昭和54年に支部を結成して以来、活動のための財源を確保するため会員の加入促進に努めてきました。

現在では、殆どの世帯が加入してくれています。

山間部にあつて、若い人が結構多く、敬老会などのときには大いに場を盛り上げてくれます。

―支部事業の取り組みについて―
地域の福祉ニーズも様々で、それに対応した事業を住民と一致協力して進めていかなければと思います。

従来福祉活動（友愛訪問、環境美化活動、食事サービスなど）を充実させることも必要ですが、これからは、ふれあいのある福祉のまちづくりをめざし、助け合いのネットワークを関係団体の協力を得ながらつくりあげていきたい。そして、住民の誰もが安心して住むことができる町に取り組んでいきたい。



ヘルパーさん走る



九鬼ヘルパーさんの場合

訪問先でいろいろ難しい問題あつて落ち込んだりするときには、帰つてヘルパーに晴らしますね、と言つてほがらかに笑う九鬼ヘルパーさん。「ユーモアと笑いをもつて」周りを明るくする、豪放磊落な、たくましいヘルパーさん的一面をみる事ができた。

人、訴えの多いお年寄りがいます。でもそれは、自分の体の不自由さ、欠点をカバーしようとしていたり、心のさびしさの表現ではないか、お年寄りの口からでる言葉の本当の意味、訴えといったものを理解する必要があります、そう思うようになりました、と語ってくれた。

介護の究極の目的は「自立」だといわれています。しかし、介護におけるこの自立という問題もいろいろ難しい問題があるようです。嫁いでいる娘に介護してもらっているお年寄りがいた。しかし、実家の親の介護をしながら自分の家庭も維持していかなければならぬという大変な生活の中で、ある時「このままではとも倒れになつてしまふ」という娘のつぶやきをきいたそのお年寄りは、このままではだめだ、なんとかしなければと、自分のことは少しでも一人でできるように努力した。その結果なんとか自立して生活できるようになつたという。しかし、在宅で家族が介護する場合、時として、手厚い家族の介護が逆に本人の自立の芽を摘んでしまうこともあるのではないか、九鬼ヘルパーは自らの経験の中で、そんな思いを語ってくれた。

第5回

まちがいさがしクイズ

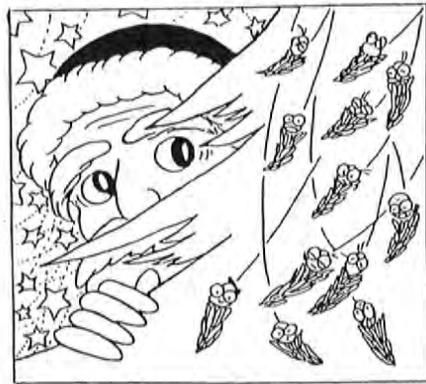
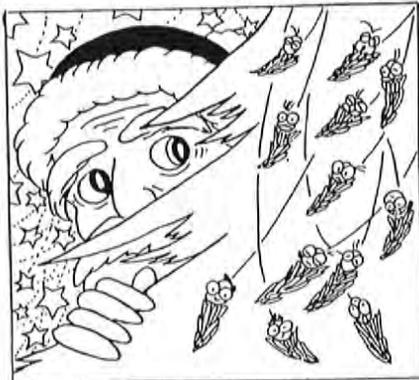
下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません、

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、12月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



お役に立ちます
困ったときに

日常生活の中で、心配ごとや悩みごとなどで困っている方、気軽にご相談ください。

専門相談員があなたの悩みの相談に応じます。

▶ 受付は、社会福祉協議会（社会福祉センター内 電話9局3053番）で、行っています。

相談の種類	相談日	相談員
法律相談 (無料)	毎月1回 第2火曜日 (但し、 7年1月は、第3火曜日) 午後1時から午後4時まで	堂前美佐子弁護士
国民年金 なんでも相談	毎月1回 第3水曜日 午後10時から正午まで	市役所国民年金係
心配ごと相談	毎週火曜日 午前10時から午後4時まで	山本一郎相談員
福祉なんでも 電話相談	月曜日から金曜日まで (但し、祝祭日は除く) 午前10時から午後4時まで	社会福祉協議会内 電話9局3053番

くまのむつび会より

20周年記念事業

「地域の障害者問題を考えるシンポジウム」

〈テーマ〉

―障害をもって生き生きと住み

続けられる熊野市をめざして―

とき…平成7年2月11日(土)

午後1時より

ところ…熊野市社会福祉センター 2階

内容…紀北作業所(精神薄弱者授産施設)の柳 誠四郎さんをお招きし、基調講演の

のあと、障害者を取りまく諸問題について当事者や介護者、ボランティアなどから様々な意見を述べていただきます。

入場料は、無料です。たくさんの方々のご来場をお待ちしています。

第4回

まちがいさがしクイズ正解者

☆まちがい箇所 10箇所

☆応募者総数 17名

☆正解者数 6名

正解されました方は、次のみなさんです。おめでとうございます。

門 定信(久生屋町)

土井 めぐみ(有馬町)

土井 幸代(有馬町)

倉本 みえ子(神川町)

中本 しずゑ(木本町)

後呂 正枝(金山町)

熊野市の人口

(平成6年10月31日現在)

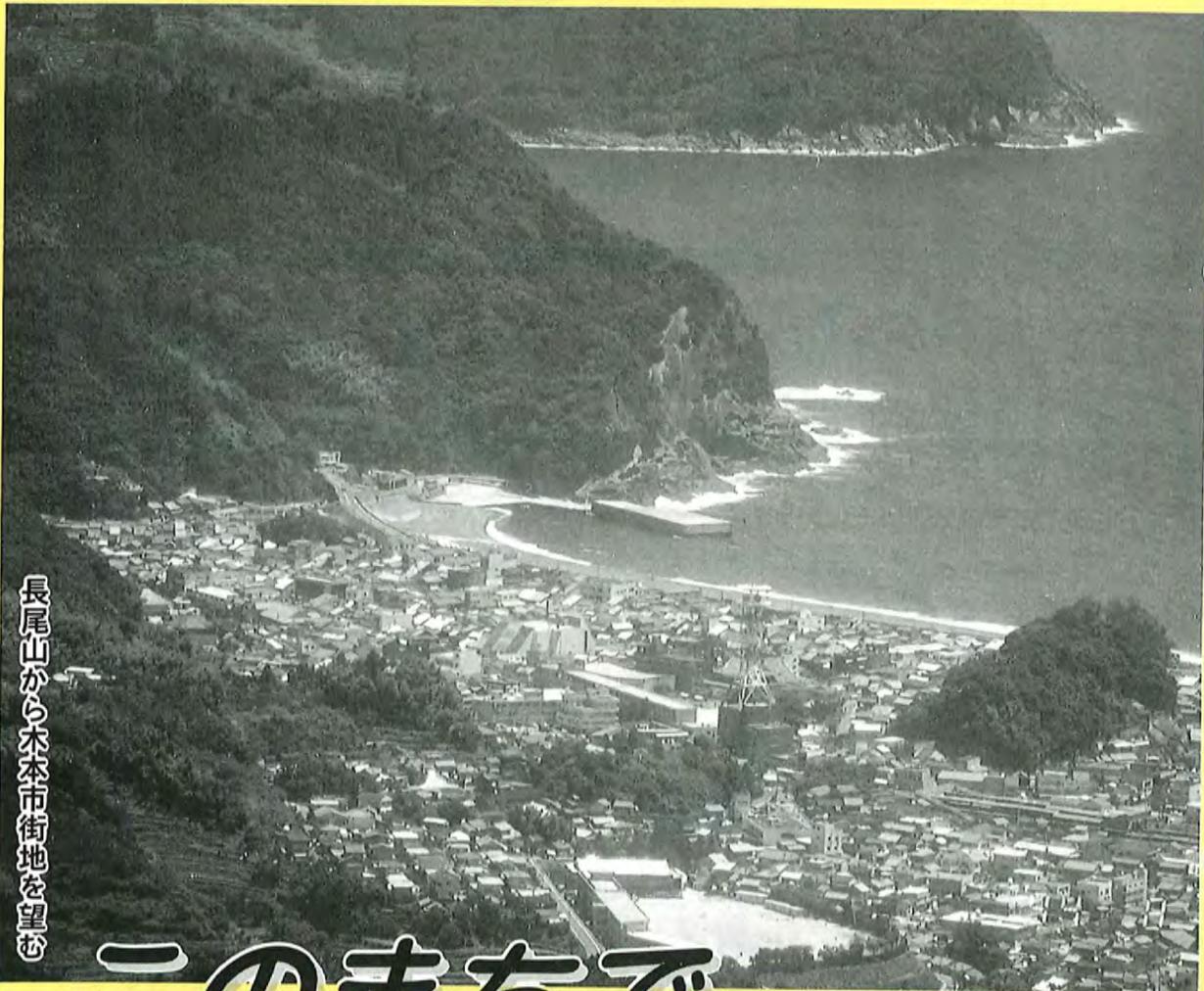
☆世帯数	9,244世帯
☆人口	22,746人
男	10,751人
女	11,995人
☆65歳以上	5,302人(23.3%)
男	2,101人
女	3,201人
☆75歳以上	2,183人(9.6%)
男	793人
女	1,390人
☆自然増減(10月分)	19人
出生	24人
死亡	5人
☆社会増減(10月分)	67人
転入	67人
転出	43人



社協だより



ふれあいネットワーク



長尾山から木本市街地を望む

このまちで

暮らし続けたい

小地域なすけあい

ネットワークって何？



ネットワークは **お年寄りが** **障害をもつ人**が

地域で住み続けるのを支えます

♥ 福祉委員はたのもしい住民の相談役

地域に多くの福祉委員をもうけます（おおむね20～30所帯に一名）。

福祉委員には、地域の福祉問題の早期発見につとめてもらい、住民の相談役として活動していただきます。

♥ ボランティアによって助けあい

地域で生活が続くことが困難になっている人たちを支えていくため、多くの住民にボランティアとして協力してもらい、助け合い活動を行います。

♥ ネットワーク会議で相談

地域の様々な福祉課題の解決や個人の暮らしを支えるために社協支部長が招集し、民生委員、福祉委員等が集まって知恵を出し合い、相談します。

♥ 各種在宅福祉サービスの活用

福祉委員、民生委員を通して、必要としている人に早くサービスが届くようにします。

ホームヘルパーや移動入浴車の派遣、デイサービスやショートステイ、訪問看護等各種のサービスを少しでも利用しやすくします。



須野町

佐川 鐵次郎さん(83歳)

青い海と潮の香いっぱいの須野海岸の駐車場に到着の後、急な階段を上りつめ眺望絶景の庭に立った。佐川翁のお宅である。若い頃は元気で上北山小椽で山林労務、トロッコ乗り名人として

働いていた佐川さん、耳、目などは老人らしい身体になったと言っていたが言葉は明確である。子供七人に孫十六人、盆と正月に帰ってくるのが何よりも楽しみですと老夫婦。「ここでは、台風が一番怖い。」と、話していた。



浦母町

濱中 こしゑさん(88歳)

港には沢山の船が日の丸や船名旗をあげて繫留、折柄の風に色とりどりの旗がはためいていた。丁度、町のお祭りとのことで賑やかな港になっていた。濱中さんのお宅を訪ねた。

浦母で生まれ育ってきたが、乗り物酔いがひどいので、あまり他の土地に出たことがなく、家の近くの畑で野菜を作ることが、楽しみだと言う。長寿の心得を尋ねると、「間食をしない。腹八分にして野菜類を沢山食べる。」だそうである。



育生町大井

杉本 あきのさん(85歳)



今日もクワを持って家の近くにある畑に向いて、野菜づくり。息子さん夫婦が隣に住んでいるが、健康なうちは自分でできることは、自分でせな。と畑を耕すクワに力がいいる。また、三度の食事もきちんととり、睡眠も充分とることが、健康の秘訣とか。「まだまだ子供の世話にならなくても大丈夫ですわ。でも、この大井地区もほとんどがお年寄り、友達がだんだんと少なくなっていくのが淋しいですわ。」と、話してくれました。

今、地域の中で

東南海地震を教訓に 助け合いのネットワークを

—社協新鹿支部—

今回は、社協新鹿支部長に就任されて5年目の川口 實さんにお話を伺いました。

—食事サービスをはじめて苦労されていることと、よかったこと—
新鹿地区は、サービスを必要とされる方の家があちこちに点在しており、その上、道路が狭いので配食するにも時間がかかってしまうことですね。又、このサービスを始めてから女性ボランティアは勿論ですが、男性のボランティアの方々にも積極的に協力をいただき、大変感謝しています。

—これからの福祉活動は、—

今回の阪神大震災でボランティアの活躍が大きくクローズアップされておりますが、新鹿地区においても昭和19年東南海地震を教訓にこれからは、社協で進めている福祉委員会を中心とした助け合いのネットワークを作り上げ、お年寄りや障害者などを見過ごすことのないよう充分な網の目を張り目くらせていきたい。
このために、区・婦人会・老人クラブ・民生委員などの協力をいただき、推進していきたい。

ヘルパーさん走る



福林ヘルパーさんの場合

今回は、有馬在住で、家庭では中学二年、小学五年のお二人の子供さんを育てながら、ヘルパーとして頑張っておられる福林好子さんにお話を聞きました。

ヘルパーになって二年余りという福林さん。始めは、ヘルパーというのは、やりがいもあるけど、とても大変だ、という話を聞いていたそうですが、ご主人の勧めも

ありこの道に入られたそうです。

仕事は大変ですが、そこから得られる喜びも大きいですよ、と次のような話をしてくれました。

育生のお年寄り夫婦で、寝たきりのおじいさんを、これもまた八十歳を超えたおばあさんが介護をしています。自分で寝返りも出来ない、食事もできないというおじいさんの状態ですから、診療所から毎日看護婦さんが訪問看護で半日来てくれています。小さな身体のおばあさんにとってはオムツを替えるのも大変です。その時は、隣近所の方が力をかしてくれているんです。それにヘルパーさんが週二回訪問しています。こんないろんな人々の力がこのお年寄りの在宅での生活を支えています。そんな中で最近、最初は点滴だけで食事もできない、褥瘡もひどかったのが少しずつ状態も良くなり、食事もできるようになってきたそうです。

福林さんは、「このおじいさんのように訪問先の方が少しでも良くなってくれるのが、何よりもうれいいですね。それに、訪問看護で毎日看護婦さんが、来てくれるというのは、とても素晴らしいですね。」と、話してくれました。

ふくちゃん



第6回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、3月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



歳末助け合い 配分先及び配分金	地区	共同募金	歳末助け合い
①生活保護世帯 204,000 円	須野	7,000	
②単援護世帯 715,000 円	甫母	44,000	16,200
③ねたきり老人 315,000 円	二木島	138,500	32,500
④在宅重度障害者 120,000 円	遊木	106,700	30,000
⑤長期入院患者 246,000 円	新鹿	244,490	117,800
⑥市内福祉施設入所者 215,000 円	波田須	54,662	35,330
⑦市外福祉施設入所者 158,000 円	磯崎	82,380	35,400
⑧交通遺児 15,000 円	大泊	58,600	53,500
⑨更生・身障医療患者 108,000 円	木本	481,900	217,800
⑩事務費 74,677 円	井戸	562,242	212,510
配分金合計 2,170,677 円	有馬	557,280	284,600
	久生屋	172,700	170,000
	金山	88,850	55,000
	育生	102,420	88,650
	神川	118,290	86,900
	五郷	226,703	253,000
	飛鳥	350,516	129,546
	その他	201,339	1,354,243
	合計	3,598,572	3,172,979

※歳末助け合いの剰余金 1,002,302円は県共同募金会に送金し次年度に活用させていただきます。

へご協力ありがとうございました
平成六年度 共同募金の結果
歳末助け合い

くまのむつび会より

「地域の障害者問題を考えるシンポジウム」を開催

障害をもっても生き生きと住み続けられる熊野市をめざしてをテーマに次のとおり開催します。多数のご来場をお待ちしております。

日時 平成7年2月11日(土) 午後1時より
場所 熊野市社会福祉センター
入場料 無料

阪神大震災への義援金募集について

阪神大震災により兵庫県・大阪府に多数の被害が生じています。

三重県共同募金会金熊野支会では、次のとおり義援金の受け付けを行っていますので、よろしくご協力をお願いいたします。

- ★実施期間 平成7年2月17日(金)まで
- ★受付窓口
 - ①熊野市社会福祉センター内
 - ②社会福祉協議会各支部長宅
 - ③熊野市福祉事務所(市役所内)

熊野市の人口

(平成7年1月25日現在)

☆世帯数	9,244世帯
☆人口	22,661人
男	10,709人
女	11,952人
☆65歳以上	5,344人 (23.6%)
男	2,128人
女	3,216人
☆75歳以上	2,211人 (9.8%)
男	805人
女	1,406人
☆自然増減(1月分)	
出生	14人
死亡	28人
☆社会増減(1月分)	
転入	59人
転出	49人

- 第5回 まちがいさがしクイズ正解者
- ☆まちがい箇所 13箇所
 - ☆応募者総数 54人
 - ☆正解者数 5人
- 正解された方は、次のみなさんです。おめでとうございます。
- 矢賀 鈴子(波田須町)
 - 大森 綾(飛鳥町)
 - 平 敏夫(五郷町)
 - 端無 聖(飛鳥町)
 - 松屋まゆみ(木本町)



波田須町の井谷太一君(新鹿中学校三年)は、三重県生涯学習センター主催の生涯学習体験作文「青少年の部」で最優秀賞を受賞しました。日常のボランティア体験活動を通じ、その感想をまとめたもので関係者から喜ばれています。

朗報

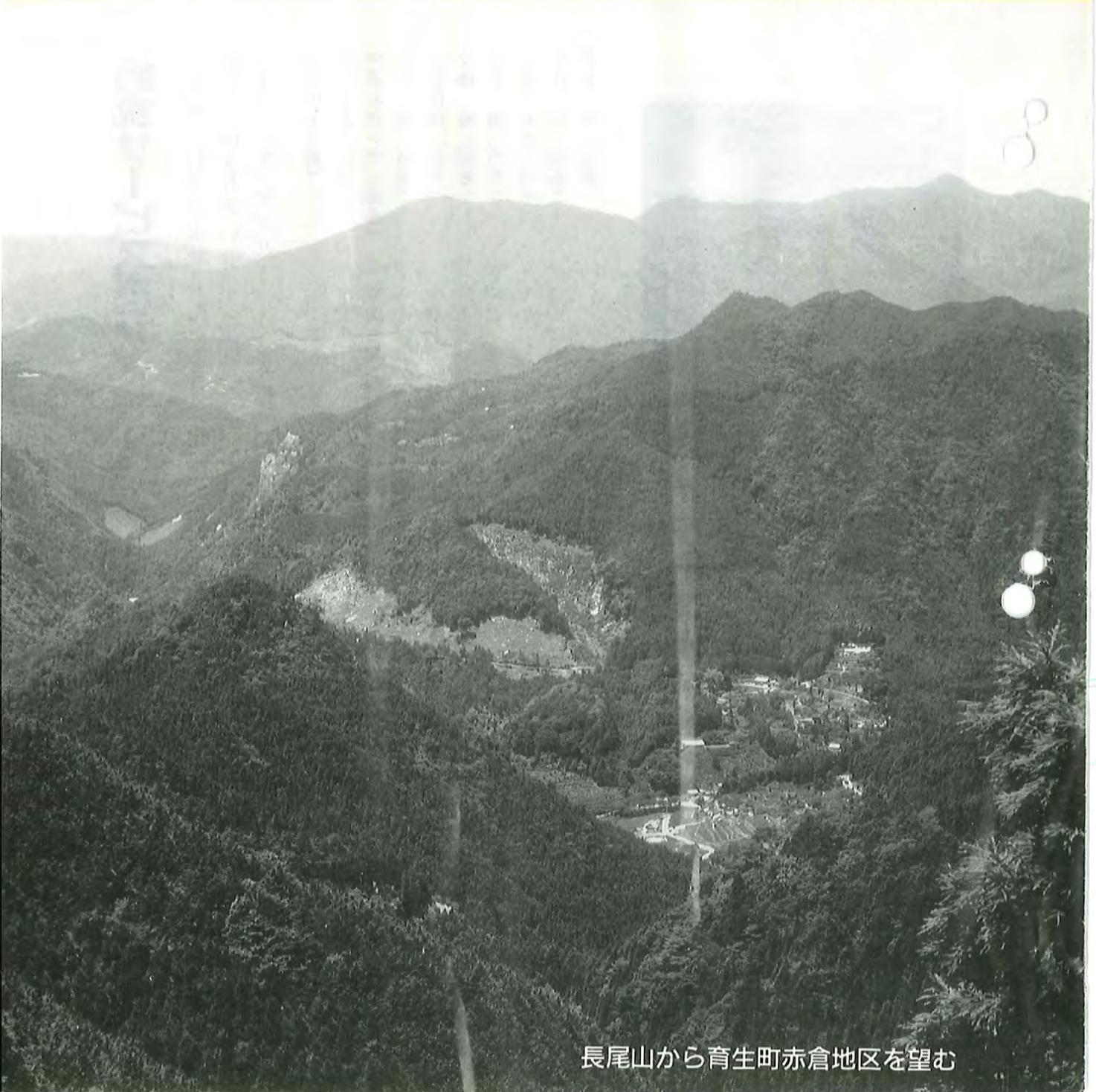
波田須町の井谷太一君(新鹿中学校三年)は、三重県生涯学習センター主催の生涯学習体験作文「青少年の部」で最優秀賞を受賞しました。日常のボランティア体験活動を通じ、その感想をまとめたもので関係者から喜ばれています。

福祉

くまの

'95
No.33
4月5日発行

熊野市社会福祉協議会



長尾山から育生町赤倉地区を望む

まちの ボランティア

給食サービスポランテニア

社協が行う一人暮らしのお年寄りなどに毎月一回ふれあい弁当を調理配食。各地区のボランティアグループががんばっています。

【グループ名】

- ▽二木島(67名)
- ▽遊木サンマ(38名)
- ▽新鹿(84名)
- ▽波田須(43名)
- ▽磯崎(59名)
- ▽大泊(23名)
- ▽きのもと(109名)
- ▽井戸(76名)
- ▽有馬(205名)
- ▽金山オレンジ(38名)
- ▽久生屋(53名)
- ▽育生(106名)
- ▽神川さくら(88名)
- ▽五郷ほほえみ(101名)
- ▽日進(114名)
- ▽小阪(72名)
- ▽両友かじか(63名)



手話サークル竹の子(3名)

毎週一回、手話の学習を通じて聞こえる人と聞こえない人との交流と福祉団体などの行事に手話奉仕。



紀伊仏教青年虚空会(12名)

毎年、老人福祉施設へ慰問と募金活動に協力。

読書会(3名)

毎月一回、目の不自由な方々に声の広報の朗読奉仕。

わたしたちの

ふれあいのまちづくり

雑草の広場 (9名)

身体に障害を負う者の会雑草の広場の行事などに参加協力。



ひまわり教室 (6名)

在宅の障害児と親に対する援助グループワーク。

虹の会 (47名)

一人暮らしのお年寄り宅へ友愛訪問及び福祉施設の行事などに参加協力。

母子寡婦福祉会 (63名)

毎月一回、老人福祉施設での清掃奉仕。



紀南視覚障害者福祉会 (11名)

老人福祉施設へマッサージ奉仕。

ボランティア活動についての
お問合せ・相談は、
熊野市ボランティアセンター

(社会福祉センター内)
電話9局3053番



遊木

濱中一治さん (88歳)

若い頃は、自分の船で、名古屋まで材木を運び、仏丸と呼ばれるくらいみんなから信頼があったという。その後、漁師を八十歳頃まで続けていたが、息子さんが後を継ぎ、今では、漁の網の手入れや趣味の水彩画に精を出している。58年間連れ添ってきた奥さんに

先立たれたが、九人のお子さんと十九人のお孫さんに恵まれ、盆、正月にはみんなが集まりにぎやかになるという。

タバコと風呂、味噌汁が好きで、特に味噌汁は毎日飲まなければ、気がすまない。

目も耳もしっかりしていて、遠くの木にとまっている鳥などの数をあてるほど。また、物知りで、子

波田須

中森尚平さん (84歳)

「とにかく、体を動かすことが好きでのお。若い頃から何でもやっていたんですわ。」と、明治生まれとはとても思えないほど、元気で明朗快活な尚平さん。釣の経験も豊富で、暇を見つけては、磯に出て釣を楽しむ、それ

が講じて人名救助がこれまで二回あるとのこと。また、十五歳ごろ劇団に従事したこともあり、地元の人材会の方に地芝居の指導もしたという。

働かなければ甲斐がないと、田んぼの仕事も最近まで一人でやっていたそうであるが、今では、奥さんと仲よく二人で、フリージアの花やホオズキを栽培し、木本、

どもたちにああせえ、こうせえと指示することもしばしばあるというが、「年寄りのいうことを誰も聞いてくれやせん」と、一治さんは、笑いながら話してくれた。



新宮方面に出荷している。健康の秘訣はと尋ねると、「早寝、早起きと一つの仕事を五、六分力で続けることが一番かいう。」と、話してくれました。

みんなおいでよ

第5回 ボランティアふれあいひろば

と き：平成7年5月14日(日) 10時より

※雨天のときは5月28日に延期

ところ：木本小学校グラウンド

チャリティコーナー

青空市場(野菜など)
ドーナツ(無料)
綿菓子(無料)
ヨーヨーつり(無料)
チャリティバザー

即売コーナー

さんま寿司
たかな寿司
ジュース
グリーンプラザ製品
身障者による物品販売

ふれあいコーナー

宝つり
風船割り競技
車椅子体験
大玉ころがし
防災グッズゲーム



展示コーナー

移動入浴車
介護用品(即売)
地震体験車
地震グッズ

お願い

チャリティバザーに物品の提供をお願いします。

- 《物品の届け先》
- ▼社協支部長宅
- ▼社会福祉センター
- 《物品受付締切》
- ▼平成7年5月8日

青空市場に野菜などの品物を提供してくださる方は、事前に社会福祉協議会事務局までご連絡ください。(電話9局3053番)

福祉のまちづくりの 実現を目指して

—— 7年度の主な社協事業 ——

■在宅福祉サービス事業関係

- ▽ホームヘルパー派遣事業
- ▽訪問入浴サービス事業
- ▽ひとり暮らし老人等、食事サービス事業
- ▽神川・育生デイサービス事業(新規)
- ▽介護用品貸出事業など

■ふれあいのまちづくり事業関係

- ▽相談事業
(心配ごと・法律・国民年金相談)
- ▽ボランティアふれあいひろばの開催
- ▽ボランティアスクールの開催
- ▽小地域福祉ネットワークづくり事業
- ▽福祉施設地域福祉活動啓発事業など

■福祉推進活動事業関係

- ▽学童・生徒のボランティア活動普及事業
- ▽共同募金・歳末助け合い運動の実施
- ▽老人・低所得者等の福祉対策事業など
- ことぶき人材センターの運営
- 熊野市善意銀行の運営
- ボランティアセンターの運営
- 各種大会の開催

よろしく申し上げます



ホームヘルパー
野口 節子



ホームヘルパー
藪本 栄子



ホームヘルパー
池野 佳代

新職員紹介

- ☆副会長 榎本 奈良一郎 (金山)
- ☆会長 大西 一弘 (木本)
- 同 田中 幹造 (井戸)
- 同 九鬼 禮作 (飛鳥)
- ☆理事 大谷 欣也 (井戸)
- 同 中島 清 (有馬)
- 同 牡戸 博 (二木島里)
- 同 大川 妙子 (遊木)
- 同 上地 英志 (磯崎)
- 同 西 昭司 (木本)
- 同 根引 正俊 (有馬)
- 同 坪田 丈夫 (久生屋)
- 同 倉屋 功 (神川)
- 同 坪井 平二 (五郷)
- 同 横平 常雄 (飛鳥)
- 同 山本 一郎 (木本)
- ☆監事 山口 好一 (井戸)
- ※敬称略

今地域の中で

住民と一丸となって明るい町づくりを

―社協大泊支部―

今回は、市老人クラブ連合会の会長もつとめられている松本卓治支部長に支部活動についてお話を伺いました。

▽大泊地区の特徴は、交通に恵まれていることと、中高年者が多いこと。また、町の六十歳以上のお年寄りが現在、九十人ほどいるが、その中で寝たきりのお年寄りが一人もいません。

▽主な支部活動と課題は、支部会員には、全世帯が加入していただき、感謝しています。

市内で十一番目にはじめた食事サービスも順調ですし、また、従来から町内の環境美化（海岸清掃道路、JR駅前など）にも力を入れてきましたが、住民の方々にも浸透してきたように思います。

小さな町なので、区や老人クラブなどの連携もスムーズで、町の行事には、積極的に参加協力しています。しかし、子どもが少なくなると淋しい気がしますが、住民一丸となって明るい福祉の町づくりにつとめていきたい。

ヘルパーさん走る



屋敷ヘルパーさんの場合

桜が咲いて、アジサイが咲くなか、秋の紅葉を見ながら、積もった雪の日も、一年間リハビリのため、歩き続けたAさん。

働き盛りで、脳卒中で倒れた後、最初は百メートルも歩けなかったのに、いまでは一キロあまりも歩けるようになった。お医者さんも、こんなに良くなるとは、とビックリしたという。夫婦でときには喧嘩しながら、はげましあってリハ

ピリに励んだ一年。それでも、ときには落ち込んで、夫婦で自殺も考えたこともあった、というご夫婦を励まし続けてきたヘルパーさんにとっても「あ、ヘルパーっていいなあ」と思う瞬間である。

こんなこともあったという。老人性痴呆のすすんできたお婆さんにお化粧をしてあげた。クリームを塗ったあと、「お婆ちゃん、口紅つけてみようか」「お婆ちゃん、きれいになったよ」というヘルパーさんの声を聞きながら、鏡をみるお婆さんの顔が生き生きとして見えたという。

もちろん、そんなところはかりではない。子どもも、ヘルパーに「もうあまり構わないで……」「できるならば施設に入ってほしい」という。しかし本人は「施設

ふくちゃんのお話



も、病院も絶対いやや、もうどうなってもいい……」と言って、まわりの家族や親戚を拒否した。孤独な寝たきりのお年寄りもいる。放っておけば、その先は誰にだっで見えている。しかし、状況を変えてだては見つけられそうにもない。今、そのお年寄りにとって唯一の支えがヘルパーさんなのかもしれない。

第7回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、4月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



(編集委員一同)



相談所開設のお知らせ

★無料法律相談

〔相談日〕 4月7日、5月10日

6月以降は第2火曜日

但し、10月と8年1月は第3

火曜日

〔時間〕 午後1時から4時まで

〔相談員〕 堂前美佐子弁護士

★国民年金なんでも相談

〔相談日〕 毎月第3水曜日

但し、8月は11日、8年3月

は第2水曜日

〔時間〕 午前10時から正午まで

〔相談員〕 市役所国民年金係

◆相談会場及び受け付けは、いずれも社会福祉協議会(社会福祉センター内)で行っています。

(電話 9局 3053番)

募集! ことぶき人材センターより

60歳以上の方でまだまだ働いてみたい方を募集します。

仕事の内容: 空き地の草刈り・草取り

家の修繕・ミカンの摘果など

賃金: 仕事の内容により異なります。

(一時間550円~1,000円)

問い合わせ: ことぶき人材センター(社会福祉センター内)

〈電話 9局 3053番 担当 島田まで〉

第6回

まちがいさがしクイズ正解者

★まちがい箇所 11箇所

★応募者総数 35人

★正解者 6人

正解されました方は、次のみなさんです。おめでとうございました。

竹内 清月(二木島里町)

西 千ヨノ(飛鳥町大又)

濱口 英子(遊木町)

和田由香利(飛鳥町大又)

深田 千寿(井戸町)

大徳 匡俊(久生屋町)

※敬称略

熊野市の人口

〈平成7年3月30日現在〉

- ☆世帯数 9,095世帯
- ☆人口 22,449人
(男 10,566人・女 11,883人)
- ☆65歳以上 5,362人(23.9%)
(男 2,142人・女 3,220人)
- ☆75歳以上 2,220人(9.9%)
(男 802人・女 1,418人)
- ☆自然増減(2月分)
出生 6人・死亡 28人)
- ☆社会増減(2月分)
転入 58人・転出 65人

編集後記

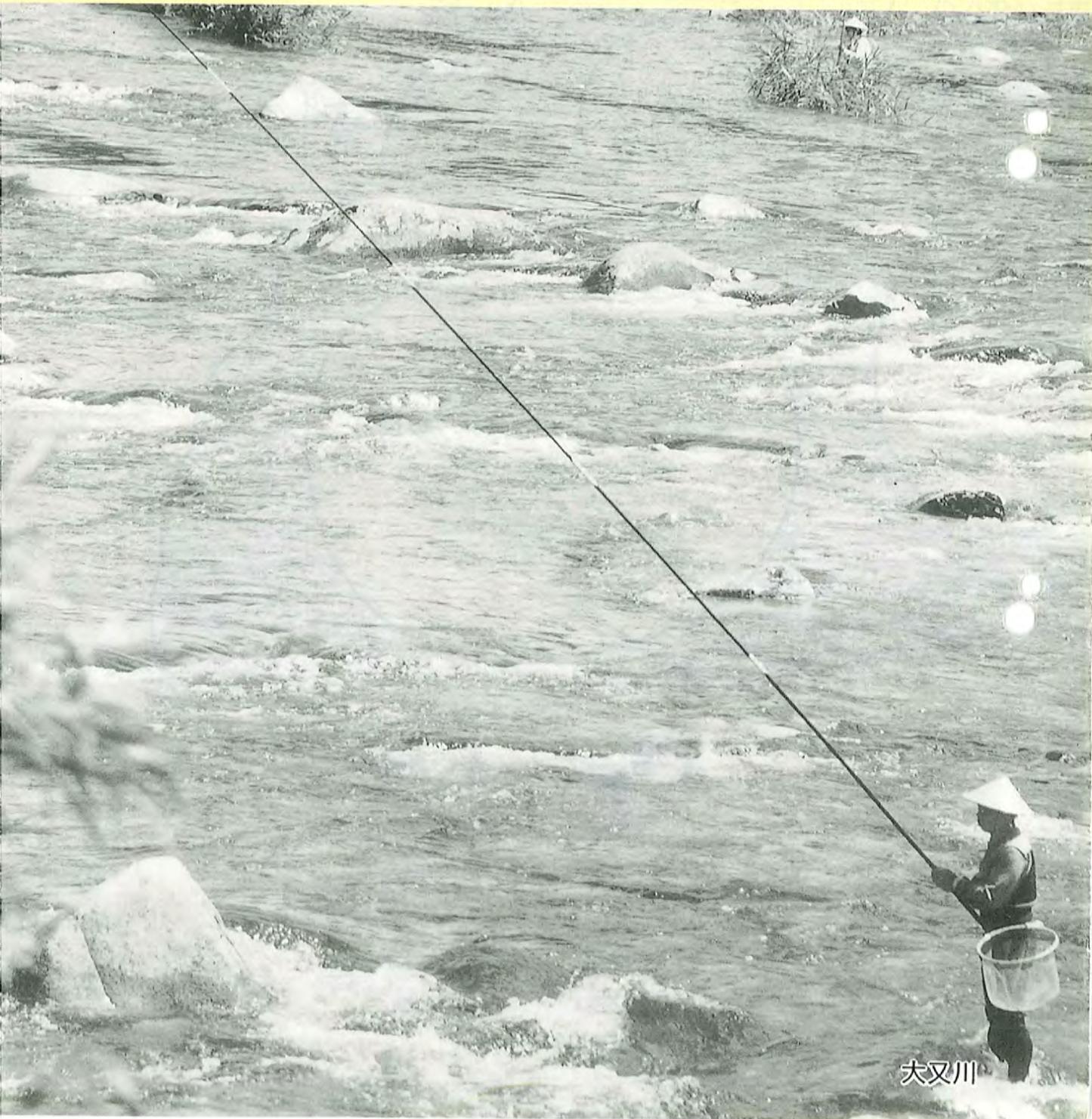
これまでの「社協だより」を今月号から「福祉くまの」としてお届けすることになりました。表紙デザイン、内容ともに新しくして市民の福祉広報誌としてお届けいたします。

福祉

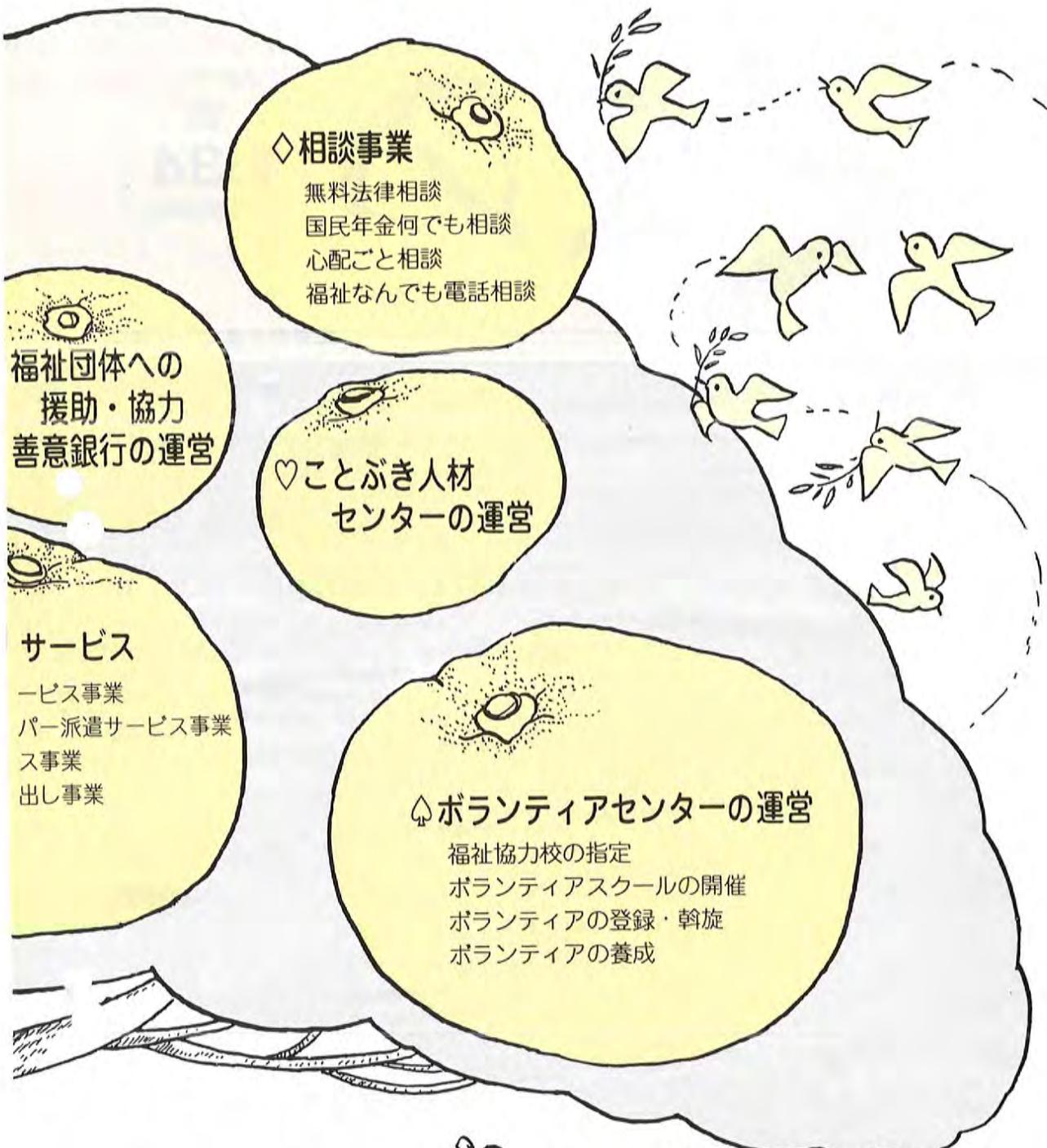
くまの

'95
No.34
6月5日発行

熊野市社会福祉協議会



大又川





◇ふれあいのまちづくり事業

小地域助け合いネットワークづくり
地区福祉懇談会の開催
福祉委員
ボランティアふれあいひろば

♣福祉資金貸付事業

生活福祉資金
助け合い金庫

♡社協支部活動

給食サービス
敬老会の開催
友愛訪問活動
環境美化活動

♣在宅福祉

訪問入浴サ
ホームヘル
デイサービ
介護用品貸



社協って
なんだろう？



【新鹿町】

和田 久廣さん (85歳)



とっても広い屋敷に、安政年間建築という由緒ある住宅は、ご主人の豊齢とともに訪れた私たちの前に輝いてみえた。
第二次世界大戦中は軍需工場に徴用されて東京、大阪で働いていたが敗戦により帰郷。山林経営に勤めながら現在に至っている。
熊野市誕生時は、合併市議会議

員としての仕事をさせてもらってきた。

新宮市出身で7歳年下という上品なせつ奥さんとの間に三人の子供、今は関東で生活され、滅多に合うこともできず、たまに電話で近況を伝え合うくらい。

一人また一人と共に頑張ってきた友人知人も他界し淋しいですと語ってくれる表情には、何故かしら豊かさをたたえていた。



健康維持には身体を動かすことですとキツパリ言い切る。

相撲とか時代劇のテレビに心をなごませるのが楽しみですよと、ニコリと奥さん共どもの笑顔は、元氣老人のお手本と思った。

【大泊町】

藤本 えいさん (89歳)



大泊で生まれ育ったが、若い頃は大阪で暮らしていた。
子供五人を残して五十年前、夫



に先立たれたので、子育てに明け暮れる生活がえいさんの生涯であった。それこそ毎日の暮らしをまともにつけていくために苦しく、厳しい重労働に耐え、夜明けから日暮れまで何くそとやり遂げ、乗り越えて今日まで生きたという。

大泊に生まれ育ってきた下根性が助けてくれたのでしょうか、おかげで子供たちも立派に成人、孫も八人となり元氣で、暮らしてきているのが何より嬉しいんです。今は周囲の人のあたたかい心に支えられて過ごしていますと、苦しかった昔の生活を思い出してか、目に溢れる眼鏡もくもった。

隣には、障害を身に生まれたという、欽三さんも、人生のお手本のような母の話に聞き惚れていた。梅雨の曇りの隙間からもれる陽が私たちが座している部屋の中に射し込んでいた。

「幸せ」を見る目

有馬町 中村みちこ



ある春の日の午後、農協まで行って帰ってきたところへ「み

つちゃんおるかいの」と聞きおぼえのある声。そして私の部屋に入って来たのは、やはり社協のSさん。彼がこの部屋に現れるのは大体原稿依頼のご用向きなので、内心「又々」と思ったら、やっぱりそう。しかも今度は、二ヵ月に一回偶数月に発行の「ふくし・くまの」へ、これからはしばらくの間毎回千二百字程度書いてほしいとの事。

さて困った。色々な事に縛られ、家の中での生活がほとんどの私だから、そんなに毎回紙面を独占する程の話題や経験などある筈もない。しかし相手はこんな私の事をよく知っている筈で、それを承知で依頼に來られたのだろうし、実は私もある機関紙の編集を担当しているから、原稿集めの辛さは骨身にしみて知っている。だからこのての頼みには弱く、さっぱり自信のな

いまま引き受けてしまったのだが……。なぜここにこのような舞台裏の事から書き始めたのかというと、私が色々な雑務を引き受けるので、ウチの連中の中には、私がおだてられていい気になっているんじゃないかと心配して、盛んにブレイキをかけて来る。しかしいくらおだてられても、小学校も半分たらずしか行っていない重度障害者の自分のたりなさやダメさ加減は、私自身が一番よく分っている。ただ日頃色んな人のお世話になり、お心にかけていた

できるだけの事をするのは人間として当然だと
思う。今そんな気持ちでワープロに向かってい
る。

今、日本中を騒がせているオウム真理教の信
者達の入信の動機は、物事が自分の思うように
ならないじれったさや、世の中の矛盾に対する
反発心、又、平凡な毎日の繰り返しにたいくつ
し、何かの刺激を求めて……など色々なようだが、
中には、経済的には何不自由なくほしい物は何
でも手に入り、やりたい放題の事ができるとい
う恵まれ過ぎた環境の中、簡単に何でも思い通
りになるので、その後にはいつも空しさだけが
残った……などと告白する人がいるのは驚いた。
いったい人間の幸せって何なのだろう？ どんな
に周りからうらやましがられる人でも、その本
人にとっては必ずしも幸せとは限らない。「隣
の芝生はあおい」ということわざがあるが、小
さな子供達でも、例えば二人の兄弟に同じよう
な物を与えても、どういふ訳か互いに相手のも
のがよく見え、奪い合う。私自身
も現に二つ違いの妹と共にそのよ
うな子供時代を送って来た。そし
て次の時代を担う甥や姪達も又同
じような格闘の中で育っている。
まるで人において自分ないもの
が「幸せ」であるかのような。多く
の人が自分の現実に満足できない
のは、「幸せ」を見る心の目も自分
の内側ではなく、外側に向けてつ
いている証拠かも知れない。



「ふくちゃん」

6月・7月・8月の
相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談

〔相談日〕 6月13日
7月11日

8月8日

〔相談員〕 堂前美佐子弁護士

〔時間〕 午後1時から4時まで

◎国民年金なんでも相談

〔相談日〕 6月21日
7月19日

8月11日

〔相談員〕 市役所国民年金係

〔時間〕 午前10時から正午まで

★相談会場および受付は、いずれも社会福祉協議会（社会福祉センター）で行っています。

（電話9局3053番）

第8回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、6月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



ご利用下さい

ホームヘルパー派遣サービス事業

派遣対象：病弱なお年寄りや寝たきりのお年寄り、障害者の方をかかえ、援助を必要とする家庭。

サービス内容：○食事・入浴・清拭などの介護
○買い物・掃除・洗濯などの家事
○相談・話し相手など

サービス時間：1回1時間30分～3時間程度

サービス回数：週1回～3回程度

申し込みと問い合わせ：地区民生委員

市福祉事務所（9-4111内線165）

市社会福祉協議会（9-3053）

第7回

まちがいさがしクイズ正解者

★まちがい箇所 11箇所

★応募者総数 69人

★正解者 8人

正解されました方は、次のみなさんです。おめでとーうございました。

松田美恵子（井戸町）

徳山 徳子（井戸町）

土井 幸代（有馬町）

久保 安子（井戸町）

久保 弘嗣（井戸町）

峯 礼士（井戸町）

水上 敦子（磯崎町）

柳本 尚美（井戸町）

※敬称略

熊野市の人口

〈平成7年5月1日現在〉

- ☆世帯数 9,279世帯
- ☆人口 22,610人
(男 10,669人・女 11,941人)
- ☆65歳以上 5,369人(23.9%)
(男 2,158人・女 3,238人)
- ☆75歳以上 2,419人(10.7%)
(男 809人・女 1,610人)
- ☆自然増減(3月分)
出生 17人・死亡 18人
- ☆社会増減(3月分)
転入 139人・転出 355人

編集後記

目にしみる新緑。陽射しも日ごとに強くなって、万物のいのちの躍動をはじめる季節、「福祉くまの」編集委員一同も一層張り切っています。

今回は、「川」をテーマに取り組み、表紙の写真に大又川の清流を掲載させていただきました、若鮎おどる清流に竿さす釣人の姿も見えるようになって賑やかさと楽しさが広がっています。

みなさんからのご意見、ご叱声をお待ちしています。

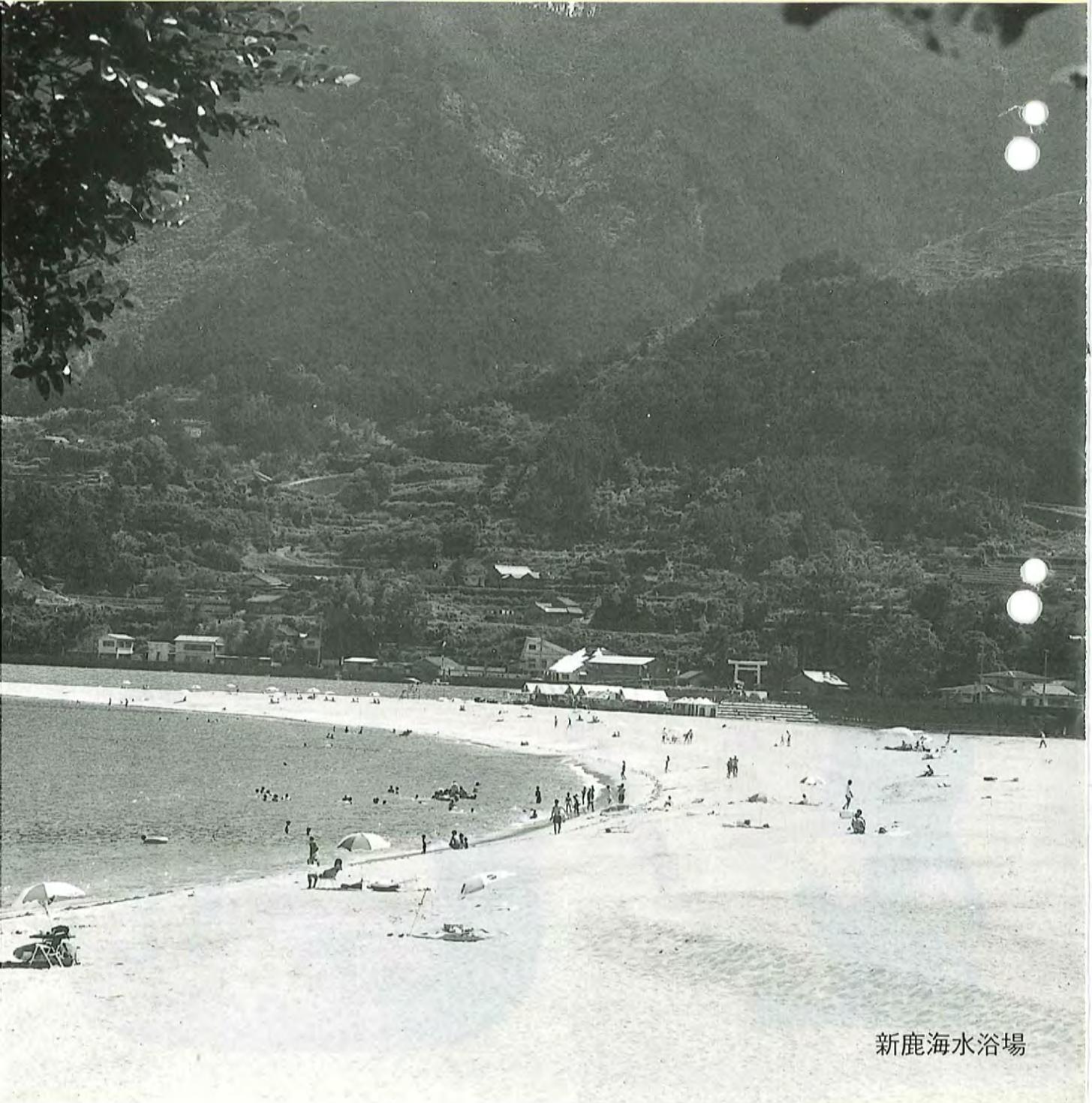
〔坪井〕

福祉

くまの

'95
No.35
8月5日発行

熊野市社会福祉協議会



新鹿海水浴場

〈福祉施設〉

施設の名称	所在地	電話	備考
たちばな園（特老）	有馬町	05978-9-5565	短期入所 可
宝寿園（特老）	紀宝町	0735-21-0903	◇
エイジハウス（特老）	御浜町	05979-2-4320	◇
松濤園（養護）	御浜町	05979-2-1032	◇
むつみ苑（老保）	久生屋町	05978-9-2769	デイサービス、短期入所 可
紀南ひかり園（更生）	有馬町	05978-9-4375	短期入所 可
グリーンプラザ（授産）	有馬町	05978-9-5658	

(注) 特老—特別養護老人ホーム、養護—養護老人ホーム、老保—老人保健施設、更生—精神薄弱者更生施設
授産—精神薄弱者授産施設（通所）



お年寄りや身体の不自由な方、それらの方々を介護されているご家族の皆さん。

今回ご紹介しましたサービスの他に様々な福祉の制度やサービスがご利用できますので、社会福祉協議会、市役所（福祉事務所）、地区民生委員・福祉委員にご相談ください。

社会福祉協議会 9-3053

福祉事務所高齢者対策室 9-4111（内線165）

さあ、みんな出発！



おねえちゃん
車イスって
大変だね



おいしい！



新鮮な野菜だよー

福祉情報

ホームヘルプサービス



介護福祉機器の貸出し



移動入浴サービス



社会福祉協議会(社協)へ
お気軽にご相談下さい。

福祉資金の貸付け



家の修繕など





飛鳥町小阪

中田 久さん(90歳)



夫婦そろって卒寿という中田久翁宅を訪問した。若い頃から句作と読書を友とし、今は仏教関係の本に親しみ。弱い者を捨てない社会を願っていると話されるとおり、書庫にはズラリと図書が並べられていた。

五十年間も特定郵便局長として、事務業績向上に職員と共に精励、

その業績が高く評価されて平成五年六月に勲五等瑞宝賞の榮譽に輝いた褒章額が床の間に飾られていた。健康長寿の秘訣を尋ねると「物事にとらわれないこと。心も身体も無理しないようにいきることです」と、明言する笑顔には、人生九十年を生き抜いてきた値打ちが輝いているように感じた。

◇最近作の一句◇
 ◇老碌をかくすすべなく夏座敷



◇夏陰やこ、もオウムの話かな
 七十歳の頃、三重大学病院に献体を申請し、受付け登録されているとも語ってくれた。

飛鳥町大又

更屋 久寿恵さん(87歳)



十八年前に主人に先立たれたと話す久寿恵さんは八十七歳。
 地域の環境美化作業に積極的に頑張ってくれた人だと感謝される

だけあって表情は明るく言葉も明確で元氣印そのもの。「若い頃にゃ一町歩の水田を作ってきた。苗代育てから取り入れまで、そりゃ大変じゃったがたくさんの人たちとふれあいがあった楽しかったのし。今の百姓は機械じゃよって人とのふれあいが出来にくうなったわい」と、往時を追憶していた。

健康の秘訣は「無理をせず、自分の好きなことをして身体を動かすこと」と、ニッコリと答えてくれた。

今は遠くに住む同級生と電話で話し合うのが一番楽しいと語ってくれた。



施設見学、欣ちゃんツアー

有馬町 中村みち子

梅雨真っ只中の6月25日、雑草の広場関係者30名程が、津市の身体障害者施設、心豊苑を見学。ここには私達の仲間の一人和田欣二さんが一年程前から入所している。

段々と障害が重くなり、足こぎ四輪車から電動車椅子に乗り換え、N先輩が敬意を表して言ったところの「しびんを持ったセールスマン」となってからも頑張り続け、私達の前で障害に甘えない生き方を実践して教えてくれた彼だが、次々押し寄せる悪条件の波に抵抗しきれなくなり、施設生活を余儀なくされた。皆さんの中にもあの彼の姿が見えなくなった事にお気づきの人もいるだろうが、彼と親交のあった人が津の方に行った時には是非訪ねてやってほしい。

津市街から少し外れた緑多い自然美豊かな環境の場所に、子供の養護施設と隣接して建っているのが「心豊苑」。玄関の上に十字架のマークがついていたから、カトリックかキリスト教会が関係していると想像できる。私達が着いたのは昼食時だったから、我らがワダキンさんもみんなと一緒に食堂にいて、その彼を一番先に見つけたのがフジキンさんでキンちゃん同士のご対面。積もる話は後回しにして、私達は早速職員の方に案内されて施設の中を見学。椅子に座ったまま入れる機械仕掛けのお風呂



場にみんなの注目が行ったようだ。入所者の部屋は一人部屋と二人部屋があり、ある程度のプライバシーも守られそうな理想に近い感じ。中はベッドが置かれていたり、畳が敷かれていたり、一人／＼のニーズに合わせているようだ。部屋の入り口には入所者の名前と一緒に、たんぼぼやなど花の名前が書かれていて、それが各部屋の称号らしい。リハビリ室の大型テレビでここの生活を紹介するビデオを見せていただく。運動会や忘年会などの年間行事や、趣味を活かした活け花や茶道、英語クラブなど仲々楽しそう。ほとんど全面介助を要する入所者50名に対し、平均年齢21歳という若い介護職員25名が毎日の生活を支えている。25名と言っても、交替で定期休暇も取るだろうし、昼間と夜間の交替制もある筈だから、常時平均すると一人の介護人が四人位の入所者を担当する計算になると思う。

見学の後、ワダキンさんもそこから連れ出し、手配してあったファミリーストランでランチタイム。彼の「心豊苑」での生活も一年余りになるから、新しい友達もでき楽しくやっていると聞かすが、長年活動を共にし、色々なものを分かち合ってきた私達の訪問を喜んでくれているようだった。食事の後みんなで彼を送ってもう一度「心豊苑」まで。

親の高齢化に伴い、他にも施設行きを余儀なくされている仲間が出て来ているが、たとえそうであっても家族や親友達に気軽に訪ねて来てもらえるよう、是非近辺に施設を願う。そしてワダキンさんをもう一度この故郷へ呼び戻してあげたい。

猫と車いす ①

久生屋町 中田重顕

仁木悦子という女流推理作家がいた。

脊椎カリエスによる寝たきりの障害者だった。しかし、彼女はそれを売り物にすることはなく、やがてプロの作家として認められるから、国立身障者センターで手術し少しよくなってそこで知合った後藤安彦という障害者の男性と結婚。そして数々のベストセラーを出して五十八歳で死亡する。

その夫の後藤安彦氏が「猫と車いす」という題で妻の思い出を書いているが、夫婦の性的な場面を実に素直にしかも明るく描いているのが印象的である。仁木悦子は普通のセックスができないのではないかと不安がっていたが無事それができるとわかるととても喜んで好きになったという。

障害者とセックスの問題は今でもタブーとされがちだが、人はだれでも性的満足を得る権利がある。いや、この問題に権利などという用語は似合わない。だれもが愛しあって幸せになれるはずだ、と言うべきであろうか。へつづく

9月・10月・11月の
相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談

〔相談日〕 9月13日
10月17日

11月14日

〔相談員〕 堂前美佐子弁護士

〔時間〕 午後1時から4時まで

◎国民年金なんでも相談

〔相談日〕 9月20日
10月18日
11月15日

11月15日

〔相談員〕 市役所国民年金係

〔時間〕 午前10時から正午まで

★相談会場および受付は、いずれも社会福祉協議会（社会福祉センター）で行っています。

（電話9局3053番）

第9回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

締切日は、8月20日です。

正解者の中から抽選で、10名様に粗品をプレゼントします。



第5期ボランティアスクールを開講

ボランティアをやってみたい方、関心のある方ちょっと体験してみませんか。（希望される開催日の参加も可能です。）

開催日	時間	場所	テーマ
8月7日	13:30~15:30	福祉センター	ボランティア活動って？
31日	10:00~15:30	〃	在宅介護を学ぼう！
9月26日	10:00~15:30	紀南ひかり園	福祉養護の理解を深めよう！
10月20日	13:30~15:30	福祉センター	介護の練習をしてみよう！
11月9日	13:30~15:30	福祉センター	手話を学ぼう！
12月12日	13:30~15:30	たちばな園	福祉養護の理解を深めよう！
1月25日	13:30~15:30	むつみ苑	老人保健養護の理解を深めよう！
2月14日	13:30~15:30	福祉センター	私たちにできるボランティア活動を考えよう！

※申込み、問い合わせは、社会福祉協議会（TEL9-3053）へ

第8回

まちがいさがしクイズ正解者

★まちがい箇所

8箇所

★応募者総数

60人

★正解者

10人

正解されました方は、次のみなさんです。おめでとーうございませした。

- 山本 総子（有馬町）
 - 山下 則幸（井戸町）
 - 山口 陽介（井戸町）
 - 平 よね（五郷町）
 - 木下やえの（有馬町）
 - 東 志保（井戸町）
 - 水上 次生（磯崎町）
 - 大森 陸（飛鳥町）
 - 鳴崎なほ子（磯崎町）
 - 田畑なら子（井戸町）
- ※敬称略

熊野市の人口

〈平成7年7月1日現在〉

- ☆世帯数 9,277世帯
- ☆人口 22,576人
（男 10,643人・女 11,933人）
- ☆65歳以上 5,388人(23.9%)
（男 2,151人・女 3,237人）
- ☆75歳以上 3,617人(16.0%)
（男 1,309人・女 2,308人）
- ☆自然増減（6月分）
出生 17人・死亡 14人
- ☆社会増減（6月分）
転入 56人・転出 60人

編集後記

情報の氾濫している今日この頃、編集委員一同、隔月（偶数月）発行に取り組んでいます。去る、五月十四日開催のボランティアふれあいひろばには絶大なるご協力により盛会裡に終了することができました。

福祉への関心が高まりつつありますが、私たちも限られた予算とスタッフでの編集ですが、最近では、本誌に対する感想や意見もあり心強く思っています。今後は、皆様のご意見をいただく明るく楽しい福祉のまちづくりにも少しでも役に立てばと思っています。

（大西）

福祉

くまの

'95
No.36
10月5日発行

熊野市社会福祉協議会



稲刈り(飛鳥町小阪にて)



関空からロンドン経由で13時間余り、デンマークの首都コペンハーゲン空港に着いたのは22日夜の9時半。日本では23日の朝を迎える頃。「思えば遠くへ来たもんだ」と道連れという言葉に「うーん」とうなずく私。

マークに行く

社先進国の旅



老人ホームのティータイム。入所している父上と面会中の息子さんに「ご兄弟のようですね」と言ったら、ムツとして「オレがそんな年寄りに見えるか!」。 「いえ、お父上が若く見えるんですよ」とあわててつけ足し…。

23日の午前中は観光。人魚姫の銅像が浮かぶ海辺は真夏とは思えぬ程の肌寒さ。恋人の為に声と足を交換した人魚姫。私も大事な足を取られてもいいと思えるほど素敵な男性に出会ってみたいな。



車イスごと乗り込めるリフト付きのバスで、あちらこちらの施設などを見学。このバスの中で講義もあり、教室にもなって、ふと“窓ぎわのトットちゃん”の電車の教室を思い出す窓ぎわのみっちゃんでした。



老人ホーム(ブライエム)はすべて個室、そこには永年使いなれた好みの家具が並べられ、お年寄りの生活の継続性を保障している。そこに暮らすお年寄りは「住民」とよばれている。なぜなら、ブライエムは老人を施設に収容した集団生活ではなく、独立した個人の生活の場であり、職員は住民が生活をしていくお手伝いをしているのだという。

もちろん寝たきりのお年寄りの姿を見ることがなかった。

帰りはパリ経由で、30日朝予定通り
関空着。その夜無事に我家へ帰り着く。
大勢の人に支えられたこの初めての海
外研修を、これからの何かに結びつけ
なくては…。さあ秋風吹く行動の季節。
皆さんも一日一日を大切にね。



車いすデソ

みち子さん福

明るい夜は若い長期留学生達とバレ
ーボール。車イスごとコートに入れて
もらい、チーム仲間とその場で生み出
した変則三段サーブを相手コートにお
見舞い。それで見事ワンポイント取っ
たというウソのようなホントの話。



写真の女性は筋ジストロフィーで、
まったく車椅子の生活。しかし、市会
議員選挙に立候補したり、ヘルパーを
伴って海外旅行にも行くという。それ
を支えているのが彼女自身が雇用した
六人のヘルパー、もちろんその費用は公費でまか
なわれている。

訪問看護、日本の十倍
以上の数のホームヘルパ
ー、豊富な各種の補助器
具、給食等々。デンマー
クの在宅での生活を支え
るサービスは多様で厚
い。



ケアつき住宅に住む聾啞者の女性は少し足も
不自由だが、毎日バイクで買い物に出るとか。
私も心ゆくまま道草しながら、町の気ままな一
人歩きを楽しんでみたい。それを妨害するの
は一つの壁を破れない私自身の弱さ。



デンマークの高齢者や障害
者の生活の場は多様だ。ブラ
イエム、ケア付き住宅、老人住
宅、在宅、そのどこに住むかは
本人の自己決定である。そつ
した多様な暮らしを支える考
え方が「障害を持つ人や高齢
者の生活条件を可能な限り健
常者に近づける」というノ
ーウェイ・ソリューションである。





金山 久保 道吉郎さん(88歳)



本本町で丁稚奉公し、その後独立して、商売を始めるも、戦争によりその商売をやめてしまったが、終戦後は物もなく百姓をしながら、また奥さんにもつらい仕事をさせながら、なんとか子どもたちを育て、生計をたててきましたと、苦労を共にした奥さんを側に当時を

振り返る。

「80才までは、絶対に生きたいと念じながらもここまで生きてきました。今は生ある限り体を大切に、お国のために尽くしていきたい」と、一日一日を15年ほど前から営んでいる雑貨店を奥さんと二人で仲睦まじくきりもりしながら悠々自適の生活を送っている。健康の秘訣はと聞くと「朝昼晩と牛乳を欠かさず飲んでいること



と、食事はよく噛んで時間をかけて食べていること」だそうです。

久生屋 橘 清一さん(85歳)



6年前に久生屋に越してきて、住居を構えたという清一さん。久生屋に移り住むまでは、江南市で印刷業を営み、順調に事業を拡大し、成功をおさめていたが、

暑さ寒さに弱いこともあって、紀州へたびたび旅行にきていた際、現在の土地を見つけたそうで、温暖な気候と静かな環境、人情味豊かな土地柄が大変気に入っているという。

健康の秘訣はと尋ねると、「規則正しい生活をおくること。」と、耳の痛い返事が返ってきた。

もっぱらの趣味は、読書と音楽鑑賞(特にクラシック)で、風呂場にもスピーカーを取り付けるほどである。

4人のお子さんたちもそれぞれ独立され、現在は、利子夫人と和気合い合いと余生を過ごしている。



★あなたの地区の

福祉委員

①

福祉委員は身近なあなたの相談役。地域の福祉問題を早期に見出し、民生委員につなぎます。

お気軽にご相談ください。

今回、福祉委員を順次紹介します。

— 福祉委員のみなさん —

〈二木島地区(里を含む) 14名〉

川上久代、片山鈴子、和田みすよ
内田智子、萬浪美智、更谷やすゑ
細川節子、竹内茂美

井本和子、平石修子、波戸ちかゑ
川本節、多川美子、浜地喜代子

〈遊木地区 13名〉

浜口美津子、森下花子、西口千尋
大川京香、畑中みすず、浜地和子
畑中一巳、森下ちか代、大谷正代

浜田みよ、大川まち子、浜田信子
森下郁代

〈新鹿地区 22名〉

山崎つや子、三石昭美、山口たみ
山口たつよ、前川ふさ、植地貴子
横山ひな、鈴木るりゑ、山口敏子
水口美千代、宇衛秋子、大谷清子
下和田節子、阪本瑛子、佐野洋子
鈴木美和子、永用清子、橋本まり
西地みち子、津田知恵、橋本濱子
田岡あい子

〈磯崎地区 10名〉

大屋かめの、宇城静子、辻本和代
水上さゆみ、上地ひさ子、川口か
つ子、山口香苗、山本みす代、浜
上三千子、宮城みさの

〈井戸地区 34名〉

岡崎とみ子、前田ゆき子、西地な
ら子、大江ときゑ、小西ミヤコ、
西村圭子、倉谷かおる、河上洋子、
河上和義、向井道子、片岡寿子、
田垣内育子、杉本生江、向井田伊
代子、松田はなえ、峪口みち子、
横山ひでよ、橋本美美子、大谷清
研屋ヨシ子、向井千秋、西邦次、
東久代、長島孝美、和田千代子、
榎本順子、松田かよ、田中幹造、
小瀬川忠興、浜中節子、西日出子
朝尾友子、山田千江、三角田慎二
〈金山地区 15名〉
里口博一、須崎嘉啓、須崎誓晤、
枋尾久司、枋尾喜正、大西三春、
大西篤、久保充、久保力、前川清
笹本直美、島田すが、榎本ちづか
大西博、久保育子

(敬称略、順不同)

猫と車いす ②

久生屋町 中田重顕

昭和三十年代、僕は現雑草の広
場会長の谷川君らと草の実学園に
いた。僕も谷川君も仲間たちも就
職の不安におののいていた。働く
ことよって人間として生きられ
るのだと教えられていたし、そう
思ってもいた。高度経済成長の波
がやってこようとする時代、その
意識は当然でもあった。そして仕
事のどうしても見つからない仲間
はそれを恥じて同窓会などにも出
てこなくなっていた。

あれから、四十年近くがたった。
先日、津市で障害をもつ青年たち
のグループと話し合う機会があつ
た。彼らに今何が悩みと聞いてみ
ても就職への不安は語らない。「健
常者でもアルバイトなどで就職
しない人が増えていますから」と
明るく言う。

「君たちに僕らが味わった就職へ
の暗い不安がないのだとすれば、
それだけで不幸が一つ減ることに
なっているわ」

僕はそう答えたのだが、それが
いいことなのかどうかは自信がな
かった。

〈つづく〉

ふくやしの話



12月・1月・2月の

相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談

〔相談日〕12月12日

8年1月16日

2月13日

〔相談員〕堂前美佐子弁護士

〔時間〕午後1時から4時まで

◎国民年金なんでも相談

〔相談日〕12月20日

8年1月17日

2月21日

〔相談員〕市役所国民年金係まで

〔時間〕午前10時から正午まで

★相談会場および受付は、いずれも社会福祉協議会（社会福祉センター）で行っています。

（電話9局3053番）

第10回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。



正



誤

始まりました 赤い羽根共同募金運動

●10月1日～11月30日 共同募金

●12月1日～12月20日 歳末たすけあい

各地区で募金活動が行われますので、皆さんのあたたかいご支援とご協力をお願いします。

— 共同募金会熊野支会より —

第9回

まちがいさがしクイズ 正解者

★まちがい箇所 12箇所

★応募者総数 68人

★正解者 5人

正解されました方は、次のみなさんです。おめでとうございました。

■佐田 富江（五郷町寺谷）

■今西 睦美（五郷町寺谷）

■畑地 あい（神川町神上）

■畑地 巧（神川町神上）

■峯 礼士（井戸町）

※敬称略

熊野市の人口

〈平成7年9月13日現在〉

☆世帯数 9,189世帯

☆人口 22,439人

（男 10,586人・女 11,853人）

☆65歳以上 5,403人(24.1%)

（男 2,167人・女 3,236人）

☆75歳以上 2,244人(10.0%)

（男 798人・女 1,446人）

☆自然増減（8月分）

出生 11人・死亡 18人

☆社会増減（8月分）

転入 56人・転出 73人

編集後記

今年の夏は日照続きで雨が降らず、水不足で家庭・農家はピンチでした。台風十二号も沖を去り、少しの雨で被害もなく豊作のことでしよう。

「福祉くまの」への関心が高まり感想やご意見等をいただき、編集委員一同張り切っています。今回は表紙に秋の稲の刈り取りを掲載させていただきました。収穫の楽しさが感じさせられます。

みなさんからのご意見お待ちしております。

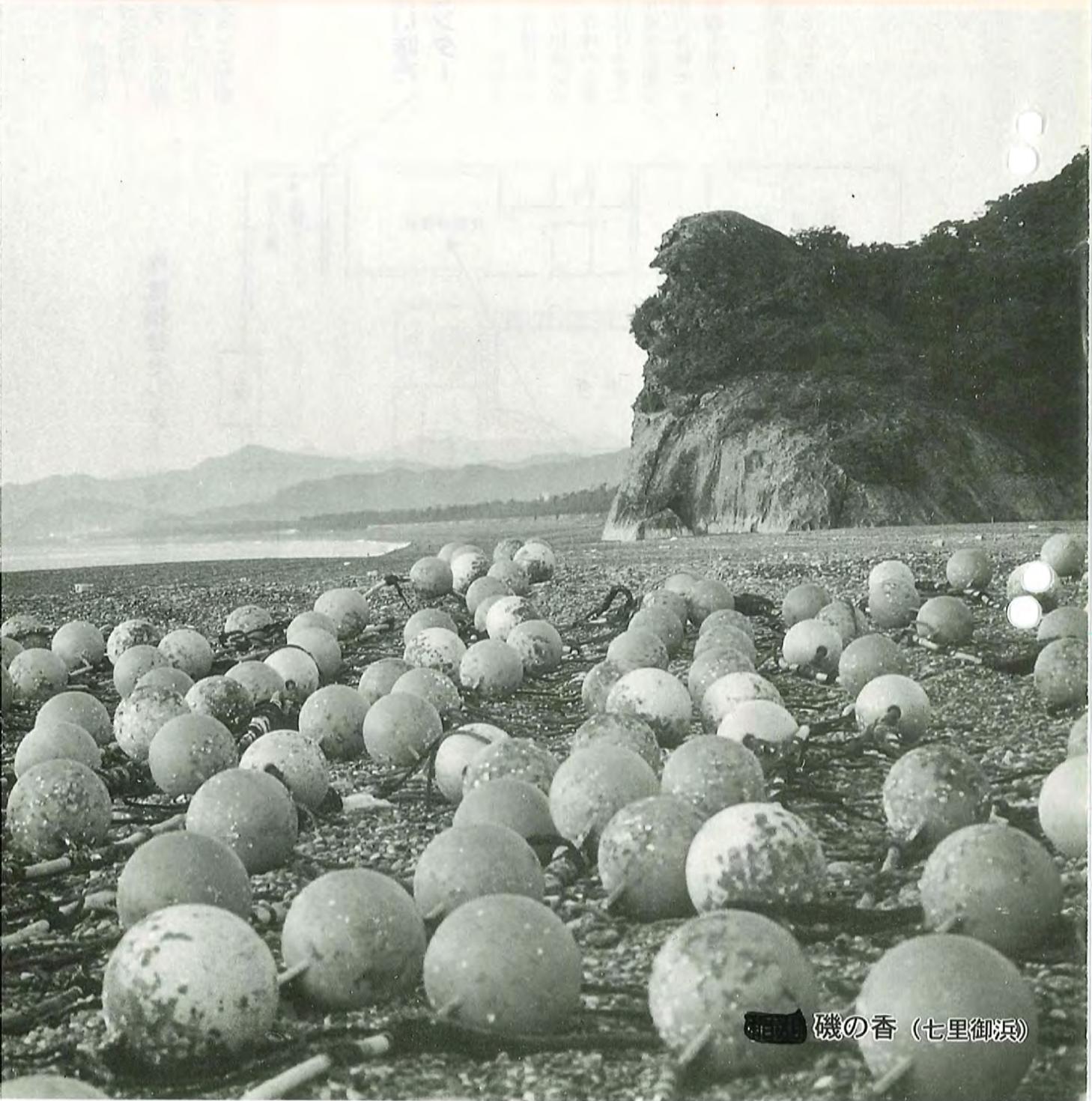
（久保）

福祉

くまの

'95
No.37
12月5日発行

熊野市社会福祉協議会



磯の香 (七里御浜)

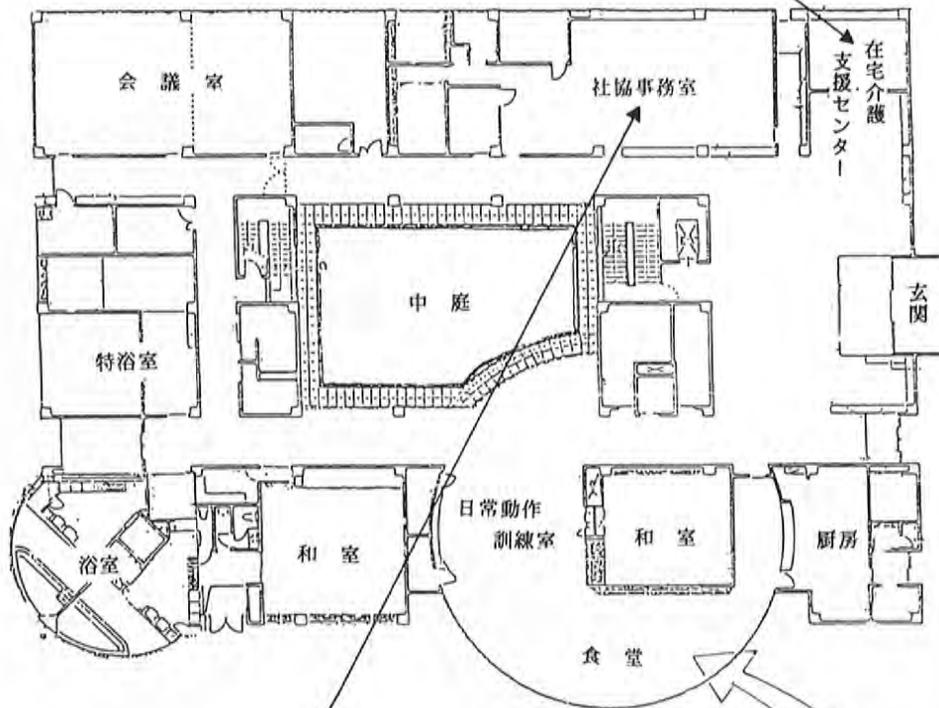
保健福祉センター

井戸川沿いの旧井戸小学校跡では、市民待望の保健福祉センターの建設工事が4月オープンに向け急ピッチで進んでいます。この保健福祉センターの建設によって、遅れていた熊野市の在宅福祉の充実が図られることが期待されています。

在宅介護の心強い味方 在宅介護支援センター

このセンターでは、在宅の寝たきり老人等の介護にあたっての人の様々な相談に応じます。そして、各種の在宅福祉サービス受け付けの窓口として、在宅で介護が必要の方への保健・福祉の各種サービスを提供する役割も果たします。

また各種の介護用品の展示、紹介等も行なうことになっていきます。



保健福祉センター一階平面図

デイサービスセンター ができます

一階のこの部分がデイサービスセンターになります。デイサービスセンターは、在宅で生活している援助が必要な虚弱老人やねたきり老人が送迎用バスで通所し、生活動作訓練、給食、入浴等のサービスを活用しお年寄りの健康の維持を図り、介護にあたっての家族の負担を少しでも軽くしようというものです。

社会福祉協議会 事務所です

このスペースは社協の事務所になる予定です。ホームヘルパーはここから各地の介護の必要なご家庭に派遣されます。

4月オープンに向け

建設進む、

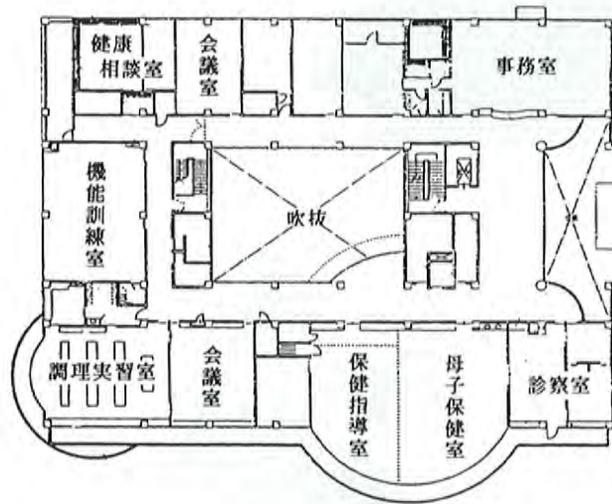


工事が進む保健福祉センター

職員体制も充実

新しくオープンする在宅介護支援センターやデイサービスセンターのため、看護師、事務職等の新しい職員採用が行なわれます。また、ホームヘルパーも新たに二名増員になります。

保健福祉センター二階平面図



二階は保健センター

二階部分は保健センターとなります。その中には機能訓練室、保健指導室、母子保健室、調理実習室、診察室等が設けられ、保健面でも一層充実したサービスが提供されるようになっていきます。また、今後予定されている訪問看護ステーションに備えたスペースも予定されています。

山間部、海岸部にも デイサービスセンターが

今回の井戸に出来る保健福祉センターに続いて、熊野市は山間部、海岸部にもデイサービスセンターと在宅介護支援センターを設置する計画を決めています。この計画に基づき山間部では飛鳥町野口の日進小学校周辺の土地を候補地として具体化を進めています。

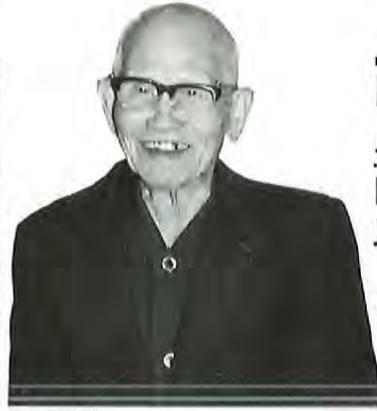
〈完成予想図〉





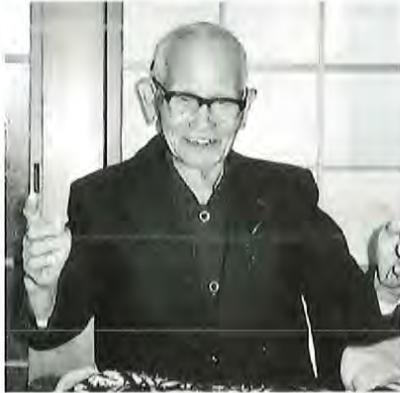
木本町

島田 豊四郎さん(96歳)



市内で七番目の長寿者である豊四郎翁宅を訪問しました。規律正しい生活をモットーとし暴飲暴食は避け、毎朝三分間の体操を励行し、最近また、乾布摩擦をはじめたとのことで、身体も元氣そのものである。大正二年から建具店の弟子に入り、建具の技術を取得した後、同十三年に現在の場所に島田建具店

を開業したとのことで、建具職人として建具一筋にその道を歩まれ、十人ほどの弟子を育てあげたという。そして、還暦を迎えた昭和三十五年に引退をし、息子に家業を引き継ぎ、裏方に回って仕事を手伝ってきたとのこと。今は、テレビのスポーツ観戦が楽しみで、特に相撲が始まると番付を付けるのが日課となっている。こんなに長生きできるのは、社会



のおかげ、福祉のおかげと感謝の気持ちには忘れない。とにかく、毎日の食事をきちんと摂ることが長寿の秘訣とか。

五郷町寺谷

山本 かつ乃さん(91歳)



『たかな漬』の宗家、名人と呼ばれた生粋の五郷人、「電気屋のお母さん」で親しまれ、地唄を唄うのが得意だったかつ乃さん宅を訪問。とても卒寿を過ぎた人には見えず、お達者姿そのもので会っ

てくださった。

戦時中の食料難時代を七人の子育てをして生き抜いて苦労話から昭和三十九年頃、五郷農協が『たかな漬』を全国にPRを始めて紆余曲折、現在までの積もるお話を凛とした声でなめらかに記憶の糸を繰ってくれた。

現在は息子夫婦にゆずって隠居生活の身。健康体は、家族の一員として大人同様に小さい頃から農作業に親しんできたおかげと、さりげなく聞かせてくれた。

「今の世は、平和でええが、災難は、忘れた頃にと言うように、いつくるかわからんよって、畑作物は作ってほしい。食べ物は何屋にあるというのではダメじゃのし。」とニコニコと笑顔を見せてくれた。



★あなたの地区の

福祉委員 ②

福祉委員は身近なあなたの相談役。地域の福祉問題を早期に発見し、民生委員につなぎます。お気軽にご相談ください。

福祉委員のみなさん

〈育生地区 4名〉

炭蔵四里一、尾崎三郎、正田博哉、竹ノ本徳之助

〈五郷地区 19名〉

宮谷敬吾(きみ子)、大谷よし子、植田栄子、舛屋長次、藪内久子、西久保よし子、山本恵晟、駒中なおみ、中本初美、西村ゆき子、田垣内澄子、岩本一郎、村田清子、谷本三吉(美代子)、藤田四郎(康

子) 倉本芳和、吉田和男(久美子) 徳本恵哉、田垣内康夫

〈飛鳥小又大又地区 12名〉

杉下サト子、小畑和子、横平百合子、佐野はるゑ、河崎さとの、小井阪きのえ、小井阪こいと、西山ふき子、中村八重子、福林たち子、和田みなゑ、中村末子

〈飛鳥小阪地区 8名〉

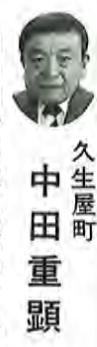
中田カズミ、竹平巨嗣、久保益男、桑原千恵子、桑原哲子、今町フサ子、久保佳珠子、栗田紀世子

〈飛鳥日進地区 25名〉

端無功、栗須技佳、福岡靖祐、榎本芳次、榎本早苗、上野すす子



猫と車いす ③



久生屋町 中田重顕

昭和四十年代には、どこの学校にもたいてい手足に障害をもつ子供がいた。そして健全な生徒たちといたわられたり苛められたりしながら共に成長した。いつからか学校に肢体不自由の障害児を見かけることは無くなっていった。ポリオワクチンや養護学校の充実によるものだろうし、有り難いことだと思ふ。しかし、そうして大人になっていけば、障害者を特別な人間と思ってしまうのではないかと不安がある。重度障害の子供をバギー車に乗せて買物をしていた母親に小学生がこうきいた。「この子生きているの、死んでいないの」。理解しあうにはふれあうことこそ大切なのである。

今年の四季の里で行なわれた雑草の広場のキャンプには地元の飛鳥中学校と五郷中学校の生徒が一緒に参加してくれた。にぎやかなさざめきが飛鳥の里に流れた。

「障害者もだれもと同じ人間です。これから町であつたら勇氣をだして声をかけてください」

谷川会長はこうあいさつした。



第11回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募ください。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記の上、熊野市井戸町750の1、熊野市社会福祉協議会までお送りください。

(締切りは平成8年12月20日)



市社協では現在建設中の保健福祉センターが、明春完工されます。当編集部もますます多忙となりますが皆様のご期待にこたえるべく張り切っておりますので、一層のご指導、ご声援をよろしくお願ひ申し上げます。

(九鬼)

8年1月・2月・3月の
相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談
〔相談日〕1月16日
2月13日
3月12日

〔相談員〕堂前美佐子弁護士
〔時間〕午後1時から4時まで

◎国民年金なんでも相談
〔相談日〕1月17日
2月21日
3月13日

〔相談員〕市役所国民年金係
〔時間〕午前10時から正午まで

★相談会場および受付は、いずれも社会福祉協議会(社会福祉センター)で行っています。

(電話9局3053番)

地域でささえあう明るいお正月を

歳末助け合い募金運動実施中

12月1日から12月20日まで

みなさまのあたたかいご支援と
ご協力をお願いします。

- 共同募金会熊野支会 -

第10回
まちがいさがしクイズ 正解者

★まちがい箇所 9箇所
★応募者総数 55人
★正解者 33人

正解者の中から抽選の結果、次の十名の方々が当選いたしました。おめでとうございます。

- 片岡千恵子(井戸町)
- 高梨 栄子(育生町尾川)
- 久保 安子(井戸町)
- 山口 陽介(井戸町)
- 後呂 諄一(金山町)
- 井本 光枝(新鹿町)
- 仲森登志代(有馬町)
- 森下 晋行(遊木町)
- 大森 睦(飛鳥町小阪)
- 端無 康将(飛鳥町佐渡)

編 集 後 記

師走を迎え、何かと心忙しくなっております。

今年は、阪神大震災、オウム真理教サリン事件、異状な炎天続きの気候、景気の低迷など、悲しみや苦しみの多い年でした。

来年こそは、明るくて平和な年でありますように祈り、そして期待したいと思えます。

市社協では現在建設中の保健福祉センターが、明春完工されます。

当編集部もますます多忙となりますが皆様のご期待にこたえるべく張り切っておりますので、一層のご指導、ご声援をよろしくお願ひ申し上げます。

(九鬼)

熊野市の人口

(平成7年11月30日現在)

☆世帯数	9,191世帯
☆人口	22,396人 (男10,565人・女11,831人)
☆65歳以上	5,461人(24.4%) (男2,194人・女3,267人)
☆75歳以上	2,275人(10.2%) (男798人・女1,477人)
☆自然増減(10月分)	出生14人・死亡22人
☆社会増減(10月分)	転入54人・転出58人

※表紙の写真は、大西一弘氏撮影

福祉

くまの

'96
No.38
2月5日発行

熊野市社会福祉協議会



杉並木 (育生町大河原)

バリアフリー社会 めざして

障害をもった人、お年寄りすべての人が安心して自由に参加出来る社会、それがバリアフリー社会です。しかし、その実現のためにはまだ多くの障壁（バリア）があります。そうしたバリアの無い（フリー）完全参加と平等の実現をめざす取り組みが、今、望まれています。



神川郵便局（上）と磯崎郵便局（下）の玄関には「車椅子でご利用の方はこの呼び出しボタンを押してお待ち下さい」の標示をしたインターホンがあります。



車椅子での外出にトイレは大きな問題です。ジャスコ熊野店にある車椅子で利用できるトイレ。



こんな商品知っていますか？

障害を持つ人に配慮したいろんな商品があります。そんな商品をバリアフリー商品といいます。



▲視覚障害者にも操作しやすいように操作部に点字のついた洗濯機。

◀シャンプー容器の側面の突起はシャンプーとリンスの違いを示しています。



▶テレホンカードの右側にある切り込みはカードを差し込む方向を教えてください。



JR熊野市駅にある視覚障害者のための誘導ブロックと点字運賃表



県庁舎の車椅子で利用出来るエレベーター

四つのバリア

障害をもった人やお年寄りが気軽に、安心して社会に参加するためには、まだ多くのバリア（障壁）があります。

その一つが物理的なバリアです。

段差のある建物や道路は車椅子やお年寄りにとっては大きなバリアになります。視覚障害者を持つ人の外出にとって点字ブロックはなくてはならないものです。元気な人は何でもないことが、障害者やお年寄りには大きな障壁になります。

二つ目は制度上のバリアです。

障害をもつために、誰でも受けられる教育がうけられない、就職が不利になるといったことは現実にはまだ多くのことされています。これらは障害を持つ人の問題ではなく、それを受け入れるべき社会の側の問題なのです。

三つ目は情報のバリアがあります。

新聞を読み、テレビを見て情報を得ることが出来ないのは、障害を持つ人と共に耳や目の不自由になったお年寄りも同じことです。隣が火事になってもわからない聴覚障害者や、請求書がきても支払いが出来ない視覚障害者がいるのです。

四つ目は心のバリアとも言えます。

たとえ段差があっても、さっと差し出される援助の手がどこにでもあったら、障害を持つ人に対する好奇の眼差しが、暖かい励ましの眼差しに変わるとき、「心の段差」が解決されます。



有馬町山崎

南 ならのさん (100歳)



「大寒の入り」にしては暖かい二十一日、満百歳の誕生日を迎えた有馬町、南ならのさん宅を訪問した。初めてお目にかかったが重い病気の経験がないだけあって、顔の色艶もよく若々しい、元気な笑顔で迎えてくださった。背筋もシャンとして端麗。明治二十九年一月二十日生れ、大正三年に結婚。七人の子宝に恵ま

れたが戦死二人病死二人。現在は三男夫婦と同居している。規則正しい生活が好きで、六時起床、九時就床。菊花作り、新聞読み、習字、軽い運動をするのが日課。三度の食事はキチンと食べ、食後にはミルクを飲む。テレビではスポーツ関係ごとに大相撲に熱が入り、若貴両力士のファンであると話してくれた。心経を唱えて祖霊への感謝を忘れないように生活していると話す南ならのさんは、長寿者のお手本みたいな方だと思った。



二木島町

北野亀太郎さん (93歳)

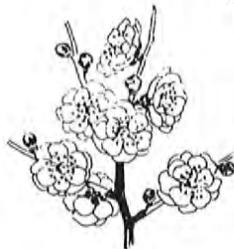


「わたしはこれまでカゼをひいて寝たことがないんじゃない」と自慢気に七十年連れ添った奥さんを横に市観光協会長、市議会議員などの要職を長年勤め上げた当手を振り返りながらお話をうかがった。几帳面な性格と言うだけあって見せていただいた一部の書類や資料はきちんと整理されていた。

ただ、几帳面さが幸いしてか部屋の中は書類や資料でいっぱいになりどうしたものか奥さんの悩みの種ともなっているとか。

長年の要職勤めで数々の功労を残されている亀太郎さん。今でも観光名所となっている楯ヶ崎に対する思いは人一倍強く、楯ヶ崎周辺を観光開発して全国に誇る観光名所に育てあげることが夢だそうです。ますます意気盛んである。

健康の秘訣を尋ねると、「御飯は何でもおいしく食べること。何でも根性を持って活動すること。」だそうです。頑固一徹の側面をちょっぴり覗いたような亀太郎おじいちゃんでした。



第12回

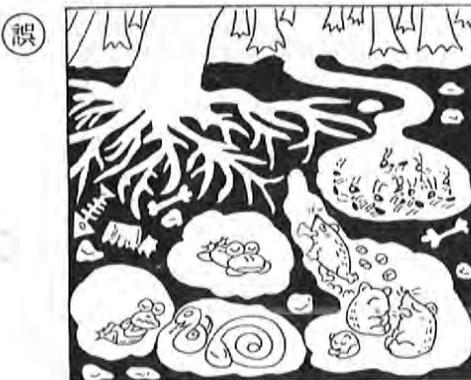
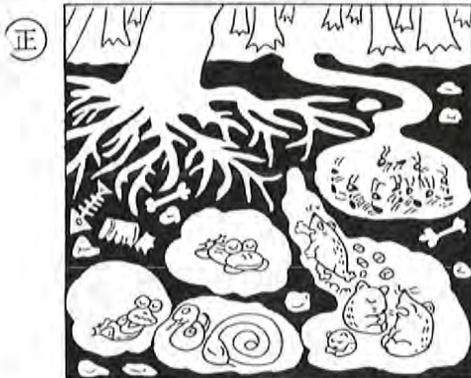
まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募下さい。

ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。

ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入し熊野市井戸町750の1熊野市社会福祉協議会までお送り下さい。

(締切りは平成8年2月20日)



募金総額

7,159,136円

ありがとうございました。

☆共同募金 3,657,828円

☆歳末たすけあい 3,501,308円

歳末たすけあい配分金

配分区分	配分金額(円)
肢体不自由児(者)	
精神薄弱児(者)	224,000
要保護児童	34,000
老人施設入居者	
在宅要介護老人	492,000
長期療養患者	378,000
生活保護世帯	214,000
要介護世帯	794,000
配分事務費	85,460
計	2,221,460

共同募金・歳末たすけあい募金結果(単位:円)

地区	共同募金	歳末たすけあい
須野	8,000	8,000
南母	49,000	17,000
二木島	126,700	24,620
遊木	111,400	31,500
新鹿	235,750	157,000
波田須	54,020	38,000
磯崎	81,900	42,500
犬泊	61,500	50,500
木本	517,632	249,800
井戸	524,901	211,900
有馬	607,000	428,400
久生屋	206,100	188,100
金山	107,700	55,000
育生	100,100	84,500
神川	118,855	90,100
五郷	209,320	225,510
飛鳥	343,405	122,200
その他	194,545	1,476,678
合計	3,657,828	3,501,308

※配分以後の義援金1,279,848円

は県共同募金会へ送金



第11回
まちがいさがしクイズ正解者

- ★まちがい箇所 11箇所
 - ★応募者総数 33人
 - ★正解者 9人
- 正解者は次の方々です。
おめでとうございます。
- 津田夕ズ子(新鹿町)
 - 松田美恵子(井戸町)
 - 松田 一郎(井戸町)
 - 鈴木 貴美(井戸町)
 - 市村 麻衣(育生町長井)
 - 端無 功(飛鳥町佐渡)
 - 東 フサエ(神川町柳谷)
 - 東 正男(神川町柳谷)
 - 波戸ちかゑ(二木島町)

熊野市の人口

(平成8年1月31日現在)

- ☆世帯数 9,176世帯
- ☆人口 22,378人
(男10,549人・女11,829人)
- ☆65歳以上 5,488人(24.5%)
(男2,202人・女3,286人)
- ☆75歳以上 2,291人(10.2%)
(男804人・女1,487人)
- ☆自然増減(12月分)
出生8人・死亡22人
- ☆社会増減(12月分)
転入62人・転出56人

※表紙の写真は富田啓暢氏撮影

編集後記

受験生にとっては最も大変な時期を迎えている。勝って笑う人、負けて涙をのむ者、さらに、この受験競争に勝ち抜いたとしても次ぎは「超氷河期」といわれる就職戦線が待ち受けているのであるから大変である。しかし、この受験競争にも、就職戦線にも、最初から参加することが出来ない障害をもつ若者がいる。現代社会には競争原理が貫徹している。その結果、今日の経済大国日本を築き上げた。しかし、その競争のスタートラインにさえ立つことが出来ない人がいること。そうした人々をどのように遇することが出来るかに、日本の社会の品位が問われているように思える。(富田)

福祉

くまの

'96
No.39
4月5日発行

熊野市社会福祉協議会



七色ダムの桜 (神川町)

障害者・高齢者にやさしい街めざして

熊野市街地を歩く



歩道の真中にある標識のポール



車イスでは通行できない段差のある井戸川橋



はがれたままの点字ブロック

杖の先が入ってしまう側溝のふた



点字ブロックの凸部が削られ
視覚障害者には役にたたない
オークワ前の点字ブロック





車イスで入るのが大変な入口ドア



スロープのない玄関



視覚障害者には利用できないタッチパネル方式の現金自動支払機



点字テープの一部がはがれたまま、標示も1、2…しかない。「枚」「円」の単位の標示が欲しい
〔3〕

元気な人が何げなく歩いているところでも、障害を持つている人たちにとっては、大変な箇所が意外に多いのに、参加者はずいぶんびっくりしました。
車いすでは到底入ることのできそうにない、階段のある公共施設。スロープがあっても急すぎて車いすですひとりでは登れないところ。歩道の誘導ブロックの上に止められている自転車。

そんな一部を紹介しましょう。



点字ブロックの上に置かれた自転車



二人で並んで歩けない狭い歩道



今回は還暦後の人生を自分の趣味を大切にしながら、ゆたかに生きて張ある毎日を元気で過しておられる高齢の方を訪れて登場していただくことにしました。

五郷町寺谷

徳田直彦さん(87歳)



「鶏泉」という吟詠界人あこがれの号を宗家から認許されたので、最高の喜びですよ。」と第一声があった。黒川哲泉を宗家とする哲泉流日本吟詠協会に入門してから十四年になると話してくれたから、七十二才になってからの手習いであるが、その間にメキメキと上達、春号(三段以上)の資格と泉号(五段以上)の資格テストに合格した。これまでに段別や年齢別の試合に出演して優秀

な成績を収め賞状やトロフィーが部屋一杯に飾ってあった。最近も第十回年齢別全国大会で見事に優勝した。全国制覇は三回目の快挙だと話してくれたが、大したものである。

「腹の底から力一杯に発声するので薬剤にまざる健康法なんですよ」と壯者を凌ぐ若さと元気よさを見せてくれた。週一回の練習日には必ず出席しているようで、老いを感じさせない張ある生き方の秘密はどうやら吟詠という趣味に打ち込んでいるからだと言った訪問のひとときであった。



金山町

新屋幸二さん(77歳)

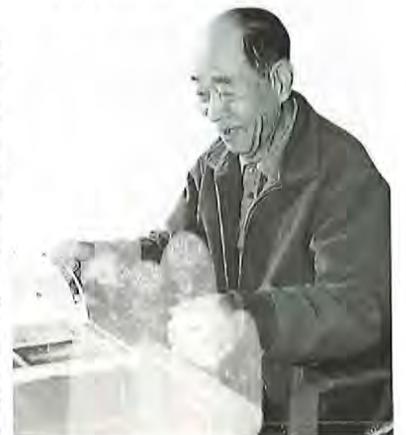
市内金山町の高台、眺望絶景の所に新屋さんのアトリエが建っている。太平洋の青い海がキラキラと春の陽に輝いていた。娘四人も嫁して今は老夫妻二人だけの生活という。手先の器用さから初盆の精霊まつり用の燈籠作りに趣味を活かしていた



が、八年程前に十余年の伝統を誇る伊勢型紙の作品に心をひかれ、写真指導講習に参加、ボケ防止に役立てばと始めてから現在まで続けているとお話だった。

季節によって多少のズレはあるが、基本的な日課としては午前四時に起床、六時迄制作に没頭しているとのこと。自分にとって最も充実の時間帯であると熱っぽく語ってくれた。

作品には一本の線がいのち、作品は子どもと考えて一心に制作に当るといふ。室内には観音像をはじめこれ迄の作品が展示されていた。趣味に生きる新屋さんの笑顔は印象的であった。



質問コーナー

問 ホームヘルパーを派遣していただきたいと思つていますが、どんな手続きが必要なのでしょう。また、費用はいくらかかるのでしょうか。

(飛鳥町T・K)

答 ホームヘルパーは、寝たきりのお年寄りの方や身体に障害を負つていて、虚弱のお年寄りの方で、日常生活を営むうえで何らかの支障をきたし困つてゐる方、また、その方々を介護しているご家族で援助を必要としている世帯に派遣されています。

利用される対象者によつてサービスの内容が異なりますが、主に入浴・身体
の介助、洗濯・掃除・買い物などの家事援助、介護や福祉のサービスなどに関する相談助言等を行っています。

次に、費用の件ですが、生計中心者の前年度所得税額のランクによつて1時間当たりの費用が異なります。

ホームヘルパー派遣の利
用についてのご相談は、熊野市在宅介護支援センター(保健福祉センター内)9局5788番にお尋ね下さい。



ふくちゃん



新任職員紹介

社会福祉協議会職員採用試験で次の皆さんが採用され、この4月1日から勤務を始めました。

<p>■事務員</p> <p>松田 玄 (井戸町) 桃原 孝 (久生屋町) 栗須紀之 (井戸町) 大川 舞 (遊木町)</p> <p>■看護婦</p> <p>岡田眞美 (有馬町) 増田直子 (井戸町)</p>	<p>■ホームヘルパー</p> <p>福嶋利枝子 (有馬町) 大江早百合 (有馬町)</p> <p>■デイサービス事務職員</p> <p>調理員 和田 一 (有馬町) 運転手 小瀬川純生 (井戸町) 寮 母 崎久保育子 (木本町) " 岡田裕紀子 (井戸町) " 岡崎 文 (久生屋町)</p>
--	---

※次号で写真入りでご紹介します。ご期待下さい。

猫と車いす

⑤

久生屋町

中田 重 顕

木をふんだんに使つて、まるで手作りのような可愛いメルヘンチックな家だった。御浜町阿田和の山本忠康・容子さん夫妻の家だった。声をかけて戸を開けると鈴の音がして、容子さんが向こうを向いて仕事をしていた。

「私のお母さん、耳が聞こえませんが」

小学校3年生だという長女のたえちゃんが明るく声をかけてくれた。私はもちろん、容子さんが聴覚障害をおもちであることは知っていた。

海の見える丸木のベランダで家族みんなと話した。たえちゃんもちゃんと手話ができ、家族の会話のできない私ひとりを通訳してもらわねばならず、障害者は結局自分なのだと思つた。

「音のない世界は決して不幸ではありません。聞こえないという個性があるだけです」

忠康さんはい。みかんの香りがほのかに漂う、静かな幸せに満ちた家だった。

第13回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募下さい。ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入し熊野市井戸町1150熊野市社会福祉協議会までお送り下さい。

(締切りは平成8年4月20日)

正



誤



春四月ことのほか寒かった今年の冬にもようやく別れを告げ、野山の草木が春を待ちかねたようにいつせいに芽をふきだしました。
又、小川のせせらぎが一だんと日の光に映え、小さな動物たちも活発に動き始める頃ともなりました。
この四月は、入学、進学、就職、転職……とそれぞれ出逢いと別れの季節でもあります。
特に、桜の花の満開の校門をくぐってピカピカのランドセルを背に一年生の幼な子の手をひいて学校へ行ったことが、昨日のことのように懐しく思い出されます。(浜上)

7月28日(日)

第6回ボランティアふれあい広場を開催

主催/熊野市社会福祉協議会他

場所/熊野市民会館

主な催し/落語・マジックショー・ゲームコーナー

食べ物コーナー(カレーライス・ソウメン・わた菓子・かき氷など)

子供からお年寄りまで楽しい一日を過ごしていただくために現在、内容等について実行委員会で計画中です。

8年4月・5月・6月
相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談

〔相談日〕 4月23日

5月14日

6月11日

〔相談員〕 堂前美佐子弁護士

〔時間〕 午後1時から4時まで

◎国民年金何でも相談

〔相談日〕 4月17日

5月15日

6月19日

〔相談員〕 市役所国民年金係

〔時間〕 午前10時から正午まで

★相談会場はいずれも社会福祉センター
ターで行っています

★予約申し込みは社会福祉協議会

(電話9局 5000番)までお願いいたします。

第12回

★まちがい箇所1箇所

★応募者総数61人

★正解者17人

正解者の中から抽選の結果、次の十名の方々が当選しました。おめでとうございます。

■武笠 路乃(飛鳥町佐渡)

■武笠 翠(飛鳥町佐渡)

■山本 ヨネ(新鹿町)

■西 幸子(有馬町)

■柳本 秀(木本町)

■峯本 瑠美(木本町)

■山口 育子(井戸町)

■杉谷ノリ子(飛鳥町神山)

■箕田 りさ(木本町)

■箕田 咲子(木本町)

熊野市の人口

(平成8年3月1日現在)

- ☆世帯数 9,160世帯
- ☆人口 22,348人
(男10,517人・女11,831人)
- ☆65歳以上 5,494人(24.5%)
(男2,204人・女3,290人)
- ☆75歳以上 2,300人(10.2%)
(男808人・女1,492人)
- ☆自然増減(2月分)
出生14人・死亡29人
- ☆社会増減(2月分)
転入61人・転出76人

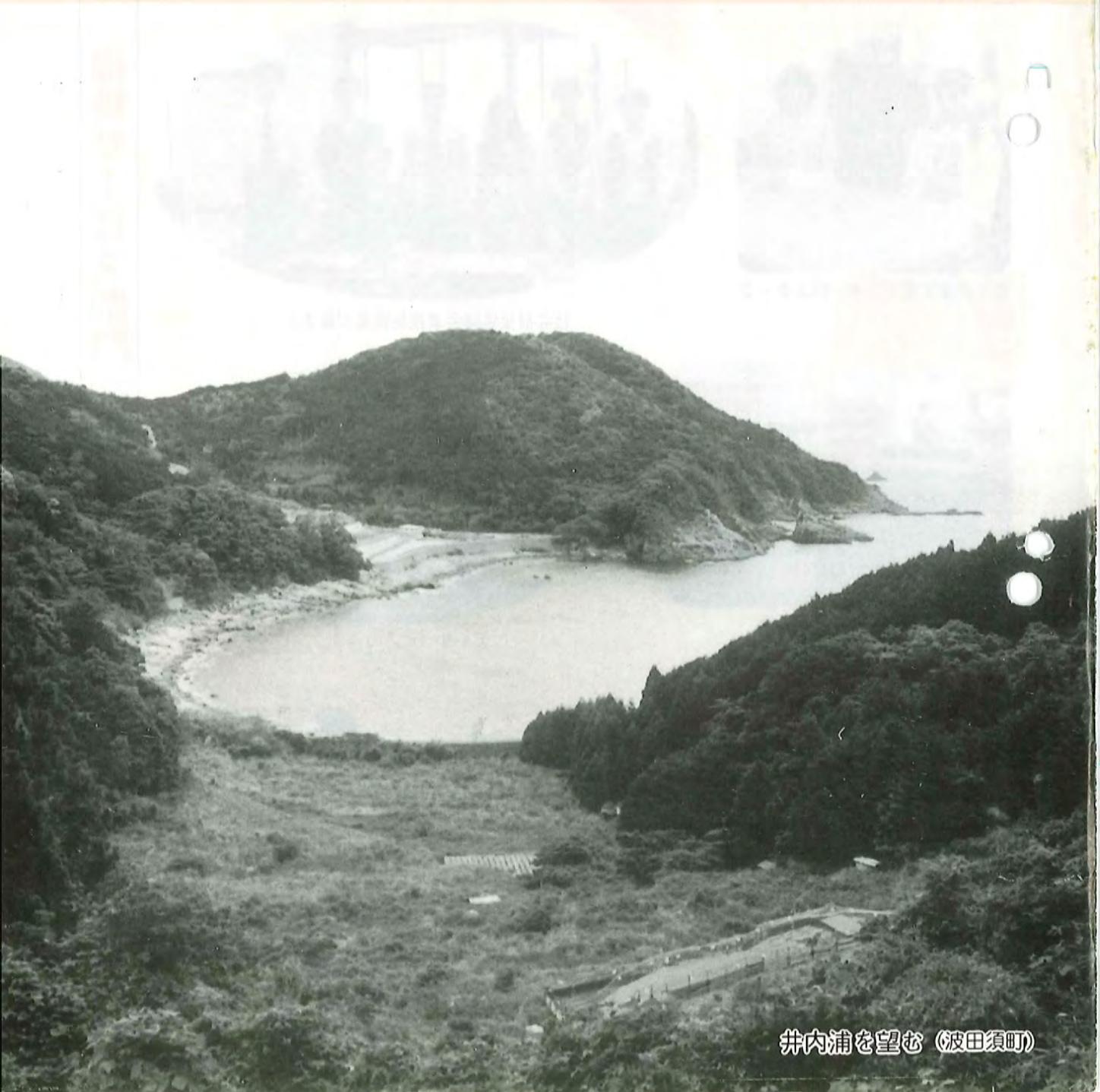
※表紙の写真は大西一弘氏撮影

編集後記

福祉のくまの

'96
No.40
6月5日発行

熊野市社会福祉協議会



井内浦を望む (波田須町)

熊野市保健福祉センター

わたしたちがみなさまの お世話をいたします



各サービス部門と職員紹介

福祉サービス部門



在宅介護支援センターのスタッフ



社会福祉協議会事務局職員の皆さん



各種福祉機器を展示



デイサービスのスタッフ



ホームヘルパーで～す



輪なげで気分転換



移動入浴サービスのスタッフ



保健サービス部門

予衛生係の皆さん



乳幼児の健康診断など



健康づくり事業



—いきいき老人
趣味に生きる—

木本町

糸川 浩さん (85歳)



道路から敷地内に一步入るとそこはミニ植物園であった。通路の両側に鉢植えの山草薬草が一杯、さすが植物の達人宅と敬服。沖縄マヌ柿をはじめキジョウロウ等々、貴重な植物が無造作に置かれていた。ブームの頃は一鉢一五〇〇万円の高値だったというフウランの類や朱竹画で有名な朱竹の鉢植えも拝見する。山草と出会って既に五十年近い年季入りというからす

ばらしい。

「足元どころがっている何でもない石ころや可愛い草花の中に宝物があるんですよ、見ぬ目と感じる心を養うことが人生をゆたかに過ごすコツでしょう。」と語ってくれた。

俳画、仏画、菊作り、山草薬草、そして寒蘭と多芸多趣味である。倉庫は足の踏み場もない程ガラクタ品の山、しかしひとつひとつの



品に先生想い出の命の歴史が秘められていて、私には宝の山ですと笑顔を見せてくれた。

久生屋町

岡崎輝江さん (71歳)



ご主人の勤務の都合で各地の都市で生活をしてきたが、東京在住の時、突然の病で主人が不帰の客となつてしまった。寂しき、辛さでドン底に突き落とされいているとき、輝江さんは、「絵手紙」との出会いで救われましたと語ってくれた。まさに第二の人生のスタートで絵手紙を通じてたくさん仲間が

出来たこと、心の支えを得たこと、画材の中に新しい発見をして喜びを覚えたことなど、数えきれない収穫を得た。

事を始めるのに年齢の壁は不要である。それこそ七十歳の手習いで結構である。NHKの通信教育「絵手紙」に参加させてもらい懸命に仕上げで発送、作品が添削されて返送されてくるのを待つ楽しみはまた格別で、上達を認められ機関誌に掲載されることが決まったときのうれしさ、それこそ家族全員の喜びになるという。

おかげで毎日が緊張した生活になり生き甲斐を感じていますと語ってくれた。

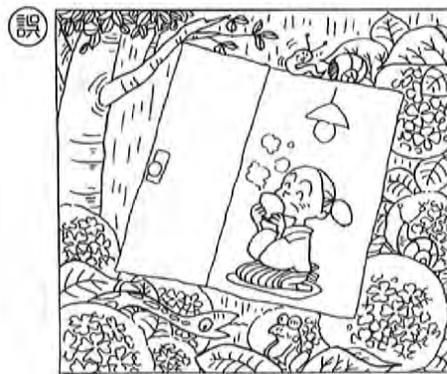
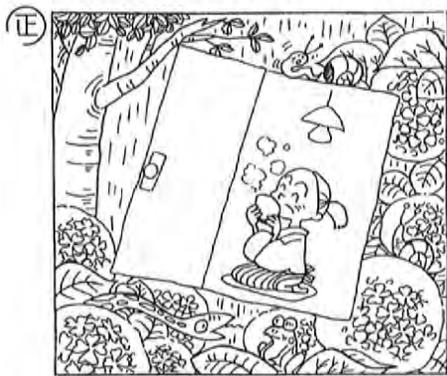


第14回

まちがいさがしクイズ

下の2つの絵を比べてまちがっている箇所を探して、ご応募下さい。ただし、インクのにじみや汚れは、含みません。ハガキにまちがっている数、住所、氏名、年齢を記入し熊野市井戸町1150熊野市社会福祉協議会までお送り下さい。

(縮切りは平成8年6月20日)



うつつとうしい時期を迎えています。ふるさとの福祉をどんな角度から、どんな内容でとらえていくか、編集子一同知恵を出し合って取材に編集に努力しています。皆さんからの感想、ご意見をお待ちしていますので、よろしくお願いたします。(坪井)

編集後記

福祉職場就職出張相談会を開催

(三重県社会福祉協議会・福祉人材情報センターより)

社会福祉施設などの福祉の職場に就職を希望しておられる方はありませんか。ご相談に応じ、求職申込を受け付けます。

申込受理後は、ご希望に合う求人申込に対して、紹介・斡旋をいたします。

日時/平成8年6月26日(水)午後1時から

場所/井戸町赤坂 社会福祉センター 2階

定員/30名(定員になり次第締切ります。)

申込方法/電話にて申し込んでください。

申込先/三重県社会福祉協議会・福祉人材情報センター

☎(0592) 24-1082

7月・8月・9月
相談所開設のお知らせ

◎無料法律相談

〔相談日〕7月9日

8月6日

9月10日

〔相談員〕堂前美佐子弁護士

〔時間〕午後1時から4時まで

◎国民年金何でも相談

〔相談日〕7月17日

8月8日

9月18日

〔相談員〕市役所国民年金係

〔時間〕午前10時から正午まで

★相談会場はいつでも社会福祉センターです。

★予約申し込みは、社会福祉協議会(電話9局5000番)までお願いたします。

第13回

まちがいさがしクイズ 正解者

★まちがい箇所 8箇所

★応募者総数 25人

★正解者 12人

正解者の中から抽選の結果、次の十名の方々が当選しました。おめでとうございます。

磯部 きぬ(木本町)

和田登志江(有馬町)

得能 盛重(神川町長原)

下野のり子(新鹿町)

門 真奈美(久生屋町)

南 美枝(飛鳥町佐渡)

東 フサエ(神川町柳谷)

東 正男(神川町柳谷)

山本りつ子(神川町神上)

井本 光枝(新鹿町)

*敬称略

熊野市の人口

(平成8年4月1日現在)

- ☆世帯数 9,160 世帯
- ☆人口 22,154人
(男10,383人・女11,771人)
- ☆65歳以上 5,454人(24.6%)
(男2,205人・女3,249人)
- ☆75歳以上 2,309人(10.4%)
(男815人・女1,494人)
- ☆自然増減(3月分)
出生18人・死亡30人
- ☆社会増減(3月分)
転入136人・転出118人

入浴料を助成

熊野市では、市民の健康増進の一環として、六十歳以上の方が「あたしか温泉」を利用した場合に入浴料四百円を助成しています。詳しくは、市高齢者対策室まで。

☎④4111 内線165